

永末小学校図工室増築工事		章	項 目	特 記 事 項	章	項 目	特 記 事 項																																															
I 工事概要	<p>1. 1 工事場所 広島県庄原市永末町37番地1</p> <p>2. 敷地面積 394.57 m²</p> <p>3. 工事種目</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建築主体工事 木造平屋建て(増築)65.83m²+ (既設)57.97m² 延べ床面積123.80m² ・電気設備工事 (幹線、動力、電灯、コンセント)設備一式 ・機械設備工事 (給水、排水、換気、空調)設備一式 ・付帯工事 (バックネットフェンス撤去、流し台撤去等)一式 <p>4. 別途工事</p> <ul style="list-style-type: none"> ・備品工事：(生徒用作業机、先生用作業机、工作台等) <p>5. 不当要求又は工事妨害の排除について</p> <p>ア. 暴力団等から不当要求又は工事妨害(以下「不当介入」という)を受けた場合はその旨を直ちに発注者に報告し、所轄の警察署に届出ること。</p> <p>イ. 発注者及び所轄の警察署と協力して、不当介入の排除対策を講じること。</p> <p>ウ. 排除対策を講じたにも係らず、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。</p> <p>エ. 発注者と工程に関する協議を行った結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。</p> <p>オ. 暴力団等から不当介入による被害を受けた場合は、その旨を直ちに報告し、被害届を速やかに所轄の警察署に提出すること。</p> <p>カ. 当該被害により、工期に遅れが生じるおそれがある場合は、発注者と工程に関する協議を行うこと。</p> <p>その結果、工期に遅れが生じると認められた場合は、約款第21条の規定により、発注者に工期延長の請求を行うこと。</p> <p>6. 公衆災害防止措置</p> <p>(1)工事に際し、工事関係者以外の第三者の生命、身体及び財産の危害、並びに迷惑を防止するために必要な措置をとること。</p> <p>(2)上記について、「建設工事公衆災害防止要綱(平成5年1月12日付 建設事務次官通達)」に基づき実施すること。</p> <p>7. 現状復旧</p> <p>工事に際し、隣接建物及び施設等に損傷を与えた場合は、速やかに現状復旧を行うこと。</p> <p>8. 主要資材</p> <p>(1)この工事の施工に対して、資材を購入し、又はやむを得ず工事の一部(主体的部分を除く)を第三者に請け負わせようとする場合は、極力、広島県内に主たる営業所を有する業者に発注するものとする。</p> <p>(2)主要資材は、あらかじめ購入先の名称、所在地、及び資材名等を発注者に通知するものとする。</p> <p>(3)当該工事に使用する砂については、原則として海砂(県外産を含む)を使用しないこと。ただし、特にこの取り扱いにより難い場合は、監督職員と協議すること。</p>	<p>① 一般共通事項</p>	<p>④ 発生材の処理等(1.3.8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・引渡しを要するもの() ・特別管理産業廃棄物() ・現場再利用を図るもの() ○再生資源化を図るもの(・建設発生○コンクリート○アスファルトコンクリート○建設発生木材) ・上記以外 1. 1. 13(b)(5)、及び監督職員との協議による。 <p>(1)建設工事(解体撤去工事も含む)から発生する建設副産物は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」(以下「廃棄物処理法」という。)及び「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)を遵守すると共に、建設廃棄物処理指針(平成13年6月1日環境省通知)、建設副産物適正処理実施要領(広島県土木建築部制定)及び再生資源利用促進実施要領(広島県土木建築部制定)に基づき適正に処理すること。</p> <p>(2)建設リサイクル法に基づく対象建設工事受注者は、請負った建設工事の一部を他の建設業を営む者に請負わせようとするときは、当該他の建設業を営む者に対して、建設リサイクル法第12条第2項に基づき、同法第10条第1号から第5号までに掲げる事項について告知すること。</p> <p>(3)本工事(請負金額100万円以上)は、建設副産物情報交換システム((財)日本建設情報総合センター)の登録対象工事であり、当該システムによりデータ入力(施工計画時、工事完了時、登録情報の変更時)を行なった再生資源利用計画書(実施書)、再生資源利用促進計画書(実施書)を提出すること。</p> <p>提出書類</p> <p>①工事着手前に、次の書類を添付した再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書を監督員に提出すること。</p> <p>(Ⅰ建設廃棄物)</p> <p>ア 廃棄物処理業者(収集、運搬、中間処理・最終処分)の許可の写し</p> <p>イ 運搬ルート及び処分場の位置、事業の範囲、処理能力、処理方法を明示したものと。</p> <p>ウ 処分場の現地確認写真</p> <p>エ 建設工事の元請け業者と処理業者(収集、運搬、中間処理・最終処分)との2者の業務委託契約書の写し</p> <p>(Ⅱ建設発生土)</p> <p>処分先の現地確認写真</p> <p>②「再生資源利用計画書」及び「再生資源利用促進計画書に従い、建設副産物が適正に処理されたことを確認し、工事完了時に次の書類を添付した再現資源利用実施書及び再生資源利用促進実施書を監督員に提出する事。</p> <p>(Ⅰ建設廃棄物)</p> <p>ア マニフェスト(産業廃棄物管理票)の写し (マニフェストは廃棄物処理法に準拠したものを使用のこと)</p> <p>イ 収集・運搬状況、中間処理現場・最終処分場(直接最終処分するものに限る)への搬入状況の写真(Ⅱ建設発生土)</p> <p>処分先の搬入状況の写真</p> <p>(4)本工事で発生した建設資材廃棄物は、広島県(環境局)及び保健所設置政令市(広島市、呉市、福山市)が、廃棄物処理法に基づき許可した適正な施設(許可対象とならない中間処理施設にあつては、廃棄物処理法に定められた基準に従った適正な施設)で処理すること。ただし、建設資材廃棄物が、破砕等(選別を含む)により、有用物となった場合、その用途に応じて適切に処理するものとする。</p> <p>(5)本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、前記(4)に掲げる施設のうち受入条件が合うものの中から、運搬費と受入費(平日の受入費用)の合計が最も経済的になるものを見込んでいる。従つて、正当な理由がある場合を除き再資源化に要する費用(単価)は変更しない。</p> <p>(6)本工事で発生する建設廃棄物のうち、広島県内の最終処分場に搬入する建設廃棄物については、広島県産業廃棄物埋立税が課税されるので、適正に処理すること。</p> <p>なお、広島県産業廃棄物埋立税相当額は見込んでいる。</p>	<p>⑧ 特別な材料の工法(1.5.8)</p> <p>⑨ 電気保安技術者(1.3.3)</p> <p>⑩ 技能士及び技能資格者(1.5.2)</p>	<p>公共建築工事標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、監督職員監督員の承諾を受けて、当該製品の指定工法とする。</p> <p>*適用する</p> <p>*適用する</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事別</th> <th>適用範囲</th> <th>工事別</th> <th>適用範囲</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>鉄筋</td> <td>○鉄筋施工</td> <td>タイル</td> <td>・タイル張り</td> </tr> <tr> <td>コンクリート</td> <td>○型枠施工 ・コックリ圧送施工</td> <td>木</td> <td>○建築大工</td> </tr> <tr> <td>鉄骨</td> <td>・とび</td> <td>屋根及びとい</td> <td>○建築板金・スレート施工</td> </tr> <tr> <td>ブロック</td> <td>・ブロック建築</td> <td>金属</td> <td>・内装仕上施工(鋼製下地作業)</td> </tr> <tr> <td>ALCパネル</td> <td>・ALCパネル施工</td> <td>左官</td> <td>・左官</td> </tr> <tr> <td>PCカーテンウォール</td> <td>・カーテンウォール施工</td> <td>建具</td> <td>○サッシ施工 ○ガラス施工</td> </tr> <tr> <td>防水</td> <td>・防水施工()</td> <td>塗装</td> <td>○塗装(建築塗装作業)</td> </tr> <tr> <td>石</td> <td>・石材</td> <td>内装</td> <td>○内装仕上施工(○ベッコリ系床・フローリング系床・天井系) ・表装</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>植栽</td> <td>・造園</td> </tr> </tbody> </table>	工事別	適用範囲	工事別	適用範囲	鉄筋	○鉄筋施工	タイル	・タイル張り	コンクリート	○型枠施工 ・コックリ圧送施工	木	○建築大工	鉄骨	・とび	屋根及びとい	○建築板金・スレート施工	ブロック	・ブロック建築	金属	・内装仕上施工(鋼製下地作業)	ALCパネル	・ALCパネル施工	左官	・左官	PCカーテンウォール	・カーテンウォール施工	建具	○サッシ施工 ○ガラス施工	防水	・防水施工()	塗装	○塗装(建築塗装作業)	石	・石材	内装	○内装仕上施工(○ベッコリ系床・フローリング系床・天井系) ・表装			植栽	・造園									
			工事別	適用範囲	工事別	適用範囲																																																
鉄筋	○鉄筋施工	タイル	・タイル張り																																																			
コンクリート	○型枠施工 ・コックリ圧送施工	木	○建築大工																																																			
鉄骨	・とび	屋根及びとい	○建築板金・スレート施工																																																			
ブロック	・ブロック建築	金属	・内装仕上施工(鋼製下地作業)																																																			
ALCパネル	・ALCパネル施工	左官	・左官																																																			
PCカーテンウォール	・カーテンウォール施工	建具	○サッシ施工 ○ガラス施工																																																			
防水	・防水施工()	塗装	○塗装(建築塗装作業)																																																			
石	・石材	内装	○内装仕上施工(○ベッコリ系床・フローリング系床・天井系) ・表装																																																			
		植栽	・造園																																																			
II 建築工事仕様	<p>1. 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)」(令和年度最新版)による。</p> <p>2. 特記仕様</p> <p>(1)項目は番号に○印のついたものを適用する。</p> <p>(2)特記事項は○印のついたものを適用する。</p> <p>○印のつかない場合は、*印のついたものを適用する。</p> <p>○印と*印のついた場合は、○印のついたものを適用する。</p> <p>○印と◎印のついた場合は、共に適用する。</p> <p>(3)項目欄に記載の()内番号は、公共建築工事共通仕様書の当該項目を示す。</p> <p>(4)材料及び製造所等の記載順序は不同である。</p> <p>3. 本工事の場合には、竣工後、下記に示す調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。</p> <p>(1)完成施設事後調査(第一次調査)・・・引渡し後、概ね6ヶ月後</p> <p>(2)完成施設事後調査(第二次調査)・・・引渡し後、概ね1年目頃</p> <p>(3)かし担保調査・・・・・・・・・・建設工事請負契約約款第41条に定める期間内(概ね2年目頃)</p> <p>(4)かし担保保証・・・・・・・・・・引渡し後2年以内に不具合があったら請負業者の責任において修繕すること。</p>	<p>⑤ 実施工程表(1.2.1)</p> <p>⑥ 建築材料等(1.4.1~2)</p> <p>⑦ 室内空気汚染(揮発性有機化合物)対策(1.5.9)</p>	<p>工事期間は建築設備も含んだ期間とし、工事全体を把握して作成し、監督職員監督員の承諾を受ける。</p> <p>建築材料の製造所、製品及び施工業者などは、特記されたもの又は同等以上とする。</p> <p>なお、「評価名簿による」と特記されたものについては、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機器材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿(平成14年版)」によるほか、これらと同等以上のものとする。当該評価事業の評価を受けたものを使用する場合は、評価書の写しを監督職員監督員に提出し、その確認をもって品質・性能の確認があつたものとする。</p> <p>ただし、上記の場合において同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。</p> <p>また、国等による環境物品等の調整の推進等に関する法律(グリーン購入法)に基づき策定された「広島県グリーン購入方針」に掲載されている品目については、他の特記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するように努めるものとする。なお、設備については「広島県グリーン購入方針」の品目(10)設備(11)公共工事は図面表記を優先するものとする。</p> <p>(1)図示した室について、下記の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針以下であることを確認し、監督員に報告する。()箇所(測定対象物質) ・ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド・トレン・キシレン・エチレングリコール・その他() (測定方法) ・パッシング型採取機器による簡易法(採取機器:) ・厚生労働省が定める標準的測定法()</p> <p>○(2)木工用接着剤は、揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ない物を使用する。</p> <p>○(3)木材の防霉・防蟻処理剤は、クロロピリホス、ダイアノジン及びフェノプロカルブを含有しないもので、かつ揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ない薬剤として、加圧式防霉・防蟻処理等は工場で行い十分乾燥させた後現場に搬入する。</p> <p>○(4)保温材、断熱材、緩衝材については、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの。(該当材料が無い場合はF☆☆☆等級、F☆☆☆☆等級を含む)</p> <p>○(5)その他、塗料、壁紙、仕上塗材、合板、接着剤等で屋内に面するものについては、ホルムアルデヒド・アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合はF☆☆☆☆等級、F☆☆☆☆等級を含む)とする。</p> <p>○(6)屋外に面して用いる材料は、上記(2)~(5)に適合した上で、揮発性有機化合物の発散が無い若しくは極めて少ないものを選定するように努め、(1)使用するの規定を満たすこと。</p> <p>○(7)換気設備は搬入時・取付け状況の写真と仕様書を提出すること。</p>	<p>⑧ 工事写真等</p> <p>⑨ 設備工事との取合い</p> <p>⑩ 統括安全衛生責任者の指名</p> <p>⑪ 工程報告</p> <p>⑫ 保証書</p>	<p>下記のものを監督職員監督員に提出する。工事中写真の撮影は「営繕工事写真作成要領」によるものとする。</p> <p>(1)工程写真</p> <p>工事の進捗に伴い工事全体状況及び主要工程の写真(カラー・サービス版)を期間別工事工程報告書に添付するものとする。</p> <p>(2)工事中写真</p> <p>水中又は地下に埋設される部分、その他完成後外部から検査または確認することができなくなる部分、及びその他監督職員監督員が指示する箇所は、A4版写真台紙(カラー・サービス版)にまとめて完成検査日までに1部提出するものとする。</p> <p>(3)完成写真</p> <p>【撮影箇所】 建物外観各方向、主要箇所、主要室内、その他監督職員が指示する箇所</p> <p>【規格・提出部数】 *A4版クリアファイル 部 ○A4版70×70mmサイズの竣工写真(カラー)2部 (カラー・キャビネ版以上 表紙、背表紙に監督職員監督員の指示により工事名称等を印字すること)</p> <p>【完成写真の撮影業者】 *監督職員承諾する撮影業者</p> <p>(4)その他の写真</p> <p>隣接建物等に損傷の恐れがある場合は、施工前、施工後の写真(カラー・キャビネ版)を監督職員監督員の指示により提出するものとする。</p> <p>(5)保管 工事写真のネガは、請負者において工事完成後2年間保管すること。</p> <p>(施工範囲)</p> <p>*図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔、開口部の補強</p> <p>*図示した壁、天井の仕上材、下地材の切り込み及び下地補強</p> <p>*自動閉鎖装置設置箇所の切り込み及び補強</p> <p>労働安全衛生法第30条2項に基づき、当該地における工事について同条第1項に規定する措置を講ずべき者として本工事現場代理人を指名する。</p> <p>請負者は本契約後直ちに「統括安全衛生責任者選任届出書」(任意様式)を提出すること。</p> <p>別紙様式による期間別工事工程報告書を毎月1回2部提出すること。</p> <p>次の工事について保証書を提出すること。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>工事区分</th> <th>材 料 名</th> <th>保証年数</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">防水工事</td> <td>・アスファルト防水</td> <td>10年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・改質アスファルトシート防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・合成高分子ルーフィング防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・塗膜防水</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根工事</td> <td>○金属板葺き</td> <td>10年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・折板葺き</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・瓦葺き</td> <td>年</td> <td>漏水の場合等</td> </tr> <tr> <td>防錆工事</td> <td></td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>特殊床工事</td> <td>・フローリング及び塗装</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>プール工事</td> <td>・プール本体</td> <td>年</td> <td>・アルミ・ステンレス・FRP</td> </tr> <tr> <td></td> <td>・塗装(通常塗装の場合)</td> <td>年</td> <td></td> </tr> <tr> <td>植栽工事</td> <td>・活着</td> <td>年</td> <td>枯死の場合</td> </tr> </tbody> </table> <p>※行う。(回数及び時期については監督員の指示による)</p> <p>※提出を要する。(2部) 指示による</p> <p>完成図は原則として原因にて修正を行い、施工図、保全に関する資料に必要なものの提出については、監督職員指示による。 詳細については特記仕様書-7による。</p> <p>18 アスベスト成形板の処理等</p> <p>1. 処理を行うアスベスト成形板の仕様</p> <ul style="list-style-type: none"> ・石膏スレート ・石膏セメント珪酸カルシウム板 ・その他 <p>2. 施工調査</p> <p>アスベスト成形板の撤去にあたり、あらかじめ事前の調査を次の事項について行う。</p> <p>調査結果は図面により記録し、監督職員監督員に提出する。</p> <p>(1)アスベスト成形板の使用部位の確認</p> <p>記載上のその使用範囲のみならず広く確認を行う。</p> <p>(2)アスベスト成形板の種別、厚さ等の確認</p> <p>(3)アスベスト成形板使用数量の確認</p> <p>(4)施工範囲等の確認</p>	工事区分	材 料 名	保証年数	備 考	防水工事	・アスファルト防水	10年		・改質アスファルトシート防水	年		・合成高分子ルーフィング防水	年		・塗膜防水	年		屋根工事	○金属板葺き	10年	漏水の場合等		・折板葺き	年	漏水の場合等		・瓦葺き	年	漏水の場合等	防錆工事		年		特殊床工事	・フローリング及び塗装	年		プール工事	・プール本体	年	・アルミ・ステンレス・FRP		・塗装(通常塗装の場合)	年		植栽工事	・活着	年	枯死の場合
工事区分	材 料 名	保証年数	備 考																																																			
防水工事	・アスファルト防水	10年																																																				
	・改質アスファルトシート防水	年																																																				
	・合成高分子ルーフィング防水	年																																																				
	・塗膜防水	年																																																				
屋根工事	○金属板葺き	10年	漏水の場合等																																																			
	・折板葺き	年	漏水の場合等																																																			
	・瓦葺き	年	漏水の場合等																																																			
防錆工事		年																																																				
特殊床工事	・フローリング及び塗装	年																																																				
プール工事	・プール本体	年	・アルミ・ステンレス・FRP																																																			
	・塗装(通常塗装の場合)	年																																																				
植栽工事	・活着	年	枯死の場合																																																			
記事:	<p>⑬ 有限会社 山谷建築設計事務所</p> <p>1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号</p> <p>広島県庄原市中本町一丁目13番3号</p> <p>T E L 0824-72-1382</p>	<p>設計者(管理建築士)</p> <p>1級建築士登録第225544号</p> <p>倉田 まゆみ</p>	<p>担当(総合)</p> <p>1級建築士登録第225544号</p> <p>倉田 まゆみ</p>	<p>構造設計</p> <p>・士法20条の2 構造設計1級建築士 号</p> <p>・1級建築士登録第 号</p> <p>・設備設計</p> <p>・士法20条の3 設備設計1級建築士 号</p> <p>・1級建築士登録第 号</p>	<p>工事名称</p> <p>永末小学校図工室増築工事</p> <p>図面名称</p> <p>建築工事特記仕様書-1</p>	<p>設計年月日</p> <p>2025・08</p> <p>縮尺</p> <p>-</p> <p>図面番号</p> <p>A02</p>																																																

①	① 建築基準法に基づき定まる風圧力	外壁ALCパネル工事、外壁押出成形セメント板工事、合成高分子ルーフィングシート防水工事（機械的固定工法）、外壁石取付け（乾式工法）工事、屋根葺き（長尺金属板、折版、粘土瓦）工事、アルミニウム製笠木工事、ガラスブロック積み工事において、施工計画書により工法を定める際の、建築基準法に基づき定まる風圧力算定のための風速（V0）及び地表面粗度区分は次の通りとする。 風速 $V0 = 30 \text{ m/s}$ 地表面粗度区分 ・ I ・ II ● III ・ IV	④ 砕石地業（4.6.3） ⑤ 捨てコンクリート地業（4.6.5） ⑥ 床下防湿層（4.6.6） ⑦ 接地点の断熱材（特定フロンを使用しないもの）	(1)厚さ * 60mm ・ 50 ・ 100 ・ 150 ● 図示による (2)再生クラッシャーラン * 使用する（適用箇所） ・ 使用しない 厚さ * 60mm ・ 50mm ● 図示 * 建物内土間全域 ・ 建物下地部分（ビニール床タイル等）但し便所、土間部磁器タイル下地は除く ● 図示による ポリスチレンフォーム保温材（JISA9511規格品） 3種b（スキ層無し） ● 図示による	⑦ 呼び強度（6.4.5） ⑧ コンクリート中の塩化物量（6.5.4） ⑨ 打継部止水板 ⑩ 型枠のせき板の種類（6.9.3） ⑪ 試験（6.10.1～6） ⑫ マスコンクリート（6.13.2） ⑬ 無筋コンクリート（6.14.1～3）	呼び強度は、品質基準強度に、構造体強度補正値を加えた値以上とする。 塩化物量（c1重量）0.30kg/m3以下 (1)材種 (2)適用箇所 * 合板 厚さ*12mm ・ 15mm ・ 床型枠用鋼製デッキプレート 製造所 下記以外は、6章10節による。 *コンクリートの強度試験 公的機関、及びこれに準ずる機関で行う。ただし構造体管理用は生コン工場試験室でもよい。 セメントの種類 *高炉セメントのB種 ・ その他（ ） (1)粗骨材の最大寸法（捨てコンクリート及び防水押さえコンクリートの場合） * 25mm ・ その他 mm (2)適用箇所 <table border="1"> <tr><th>種類</th><th>スランプ (cm)</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>● 普通コンクリート</td><td>● 15 ・ 18</td><td>均し</td></tr> <tr><td>・ 軽量コンクリート</td><td>・ 15 ・ 18</td><td></td></tr> </table> (3)免状強度 * 18N/mm2 ・ その他 N/mm2	種類	スランプ (cm)	適用箇所	● 普通コンクリート	● 15 ・ 18	均し	・ 軽量コンクリート	・ 15 ・ 18								
		種類					スランプ (cm)	適用箇所														
● 普通コンクリート	● 15 ・ 18	均し																				
・ 軽量コンクリート	・ 15 ・ 18																					
②	① 監督員事務所（2.3.1） ② 工事用水 ③ 工事用電力 ④ 仮囲い等の安全施設 ⑤ 工事現場の表示 ⑥ 枠組本足場	* 設ける ● 設けない (1)規模 ・ 1号 ・ 2号 ・ 3号 ・ 4号 ・ 5号 nF程度 (2)備品 ・ 適用しない * 適用する（監督員の指示による） 構内既存の施設 ● 利用できる（*有償 ・ 無償） * 利用できない 構内既存の施設 ・ 利用できる（*有償 ・ 無償） ● 利用できない * 別紙設計図による。 ・ 仮設計画図を作成して承諾を得る。 現場の見やすい位置に監督職員が指示する表示板(400mm×600mm)を設ける。 * 手すり先行工法または準ずる工法 ・ 枠組本足場在来工法	⑤	① 鉄筋（5.2.1） ② 溶接金網（5.2.2） ③ 材料試験（5.2.3） ④ 鉄筋の継手（5.3.4） ⑤ 耐久性上不利な箇所等の鉄筋のかぶり厚さ（5.3.5） ⑥ 帯筋（別図各部配筋2.2） ⑦ 梁貫通孔補強（別図各部配筋7.1） ⑧ 圧接完了後の検査（5.4.9） ⑨ スペーサー	⑦ 鉄骨製作工場（7.1.3～4） ⑧ 鋼材（7.2.1） ⑨ 高力ボルト（7.2.2）（7.4.5） ⑩ ターンバックル（7.2.6） ⑪ 溶接部の確認・検査（7.6.11） ⑫ 錆止め塗装（7.8.3） ⑬ 耐火被覆（7.9.2） ⑭ アンカーボルトの材質及び設置（7.2.4）（7.10.3） ⑮ 柱底均しモルタルの材料及び工法（7.2.9）（7.10.3） ⑯ 亜鉛めっき（7.12.3）	<table border="1"> <tr><th>種類の記号</th><th>径</th></tr> <tr><td>*SD295</td><td>D10, D13, D16</td></tr> <tr><td>*SD345</td><td>D19以上</td></tr> </table> (1)網目の形状 寸法・径 6φ mm 100×100 (2)施工箇所 犬走り、押さえコンクリート JISの規格品については規格証明書の提出、その他は公的機関及びこれに準ずる機関において5.2.3(b)による試験を行うこと。 鉄筋を溶接する場合は、5.2.3(c)による試験を行うこと。 (1)柱及び梁の主筋 *ガス圧接 ・ 重ね継手 (2)その他の主筋 *重ね継手 ・ その他（ ） 打放し面（増打ち） 柱サイド mm ・ その他 mm ● 基準法上のかぶり厚 最小かぶり厚さ以上確保。ただし片持ち床版等は規定のかぶり厚さを確保すること。 形の種別 断面リストによる 補強形式 構造関係共通事項による (*国土交通大臣の技術評定及び認定を受けたものについては、証明書類及び計算書を提出すること。) 検査方法 *超音波探傷試験+外観試験 ・ 引張試験+外観試験 (1)鋼製、合成樹脂製 : 梁、柱、基礎梁、壁、地下外壁 (2)鋼製 : 床（スラブ、土間） (3)鋼製、コンクリート製※ : 基礎（※強度試験成績表提出）	種類の記号	径	*SD295	D10, D13, D16	*SD345	D19以上										
種類の記号	径																					
*SD295	D10, D13, D16																					
*SD345	D19以上																					
③	① 埋め戻し及び盛り土（3.2.3） ② 建設発生土の処理（3.2.5） ③ 整地 4 山留め（3.3.1）	種別 ・ A種 * B種 ・ C種 ・ D種 ・ 真砂土(CBR平均10以上) *構外指示の場所に処分 ● 構外搬出適切処理 ・ 構内指示の場所に敷き均し ・ 構内指示の場所に堆積 当該工事により発生する建設発生土は、下記の処分先を見込んでいる。 (1) 処分場所 (2) 運搬距離 km (3) 受入条件 (4) 受入費用 平日受入費用 (5) 提出調書等 提出を義務付ける。 なお、工事発注後に明らかになったやむを得ない事情により上記の指定により難い場合は、監督職員と協議者とする。やむを得ず自由処分とする場合は、森林法等関係法令の整備状況、防災措置・周辺環境への対策等適切な措置がなされていることを確認する。 建物周囲は真砂土厚100mm敷き込みのうえ、転圧整地のこと（1m範囲） 敷地内の整地は図示 * 任意仮設 ・ 但し諸数値については監督職員監督員の指示を受けること ・ 指定仮設 ・ 工法によっては、耐力確認試験を行うこと	⑥	① 設計基準強度（6.1.3～4） ② レディーミクストコンクリートの種別（6.1.5） ③ コンクリートの仕上り（6.2.5） ④ セメントの種別（6.3.2） ⑤ 細骨材の塩分含有量 ⑥ 混和材料（6.3.5）	⑦ 鉄骨製作工場（7.1.3～4） ⑧ 鋼材（7.2.1） ⑨ 高力ボルト（7.2.2）（7.4.5） ⑩ ターンバックル（7.2.6） ⑪ 溶接部の確認・検査（7.6.11） ⑫ 錆止め塗装（7.8.3） ⑬ 耐火被覆（7.9.2） ⑭ アンカーボルトの材質及び設置（7.2.4）（7.10.3） ⑮ 柱底均しモルタルの材料及び工法（7.2.9）（7.10.3） ⑯ 亜鉛めっき（7.12.3）	<table border="1"> <tr><th>種類の記号</th><th>径</th></tr> <tr><td>*SD295</td><td>D10, D13, D16</td></tr> <tr><td>*SD345</td><td>D19以上</td></tr> </table> (1)鋼製の形状 寸法・径 6φ mm 100×100 (2)施工箇所 犬走り、押さえコンクリート JISの規格品については規格証明書の提出、その他は公的機関及びこれに準ずる機関において5.2.3(b)による試験を行うこと。 鉄筋を溶接する場合は、5.2.3(c)による試験を行うこと。 (1)柱及び梁の主筋 *ガス圧接 ・ 重ね継手 (2)その他の主筋 *重ね継手 ・ その他（ ） 打放し面（増打ち） 柱サイド mm ・ その他 mm ● 基準法上のかぶり厚 最小かぶり厚さ以上確保。ただし片持ち床版等は規定のかぶり厚さを確保すること。 形の種別 断面リストによる 補強形式 構造関係共通事項による (*国土交通大臣の技術評定及び認定を受けたものについては、証明書類及び計算書を提出すること。) 検査方法 *超音波探傷試験+外観試験 ・ 引張試験+外観試験 (1)鋼製、合成樹脂製 : 梁、柱、基礎梁、壁、地下外壁 (2)鋼製 : 床（スラブ、土間） (3)鋼製、コンクリート製※ : 基礎（※強度試験成績表提出）	種類の記号	径	*SD295	D10, D13, D16	*SD345	D19以上										
種類の記号	径																					
*SD295	D10, D13, D16																					
*SD345	D19以上																					
④	1 試験杭（4.2.2） 2 地盤改良 3 場所打ちコンクリート杭地業（4.5.3～7）	(1)杭の本数 * 最初の1本 ・ 図示による (2)杭の種類 * 本杭と同じ ・ その他（ ） (3)杭の寸法 * 本杭と同じ ・ その他（ ） (4)設計支持力 t/本 (5)支持力の算定方法 * 平成13年国土交通省告示1113号による * 深層混合処理工法 (1)改良径：1000φ (2)改良長：L=1,450～2,950 (3)先端深度：設計GL-2,500～4,000 (4)長期地耐力度：Lfe=150KN/㎡ (1)掘削工法 ・ アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭 ・ 拡底杭工法 他の工法との組み合わせ （アースドリル工法 ・ リバース工法 ・ オールケーシング工法 ・ 場所打ち鋼管コンクリート杭） (2)掘削深さ GL- m (3)断面寸法 mm (4)セメントの種類 * 高炉セメントB種 ・ その他（ ） (5)コンクリートの種別 ・ A種 ・ B種 (6)鉄筋の最小かぶり厚さ * 100mm ・ mm (7)超音波測定 ・ 行う（箇所） ・ 行わない	⑥	① 設計基準強度（6.1.3～4） ② レディーミクストコンクリートの種別（6.1.5） ③ コンクリートの仕上り（6.2.5） ④ セメントの種別（6.3.2） ⑤ 細骨材の塩分含有量 ⑥ 混和材料（6.3.5）	⑦ 鉄骨製作工場（7.1.3～4） ⑧ 鋼材（7.2.1） ⑨ 高力ボルト（7.2.2）（7.4.5） ⑩ ターンバックル（7.2.6） ⑪ 溶接部の確認・検査（7.6.11） ⑫ 錆止め塗装（7.8.3） ⑬ 耐火被覆（7.9.2） ⑭ アンカーボルトの材質及び設置（7.2.4）（7.10.3） ⑮ 柱底均しモルタルの材料及び工法（7.2.9）（7.10.3） ⑯ 亜鉛めっき（7.12.3）	<table border="1"> <tr><th>種類</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・ A種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> <tr><td>● B種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> <tr><td>・ C種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> </table> * 1類 ・ II類 (1)部材の位置及び断面寸法の許容差 * 表6.2.2による ・ その他（ ） (2)コンクリート打放し仕上げ * 合板せき板を使用する場合（表6.2.3） <table border="1"> <tr><th>種別</th><th>適用箇所</th></tr> <tr><td>・ A種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> <tr><td>● B種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> <tr><td>・ C種</td><td>* 図示による ・ その他（ ）</td></tr> </table> * 合板せき板を使用しない場合 (3)仕上りの平坦さ * 表6.2.4及び15.3.2による ・ その他（ ） * 普通ボルトランドセメント又は混合セメントA種 ・ 高炉セメントB種 塩化物量 NaCl換算 0.04%以下 * 混和剤 AE減水剤、高性能AE減水剤 ・ 混和材（フライアッシュ ・ 高炉スラグ ・ 膨張材）	種類	適用箇所	・ A種	* 図示による ・ その他（ ）	● B種	* 図示による ・ その他（ ）	・ C種	* 図示による ・ その他（ ）	種別	適用箇所	・ A種	* 図示による ・ その他（ ）	● B種	* 図示による ・ その他（ ）	・ C種	* 図示による ・ その他（ ）
種類	適用箇所																					
・ A種	* 図示による ・ その他（ ）																					
● B種	* 図示による ・ その他（ ）																					
・ C種	* 図示による ・ その他（ ）																					
種別	適用箇所																					
・ A種	* 図示による ・ その他（ ）																					
● B種	* 図示による ・ その他（ ）																					
・ C種	* 図示による ・ その他（ ）																					
記事：	① 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者（管理建築士） 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当（総合） 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・ 構造設計 ・ 法適合確認 ・ 設備設計 ・ 法適合確認 ・ 土佐20条の3 設備設計1級建築士 号 ・ 1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 建築工事特記仕様書-2	設計年月日 2025.08 縮尺 -	図面番号 A03															

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																																																																																															
8 コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事	1 コンクリートブロック (8.2.2) (8.3.2)	(1)種類 *C種 <table border="1"> <tr> <th>適用箇所</th> <th>断面形状及び圧縮強さによる区分</th> </tr> <tr> <td>間仕切り壁、地下二重壁、外壁、扉 衛生配管用裏積みブロック</td> <td>*空胴ブロック16 ・空胴ブロックW-16 *空胴ブロック08 ・空胴ブロック16</td> </tr> </table>	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分	間仕切り壁、地下二重壁、外壁、扉 衛生配管用裏積みブロック	*空胴ブロック16 ・空胴ブロックW-16 *空胴ブロック08 ・空胴ブロック16	5 漏水試験 6 シーリング用材料 (9.6.2) 7 シーリングの試験 (9.6.5)	(3)種別Y-2における保護層(工程5,6)の適用 ・保護シート() ・保護モルタル() ・保護コンクリート() 屋内については水張試験を行う。 施工箇所は、下記以外表9.6.1による。 <table border="1"> <tr> <th>シーリング材の種類</th> <th>記号</th> <th>耐久性区分</th> <th>組合せ</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>変成シリコン系</td> <td>MS-2</td> <td>9030</td> <td>シリ+金属</td> <td>建具周囲など</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	シーリング材の種類	記号	耐久性区分	組合せ	施工箇所	変成シリコン系	MS-2	9030	シリ+金属	建具周囲など																4 防腐処理 (12.2.8) 5 防蟻処理 (12.2.9) 6 防虫処理 (12.2.10) 7 含水率試験 8 代用樹種	ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合は、F☆☆☆ (Fco, Eo等級のものを含む))を使用する。 *行う(適用箇所 *図示による) ・行わない(非有機リン系とする) *行わない 行(適用箇所 *図示による) 保存木材の性能区分 *K3 (非有機リン系とする) *行わない ・行(適用箇所 *ラワン材) 保存木材の性能区分 *K1 *行う ・行わない *使用できる ・使用できない																																																																																				
	適用箇所	断面形状及び圧縮強さによる区分																																																																																																																					
	間仕切り壁、地下二重壁、外壁、扉 衛生配管用裏積みブロック	*空胴ブロック16 ・空胴ブロックW-16 *空胴ブロック08 ・空胴ブロック16																																																																																																																					
シーリング材の種類	記号	耐久性区分	組合せ	施工箇所																																																																																																																			
変成シリコン系	MS-2	9030	シリ+金属	建具周囲など																																																																																																																			
2 ALCパネル (8.4.2~5)	(1)パネルの種類、単位荷重、厚さ耐火性能、工法・種別 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ</th> <th>単位荷重(N/m2)</th> <th>耐火性能</th> <th>工法・種別</th> </tr> <tr> <td>・外壁用 *図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切り用</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>・B種・C種・D種・E種・F種・G種</td> </tr> <tr> <td>・屋根用 *図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8.4.6による</td> </tr> <tr> <td>・床用 *図示</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>8.4.6による</td> </tr> </table>	種類	厚さ	単位荷重(N/m2)	耐火性能	工法・種別	・外壁用 *図示				・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種	・間仕切り用				・B種・C種・D種・E種・F種・G種	・屋根用 *図示				8.4.6による	・床用 *図示				8.4.6による	10 石工事	(1)品質 *1等品(床以外) *2等品(床) ・() (2)石材の種類及び表面仕上げ <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・産地・名称</th> <th>表面仕上げの種類</th> </tr> <tr> <td>浴室(浴槽)</td> <td>岩風呂用自然石</td> <td>油石</td> </tr> <tr> <td>浴室壁</td> <td>岩風呂用自然石/鉄平石</td> <td>油石</td> </tr> </table>	施工箇所	種類・産地・名称	表面仕上げの種類	浴室(浴槽)	岩風呂用自然石	油石	浴室壁	岩風呂用自然石/鉄平石	油石	1 長尺金属板葺き (13.2.2~3) 2 折板葺き (13.3.2~3) 3 スレート波板葺き (13.4.2) 4 粘土瓦葺き (13.4.2~3) 5 石綿セメント板(化粧)等葺き 6 とい (13.5.2~3) 7 ルーフトレイン (13.5.2~3) 8 たてどいの床及び天井面の取り合い部 (13.5.3)	*建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 *庄原市:II ・適用しない (3)出隅・入隅部のパネル接合部目地幅 *20mm ・ mm (1)パネルの種類、表面形状、耐火性能、工法・種別 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ</th> <th>工法・種別</th> </tr> <tr> <td>・外壁用</td> <td></td> <td>18.5,25.5</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切り用</td> <td></td> <td></td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </table>	種類	表面形状	厚さ	工法・種別	・外壁用		18.5,25.5	・A種 ・B種	・間仕切り用			・B種 ・C種	1 天然石 (10.2.1) 2 テラゾブロック及びテラゾタイル (10.2.1)	*簡易接着性試験 ・引張接着性試験 行わない ① 長尺金属板葺き (13.2.2~3) *塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用)・フッ素樹脂鋼板 ガルバリウム鋼板(着色) ・ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種) ・塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) 長尺金属板の厚さ(mm) 一般部 ・0.3 ・0.35 *0.4 0.5 谷部 *0.4 0.5 屋根葺き形式 ・瓦葺き 立平葺き ・横葺き ・丸はぜ型葺き ・段葺き 屋根葺き工法を定める専門業者 *工事監理者の承諾による。 2 折板葺き (13.3.2~3) 形式 山高 mm ビッチ mm 耐力 厚さ mm 形による区分 *重ね型 ・はぜ詰め型 材料 *塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) ・フッ素樹脂鋼板 ・ポリ塩化ビニル被覆金属板(SG A種) ・塗装溶融亜鉛-5%アルミニウム合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) ・塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯(屋根用) タイトフレーム、くれば納めは屋根葺き工法に応じた専門業者の仕様による。 3 スレート波板葺き (13.4.2) 種類 屋根 ・大波 ・中波 ・リップ波 ・小波(自転車置場) 外壁 ・大波 ・中波 ・リップ波 ・小波 軒先 *面戸板を使用 面戸板は石綿スレート製とする。 外壁の出隅 *隅当て使用 座金の厚さ(mm) *1.6以上 4 粘土瓦葺き (13.4.2~3) 形状 J型53B等級 耐凍害性を証明する資料を監督員へ提出のこと 製造所 *評価名簿による ・石州瓦同等品 ・防災瓦葺き、防災のし 5 石綿セメント板(化粧)等葺き 形状 製造所 6 とい (13.5.2~3) 材質 *炭素塩化ビニル管(カラー) ・配管用鋼管 ・アルミ管 図示による 防腐 *行わない ・行 掃除口 ・有 ・無 とい受金物 *市販品 ・表13.6.2による ステンレス製 7 ルーフトレイン (13.5.2~3) 製造所 *評価名簿による 断熱防水の場合、断熱防水用ルーフトレインとする 8 たてどいの床及び天井面の取り合い部 (13.5.3) 防露を行う場合、バンド(ステンレス鋼帯SUS304 厚さ0.2mm)で被覆する。 高さ(mm) 床 *150 天井 *30 防露を行わない場合 シーリングプレート(ステンレス製)を取付(床、天井)																																																																		
種類	厚さ	単位荷重(N/m2)	耐火性能	工法・種別																																																																																																																			
・外壁用 *図示				・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種																																																																																																																			
・間仕切り用				・B種・C種・D種・E種・F種・G種																																																																																																																			
・屋根用 *図示				8.4.6による																																																																																																																			
・床用 *図示				8.4.6による																																																																																																																			
施工箇所	種類・産地・名称	表面仕上げの種類																																																																																																																					
浴室(浴槽)	岩風呂用自然石	油石																																																																																																																					
浴室壁	岩風呂用自然石/鉄平石	油石																																																																																																																					
種類	表面形状	厚さ	工法・種別																																																																																																																				
・外壁用		18.5,25.5	・A種 ・B種																																																																																																																				
・間仕切り用			・B種 ・C種																																																																																																																				
3 押出成形セメント板(CEP) (8.5.2) (8.5.4)	(1)パネルの種類、表面形状、耐火性能、工法・種別 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>表面形状</th> <th>厚さ</th> <th>工法・種別</th> </tr> <tr> <td>・外壁用</td> <td></td> <td>18.5,25.5</td> <td>・A種 ・B種</td> </tr> <tr> <td>・間仕切り用</td> <td></td> <td></td> <td>・B種 ・C種</td> </tr> </table>	種類	表面形状	厚さ	工法・種別	・外壁用		18.5,25.5	・A種 ・B種	・間仕切り用			・B種 ・C種	1 伸縮調整目地及びびびり割れ誘発目地 (11.1.3) 2 施工後の確認及び試験 (11.1.4) 3 材料 (11.2.1) (11.2.3) 4 陶磁器質タイル後張り工法 (11.3.3)	(3)建築基準法に基づき定まる風速(Vo)及び地表面粗度区分 *図示による ・適用しない (1)種石の種類・大きさ *大理石 mm ・() (2)表面仕上げ ・() (3)製造所 *監督職員監督員が承諾する工場 (1)外壁 *立面図による ・表11.1.1による (2)屋内 *11.1.3(b)による ・表11.1.1による 接着力試験 *行う ・行わない() (1)試験方法 *11.1.4(b)(1)による ・() (2)試験体 *11.1.4(b)(2)による ・() (3)引張接着強度 *表11.1.2による ・() (1)タイルの形状・寸法、きじの質、うわぐすりの有無 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>形状寸法(mm)</th> <th>きじ</th> <th>うわぐすり</th> <th>その他</th> </tr> <tr> <td>ボーチ:床</td> <td>300角</td> <td>磁器質</td> <td>無軸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>玄関:床</td> <td>300角</td> <td>磁器質</td> <td>無軸</td> <td></td> </tr> <tr> <td>スロープ:床</td> <td>300角</td> <td>磁器質</td> <td>無軸</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	形状寸法(mm)	きじ	うわぐすり	その他	ボーチ:床	300角	磁器質	無軸		玄関:床	300角	磁器質	無軸		スロープ:床	300角	磁器質	無軸																																1 防水層の工法による種類及び工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別													1 木材 (12.2.1) 2 造作用集成材 (12.2.2) 3 化粧ばり造作用集成材 (12.2.2)	(2)アスファルトの種類 *3種 (3)押さえ金物の材質及び形状寸法 *アルミニウム製L-30×15×2.0mm ・() (4)屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ 材質 *押出法ポリスチレンフォーム3種h両面スキン層付(JISA9511) ・() 厚さ *25mm ・ mm (5)絶縁シートに使用する材料 屋根保護防水工法 *ポリエチレンフィルム ・() 屋根保護防水断熱工法 *フラットヤーンクロス ・() (6)立上り部コンクリート打直し仕上げの種類 *表6.2.3のB種 ・() (7)成形伸縮目地材 製造所 *評価名簿による ・() (8)防水立上り部の乾式保護材 製造所 *評価名簿による ・() (9)屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 *設ける ・設けない 種類・材質() 設置数量() (1)防水層の工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種別	施工箇所	種別													1 ステンレス表面仕上げ (14.2.1) 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	(1)防水層の工法による種類及び工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> </tr> <tr> <td>屋根(居室が有る箇所)</td> <td>断熱工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根(その他)</td> <td>絶縁工法</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>屋根(立上り部分)</td> <td>接着工法</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別	屋根(居室が有る箇所)	断熱工法			屋根(その他)	絶縁工法			屋根(立上り部分)	接着工法			記事: ① 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382 設計者(管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ 担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ ・構造設計 ・法適合確認 ・土佐2条の1 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 工事名称 永末小学校図工室増築工事 ・設備設計 ・法適合確認 ・土佐2条の1 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 図面名称 建築工事特記仕様書-3 設計年月日 2025-08 縮尺 - 図面番号 A04
種類	表面形状	厚さ	工法・種別																																																																																																																				
・外壁用		18.5,25.5	・A種 ・B種																																																																																																																				
・間仕切り用			・B種 ・C種																																																																																																																				
施工箇所	形状寸法(mm)	きじ	うわぐすり	その他																																																																																																																			
ボーチ:床	300角	磁器質	無軸																																																																																																																				
玄関:床	300角	磁器質	無軸																																																																																																																				
スロープ:床	300角	磁器質	無軸																																																																																																																				
施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																																																																				
施工箇所	種別	施工箇所	種別																																																																																																																				
施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																																																																				
屋根(居室が有る箇所)	断熱工法																																																																																																																						
屋根(その他)	絶縁工法																																																																																																																						
屋根(立上り部分)	接着工法																																																																																																																						
1 アスファルト防水 (9.2.2~5)	(1)防水層の工法による種類及び工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別													1 木工事	原則JASの規格品とするが、JASの規格品以外を使用する場合は、受入時にJASに準じた社内検査を実施し、必要に応じて監督員の立会いを求め、承諾を得ること。 県産材の使用 造作材の品質 *表12.2.2による 単材の樹種及び厚さ <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>単材の厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>事務室カウンター</td> <td></td> <td>図示</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	単材の厚さ(mm)	事務室カウンター		図示	1 ステンレス表面仕上げ (14.2.1) 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合は、F☆☆☆ (Fco, Eo等級のものを含む))を使用する。 化粧単版の樹種及び厚さ <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>施工箇所</th> <th>樹種</th> <th>厚さ(mm)</th> </tr> <tr> <td>柱</td> <td></td> <td>*1以上</td> <td>天井板</td> <td></td> <td>*0.2以上</td> </tr> <tr> <td>鴨居・長押・廻縁</td> <td></td> <td>*0.6以上</td> <td>敷居</td> <td></td> <td>*1.5以上</td> </tr> </table>	施工箇所	樹種	厚さ(mm)	施工箇所	樹種	厚さ(mm)	柱		*1以上	天井板		*0.2以上	鴨居・長押・廻縁		*0.6以上	敷居		*1.5以上	1 防水層の材料による種類及び工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別													2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~4) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) 4 塗膜防水 (9.5.2~4)	(2)絶縁用シートの材質 *発砲ポリエチレンシート ・() (1)防水層の材料による種類及び工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種類・種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別													2 改質アスファルトシート防水 (9.3.2~4) 3 合成高分子系ルーフィングシート防水 (9.4.2~4) 4 塗膜防水 (9.5.2~4)	(2)アスファルトの種類 *3種 (3)押さえ金物の材質及び形状寸法 *アルミニウム製L-30×15×2.0mm ・() (4)屋根保護防水断熱工法に用いる断熱材の材質及び厚さ 材質 *押出法ポリスチレンフォーム3種h両面スキン層付(JISA9511) ・() 厚さ *25mm ・ mm (5)絶縁シートに使用する材料 屋根保護防水工法 *ポリエチレンフィルム ・() 屋根保護防水断熱工法 *フラットヤーンクロス ・() (6)立上り部コンクリート打直し仕上げの種類 *表6.2.3のB種 ・() (7)成形伸縮目地材 製造所 *評価名簿による ・() (8)防水立上り部の乾式保護材 製造所 *評価名簿による ・() (9)屋根露出防水絶縁工法の脱気装置 *設ける ・設けない 種類・材質() 設置数量() (1)防水層の工程による種別 <table border="1"> <tr> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> <th>施工箇所</th> <th>種別</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	施工箇所	種別	施工箇所	種別													1 ステンレス表面仕上げ (14.2.1) 2 アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理 (14.2.2)	表面処理の種類 施工場所 ・B-1種 ・B-2種 皮膜の品質試験 ・行() *行わない(試験成績表の提出)																			
施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																																																																				
施工箇所	樹種	単材の厚さ(mm)																																																																																																																					
事務室カウンター		図示																																																																																																																					
施工箇所	樹種	厚さ(mm)	施工箇所	樹種	厚さ(mm)																																																																																																																		
柱		*1以上	天井板		*0.2以上																																																																																																																		
鴨居・長押・廻縁		*0.6以上	敷居		*1.5以上																																																																																																																		
施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																																																																				
施工箇所	種類・種別	施工箇所	種類・種別																																																																																																																				
施工箇所	種別	施工箇所	種別																																																																																																																				

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																			
金属工事	鉄の亜鉛めっき (14.2.3)	<table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>施工場所</th> <th>種別</th> <th>施工場所</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>*亜鉛めっき面の試験 *行う(付着量試験) ・行わない</p>	種別	施工場所	種別	施工場所					<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ① 建具工事 </div>	6 軽量骨材仕上塗材 吹付け	<p>・複層仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上の形状</th> <th>上塗材</th> </tr> <tr> <td>・複層塗材CE ・複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材Si</td> <td>・ゆず肌 ・凸部処理 ・凹凸模様</td> <td>ローラー 吹付け ・水系 ・シリカ系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系 ・弱溶剤系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系</td> </tr> </table> <p>ALCパネル内壁目地部の形状 *V型目地付き</p> <p>※ JIS規格同等品 ・ JIS規格品</p> <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>種類</th> <th>仕上厚 (mm)</th> </tr> <tr> <td>軽量骨材仕上塗材</td> <td>※吹付け軽量骨材仕上塗材</td> <td>※5</td> </tr> </table> <p>骨材の種類 ※パーライト ・パーミキュライト</p>	種類	仕上の形状	上塗材	・複層塗材CE ・複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材Si	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凹凸模様	ローラー 吹付け ・水系 ・シリカ系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系 ・弱溶剤系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系	種別	種類	仕上厚 (mm)	軽量骨材仕上塗材	※吹付け軽量骨材仕上塗材	※5	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ② 左官工事 </div>	9 自動ドア開閉装置 (16.8.2~3)	(1)型式、製造所 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>型式</th> <th>製造所</th> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>・コンシールド形</td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>ピボットヒンジ</td> <td>※持出し吊り ・中心吊り</td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>ヒンジクローザー</td> <td>・丁番形</td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>フロアーヒンジ</td> <td>・中心吊り形</td> <td>*評価名簿による</td> </tr> </table> <p>(2)縫箱 ・設ける (1個用) <input type="radio"/> 設けない (3)マスターキー ・製作する (1個) <input type="radio"/> 製作しない (4)引違扉の鍵鍵はトリガー付とする。</p>	種類	型式	製造所	ドアクローザー	・コンシールド形	*評価名簿による	ピボットヒンジ	※持出し吊り ・中心吊り	*評価名簿による	ヒンジクローザー	・丁番形	*評価名簿による	フロアーヒンジ	・中心吊り形	*評価名簿による
	種別	施工場所	種別	施工場所																																							
	種類	仕上の形状	上塗材																																								
	・複層塗材CE ・複層塗材E ・複層塗材RS ・複層塗材RE ・複層塗材Si	・ゆず肌 ・凸部処理 ・凹凸模様	ローラー 吹付け ・水系 ・シリカ系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系 ・アクリルシリコン系 ・フッ素系 ・弱溶剤系 ・アクリル系 ・ポリウレタン系																																								
	種別	種類	仕上厚 (mm)																																								
	軽量骨材仕上塗材	※吹付け軽量骨材仕上塗材	※5																																								
	種類	型式	製造所																																								
	ドアクローザー	・コンシールド形	*評価名簿による																																								
	ピボットヒンジ	※持出し吊り ・中心吊り	*評価名簿による																																								
ヒンジクローザー	・丁番形	*評価名簿による																																									
フロアーヒンジ	・中心吊り形	*評価名簿による																																									
5 アルミニウム製笠木 (14.7.2)	<p>*押出形材 部材の種類 ・250形 ・300形 ・350形 表面処理 *A-1種又はB-1種 ・曲げ材 材質 JIS H 4100 A6063S 表面処理 ※ A-1種又はB-1種 厚さ (mm) ・ 形状図示</p>	7 ロックウール吹付け (15.7.2)	(1)種別 ※一般用 (2)色彩 ・着色 ・原色 (3)厚さ (mm) ・10 ・15 ・20 建築基準法に基づき不燃材料の指定又は認定を受けたものとする。	10 自閉式上吊り引戸装置 (16.9.2)	(1)製造所 *評価名簿による (2)開閉時制動装置 ・設ける ・設けない																																						
6 鋼製手すり (14.8.2)	亜鉛めっき ・行う (※C種) ※行わない	8 張物タイル下地	張り物タイル (ビニール床タイル等) の下地は1階防水モルタル塗、2階以上はモルタル塗りとする。	11 重量シャッター (16.10.2)	(1)種類 ・一般 ・外壁用防火 ・屋内用防火 ・防煙 防火又は防煙シャッターは、自動閉鎖装置及び随時閉鎖装置付とし、連動制御装置及び煙感知器は別途とする。 (2)開閉機能による区分 *上部電動式 (手動併用) ・ 上部手動式 (3)障害物感知装置 *設ける ・ 設けない 防火・防煙シャッターにおいては、手動閉鎖装置又は連動閉鎖機構による自重降下中に、障害物を感知しても、自重降下の状態を維持するものとする。 (4)シャッターケース (防火、防煙以外) ・ 設ける ・ 設けない (5)耐風圧性能 ・ 50 ※ 80 ・ 120 (6)製作所 *評価名簿による																																						
7 耐酸被覆メタル	・ 黒 ・ カラー 製造所	① アルミニウム製建具 (16.2.2~5)	(1)性能等級等 <table border="1"> <tr> <th>種別</th> <th>A種</th> <th>B種</th> <th>C種</th> </tr> <tr> <td>耐風圧性</td> <td>*S-4</td> <td>・ S-5</td> <td>・ S-6</td> </tr> <tr> <td>気密性</td> <td>*A-3</td> <td colspan="2">・ A-4</td> </tr> <tr> <td>水密性</td> <td>*W-4</td> <td colspan="2">・ W-5</td> </tr> <tr> <td>枠の見込み寸法 (mm)</td> <td colspan="2">70</td> <td>100</td> </tr> <tr> <td>表面処理</td> <td colspan="3">*B-1種 ・ B-2種 (色調)</td> </tr> </table> <p>(2)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 (3)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 (4)耐震ドアセットの面内変形追従の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 (5)製造所 *評価名簿による (6)防虫網の材質 *ガラス繊維入り合成樹脂 <input type="radio"/> 合成樹脂 ・ ステンレス製 (SUS 316)</p>	種別	A種	B種	C種	耐風圧性	*S-4	・ S-5	・ S-6	気密性	*A-3	・ A-4		水密性	*W-4	・ W-5		枠の見込み寸法 (mm)	70		100	表面処理	*B-1種 ・ B-2種 (色調)			12 軽量シャッター (16.11.2~3)	(1)開閉機能による種類 *手動式 ・ 上部電動式 (手動併用) (2)スラットの材質 *塗装溶融亜鉛めっき鋼板 (3)スラットの形状 ・ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形 (4)耐風圧性能 ・ 50 ※ 65 ・ 80 (5)シャッターケース ・ 設ける ・ 設けない (6)ガイドレールの材質 ※ステンレス製 (SUS 304) ・ 中柱 (鋼製) 内法高2.5m以上補強型 ・ 座板 (屋外) ステンレス製2L-3×40×40SUS304 (7)製作所 *評価名簿による														
種別	A種	B種	C種																																								
耐風圧性	*S-4	・ S-5	・ S-6																																								
気密性	*A-3	・ A-4																																									
水密性	*W-4	・ W-5																																									
枠の見込み寸法 (mm)	70		100																																								
表面処理	*B-1種 ・ B-2種 (色調)																																										
8 サッシ取合い間仕切板	種類 ※鋼板製 (表面処理亜鉛めっき鋼板とし、亜鉛の最小付着量は両面で120g/m ² 以上とする。但し取付金物を除く) ・ アルミニウム製 表面処理 ※ B-1種 ・ B-2種	2 鋼製建具 (16.3.2)	(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 (2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 (3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 (4)製造所 *評価名簿による (5)煙感知器連動とする防火戸の解錠機構は別途とする。 ※扉にラッチ受座用切込開口補強 ・ 枠に解錠機構用切込開口補強	13 オーバーヘッドドア (16.12.2~3)	(1)セクション材料による区分 *スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ (2)開閉方式による区分 *バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式 (3)収納形式による区分 ・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイブリッド形 ・ パーチカル形 (4)ガイドレールの材質 *溶融亜鉛めっき鋼板 (めっき付着量 227) 厚さ2.0mm以上 ・ ステンレス鋼板 (SUS304) 厚さ2.0mm以上 (5)アルミニウム型材の表面処理 *陽極酸化塗装複合皮膜 (・ 標準色 ・ 指定色) ・ 陽極酸化皮膜 (6)耐風圧性能 ・ 50 ※75 ・ 100 ・ 125 (7)製作所 *評価名簿による																																						
9 鋼製床組	※ 監督職員監督員の承諾する製造所 ・ JIS規格品	3 標準型鋼製建具 (16.3.6)	(1)建具用金具 16.3.6 (2)による (2)製造所 ※ 評価名簿による	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ③ ガラス材料 (16.13.2) ガラスの留め材 (16.13.2) </div>	<table border="1"> <tr> <th>建具の種類</th> <th>材種</th> </tr> <tr> <td>鋼製</td> <td>*シーリング材</td> </tr> <tr> <td>アルミニウム製</td> <td><input checked="" type="radio"/> ガasket <input type="radio"/> ーリング材</td> </tr> <tr> <td>ステンレス製</td> <td>*シーリング材</td> </tr> <tr> <td>木製</td> <td>*シーリング材</td> </tr> </table> <p>防火戸のガラスのとめ材は、建築基準法に基づく防火性能の認定を受けた条件による。</p>	建具の種類	材種	鋼製	*シーリング材	アルミニウム製	<input checked="" type="radio"/> ガasket <input type="radio"/> ーリング材	ステンレス製	*シーリング材	木製	*シーリング材																												
建具の種類	材種																																										
鋼製	*シーリング材																																										
アルミニウム製	<input checked="" type="radio"/> ガasket <input type="radio"/> ーリング材																																										
ステンレス製	*シーリング材																																										
木製	*シーリング材																																										
① E X P. J	① アルミ製 (図示による)	4 鋼製軽量建具 (16.4.2~5)	<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>材質</th> </tr> <tr> <td>召合せ、縦小口の包み板</td> <td>・鋼板 ※ステンレス ・アルミニウム</td> </tr> <tr> <td>押縁</td> <td>※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム</td> </tr> <tr> <td>扉の表面板</td> <td>※鋼板 ・ビニル被覆鋼板 (製作所仕様)</td> </tr> <tr> <td>枠類</td> <td>※鋼板 (くつずりはステンレス) ・製作所仕様</td> </tr> </table> <p>製作所 ※ 評価名簿による</p>	区分	材質	召合せ、縦小口の包み板	・鋼板 ※ステンレス ・アルミニウム	押縁	※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム	扉の表面板	※鋼板 ・ビニル被覆鋼板 (製作所仕様)	枠類	※鋼板 (くつずりはステンレス) ・製作所仕様	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ④ 付属電気設備 </div>	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ⑤ 金属製建具の取付け </div>																												
区分	材質																																										
召合せ、縦小口の包み板	・鋼板 ※ステンレス ・アルミニウム																																										
押縁	※鋼板 ・ステンレス ・アルミニウム																																										
扉の表面板	※鋼板 ・ビニル被覆鋼板 (製作所仕様)																																										
枠類	※鋼板 (くつずりはステンレス) ・製作所仕様																																										
1 モルタル塗り及びブラスター塗り類の下地調整	吸水調整剤 製造所 *評価名簿による	5 標準型鋼製軽量建具 (16.4.6)	(1)建具用の金物 16.4.6 (2)による (2)扉の表面板 ※鋼板 ・ビニル被覆鋼板 (製作所仕様)	<div style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;"> ⑥ 電動シャッター、自動扉の施工範囲は下記による。 自動扉の電源スイッチ以降の配線工事 (配管及び位置ボックスは別途工事とする。) 電動シャッターの操作スイッチ以降、シャッター制御盤までの配線工事 (配管及び位置ボックスは別途とする。) 三相電動機0.4Kw以上の場合は、機器付属の操作盤内に電動機保護用遮断器及び進相用コンデンサーを設置。 電気錠 アンカーは、原則として電気溶接とする。 </div>																																							
② モルタル塗り (15.2.2)	既製目地材 *使用しない ・使用する	6 ステンレス製建具 (16.5.2) (16.5.5)	(1)防音ドアセット、防音サッシの遮音性の等級 ・ T-1 ・ T-2 ・ T-3 (2)断熱ドアセット、断熱サッシの断熱性の等級 ・ H-1 ・ H-2 ・ H-3 (3)耐震ドアセットの面内変形追従の等級 ・ D-1 ・ D-2 ・ D-3 (4)製造所 *評価名簿による (5)曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ ・ オーダーメイド ※レディーメイド及びこれに準ずる建具 (6)製作所 ※ 評価名簿による																																								
3 防水モルタル塗り (15.2.3)	施工箇所 *建具枠回り 防水剤の製造所 *評価名簿による	⑦ 木製建具 (16.6.2)	(1)建具材の加工、組立て時の含水率 ・ A種 ※B種 ・ C種 (2)表面材の合板のホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆																																								
4 セルフレベリング材 (15.4.2~3)	<table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>厚さ (mm)</th> <th>施工箇所</th> </tr> <tr> <td>*セメント系</td> <td>*10</td> <td></td> </tr> <tr> <td>・石こう系</td> <td>*10</td> <td></td> </tr> </table>	種類	厚さ (mm)		施工箇所	*セメント系	*10		・石こう系	*10		⑧ 建具用金具 (16.7.4)	(1)型式、製造所 <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>型式</th> <th>製造所</th> </tr> <tr> <td>モノロック</td> <td></td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>本締め付モノロック</td> <td></td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>本締め錠</td> <td></td> <td>*評価名簿による</td> </tr> <tr> <td>ドアクローザー</td> <td>※面付形</td> <td>*評価名簿による</td> </tr> </table>	種類	型式	製造所	モノロック		*評価名簿による	本締め付モノロック		*評価名簿による	本締め錠		*評価名簿による	ドアクローザー	※面付形	*評価名簿による															
種類	厚さ (mm)	施工箇所																																									
*セメント系	*10																																										
・石こう系	*10																																										
種類	型式	製造所																																									
モノロック		*評価名簿による																																									
本締め付モノロック		*評価名簿による																																									
本締め錠		*評価名簿による																																									
ドアクローザー	※面付形	*評価名簿による																																									
5 仕上塗材仕上げ (15.4.2) (15.5.4)	<p>建築基準法に基づき防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 屋内の天井、壁に使用する仕上塗材は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの (該当材料が無い場合はF☆☆☆☆(Fco又はEo等級を含む))</p> <p>・薄付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上の形状</th> <th>工法</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>・砂壁状 ・着色骨材砂壁状(スキン同等)</td> <td>吹付け</td> </tr> <tr> <td>・内装薄塗材E</td> <td>・砂壁状ジュラク ・ジョリパット</td> <td>吹付け 繰・糊引き仕上げ</td> </tr> </table> <p>・厚付け仕上塗材</p> <table border="1"> <tr> <th>種類</th> <th>仕上の形状</th> <th>工法</th> <th>上塗材</th> </tr> <tr> <td>・外装薄塗材E</td> <td>スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理</td> <td>吹付け</td> <td>・行う ・行わない</td> </tr> <tr> <td>・外装内装セメント系厚付け仕上塗材</td> <td>シーラー塗布 → 主材コテ塗 → コテ押え仕上</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	種類	仕上の形状	工法	・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状(スキン同等)	吹付け	・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク ・ジョリパット	吹付け 繰・糊引き仕上げ	種類	仕上の形状	工法	上塗材	・外装薄塗材E	スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない	・外装内装セメント系厚付け仕上塗材	シーラー塗布 → 主材コテ塗 → コテ押え仕上																							
種類	仕上の形状	工法																																									
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状(スキン同等)	吹付け																																									
・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク ・ジョリパット	吹付け 繰・糊引き仕上げ																																									
種類	仕上の形状	工法	上塗材																																								
・外装薄塗材E	スタッコ状 ・吹放し ・凸部処理	吹付け	・行う ・行わない																																								
・外装内装セメント系厚付け仕上塗材	シーラー塗布 → 主材コテ塗 → コテ押え仕上																																										
記事:	<div style="text-align: center;"> ㊦ 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382 </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号</p> <p>倉田 まゆみ</p> </div> <div> <p>担当 (総合) 1級建築士登録第225544号</p> <p>倉田 まゆみ</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>工事名称 永末小学校図工室増築工事</p> <p>図面名称 建築工事特記仕様書-4</p> </div> <div> <p>設計年月日 2025・08</p> <p>縮尺 -</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div> <p>構造設計 ・士20条の1 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号</p> <p>設備設計 ・士20条の1 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号</p> </div> <div> <p>図面番号 A05</p> </div> </div>																																							

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項
1 カーテンウォール工事	1 カーテンウォール工事 (17.1.3)	(1)性能 耐風圧性() 耐震性 層間変異追従性能() 慣性力に対する安全性能() 水密性 可動部() その他() 気密性() 耐火性() 耐温度差性() 遮音性() 断熱性() (2)製作所 *建具表参照	6 ⑦	6 畳敷き (19.6.2~3) ⑦ せつこうボード,その他 ボード及び合板張り (19.7.2~3)	ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか,発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合にはF☆☆☆☆等級(Fco又はEo等級を含む))を使用するものとする。 種別 A種 B種 C種 D種 ⑦ 図示による D種の場合の畳床の記号 KT-I KT-II KT-III KT-K KT-N 畳床の防虫処理は防虫加工紙を使用してもよい。 せつこうボード,その他のボード 材種・規格 施工場所 張り方 厚さ(mm)等 ⑦ 石こうボード ⑦ 壁 ⑦ 下張り ⑦ 突付け ⑨ 9.5(不燃認定品) JIS A6901 規格品 ⑨ 2.5(不燃認定品) ⑦ ノンフ石膏ボード ⑦ 天井 ⑦ 下張り ⑦ 突付け ⑨ 9.5(不燃認定品) JIS A6901 規格品 ⑦ 天井 ⑦ 下張り ⑦ 突付け ⑨ 9.5(不燃認定品) ⑦ 化粧石こうボード (トラバーチン模様) 直張り 突付け ⑨ 9.5(不燃認定品) (・準不燃認定品⑦不燃認定品) (・455×910・910×910) ⑦ 化粧石こうボード (杉板目プリント) 直張り 目透し ⑨ 9.5(準不燃認定品) 下地共メーカー仕様による ⑦ 化粧石こう 吸音ボード JIS A6301による 天井・壁 直張り 突付け ⑨ 9.5(不燃認定品) 不燃性原紙裏打ち ⑦ 強化石こうボード JIS A6901 天井・壁 下張り 突付け ⑨ 9(不燃認定品) ・12.5(不燃認定品) (不燃認定品) ⑦ ロックウール 吸音材 天井 ⑨ 2.5(不燃認定品) ⑨ 9 JIS A6303規格品 ロックウール吸音ボード 1号(60K) ⑦ グラスウール 吸音材 天井・壁 ⑨ 硝子クロス貼 ⑨ 2.5(不燃認定品) グラスウール吸音ボード 2号(32K) ⑦ 木毛セメント板 JIS A5404 規格品 ⑨ 20・25・30 ⑨ 燃焼木毛セメント板 ⑨ 断熱木毛セメント板 (準不燃認定品) ⑦ 無石綿セメントけい酸カルシウム板 ⑨ 6・8・10・12 (不燃認定品) ⑦ 化粧けい酸カルシウム板 ⑨ 壁 ⑨ 上張り ⑨ 目透し ⑨ 6・8・10・12 (不燃認定品) (F☆☆☆☆付) *天井及び壁に使用するものは,建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 ⑦ 合板 ホルムアルデヒドを発生しないか,発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合にはF☆☆☆☆等級(Fco又はEo等級を含む))を使用するものとする。 ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ ⑦ F☆☆☆☆(JIS) ・難燃合板(表面の品質) ・特殊合板 種類 厚さ等 種類 厚さ等 ⑦ パーティクルボード及びMDF 種類 厚さ等 種類 厚さ等 ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか,発散が極めて少ないF☆☆☆☆等級のもの(該当材料が無い場合にはF☆☆☆☆等級(Fco又はEo等級を含む))を使用するものとする。 建築基準法に基づく防火材料の指定又は認定を受けたものとする。 壁紙及び使用する接着剤は,ホルムアルデヒド,アセトアルデヒド及びスチレンを発生しないか,発散極めて少ないF☆☆☆☆等級の(該当材料が無い場合にはF☆☆☆☆等級(Fco又はEo等級を含む))を使用。 接着剤は,フタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸ジ-2-エチルヘキシル等を含有しない難揮発性の可塑性を使用している規格品を使用する。(難揮発性とは,沸点380℃以上の粒子状物質POMとする。) 施工箇所 品質(製造所) 防火性能の級別 図示による ⑦ 1級 ⑦ 2級 ⑦ 4級 ⑦ 1級 ⑦ 2級 ⑦ 4級 ・F☆☆☆☆(JIS)大臣認定品 材種 種別 厚さ(mm) ※押出法ポリスチレンフォーム保温材 2種b *2.5・40・7.5 ※押出法ポリスチレンフォーム保温材(接地部分) 3種b *2.5・20・5.0 ・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材 A種 *2.5 ※20・6.5 断熱材補修材 ・断熱材と同材 ・吹付け硬質ウレタンフォーム断熱材(次項による) 上記保温材は特定のフロンを含まないものとする。	10 11 12 13	断熱材現場発泡工法 (特定フロンを使用しないもの) (19.9.3) メラミン樹脂化粧板 JISK 6903規格品 厚さ 1.0 *1.2 1.6 準不燃認定品 製造所 (79)パース ⑨ 準不燃200-1型R同等品) 見切縁,水切りは特記製造所の仕様による。 体育館,格技場用 ※ 監督職員監督員の承諾する施工業者	
	① ② ③	① ② ③						① ② ③
2 塗装工事	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③	① ② ③
	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥
3 内装工事	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥	④ ⑤ ⑥
	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨	⑦ ⑧ ⑨

記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市本町一丁目13番3号 TEL.0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第225544号	担当(総合) 1級建築士登録第225544号	構造設計 ・士法20条の1 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事	設計年月日 2025.08	図面番号 A06
		倉田 まゆみ	倉田 まゆみ	設備設計 ・士法20条の1 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称 建築工事特記仕様書-5	縮尺 -	

章	項目	特記事項	章	項目	特記事項	章	項目	特記事項																																
雑工事	13 OHP用スクリーン	種別 ホワイトスクリーン 形式 寸法(mm) 幅() 高さ() *詳細は標準図による。	舗装工事	1 路床の盛土材料 (22.2.3)	路盤の構成は図示による。 種別(表3.2.1による) ・A種 *B種 ・C種 ・D種	特定建設資材廃棄物工事	1	工事受注者は、本工事により発生する特定建設資材廃棄物(特定建設資材(アスファルト・コンクリート、コンクリート及び木材)が廃棄物になったものをいう。)については、「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(以下「建設リサイクル法」という。)&「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」を遵守し適正に処理しなければならない。																																
	14 浴槽	釜 *バランス式(・一般型 *シャワー付型)・外釜式 バーナー ・都市ガス用 ・プロパンガス用 槽 ・鉄板ホーロー仕上 ・ポリバス *ステンレス 寸法(mm) 長さ() 幅() 高さ() 保温蓋付		2 試験 (22.2.5)	路床土の支持力(CBR)試験 *行わない ・行う (*乱した土 ・乱さない土) 路床締固度の試験 *行わない ・行う		2	工事受注者は、工事着手前に、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」を本工事の監督員に提出しなければならない。																																
	15 かつふきマット	*ビニール製(受枠ステンレス製) ・ 硬質アルミニウム製(受枠ステンレス製) ① プラシママットA (585×875) 枠無しマットのみ		3 アスファルト舗装 (22.4.2~6)	路面の構成は図示による。 アスファルト舗装加熱アスファルト混合物の種類		3	工事受注者は、「再生資源利用計画書」、「再生資源利用促進計画書」及び「建設廃棄物処理計画書」に従い特定建設資材廃棄物が適正に処理されたことを確認し、工事完成時に、「再資源化等報告書」、「再生資源利用促進実施書」、「再生資源利用促進実施書」を本工事の監督員に提出しなければならない。																																
	16 旗ざお受金物	材質 ・黄銅(ホワイトブロンズめっき仕上)・ステンレス製		4 コンクリート舗装 (22.5.2~6)	舗装の構成は図示による。 溶接金網 ・使用する(・150×150×6 () ・使用しない) コンクリート板の厚さの試験 ・行う *行わない		4	工事受注者は、工事完成後速やかに、建設リサイクル法第10条の届出を所管する地域事務所長(広島市、呉市、福山市など)にあっては各市長)に対して、「再資源化等報告書」を提出しなければならない。																																
	17 旗ざお	製造所		5 ブロック系舗装 (22.8.2~5)	舗装の構成は図示による。 ・インターロック系ブロック舗装 材質 (※コンクリート・) 形状 寸法 種類 色彩 ・ナチュラル ・カラー 厚さ(mm) ※60 ・80		5	本工事により発生する特定建設資材廃棄物を処理する施設は、別紙「建設資材廃棄物に係る再資源化施設及び焼却施設」に掲げる施設を予定し、受入費用は各施設の「平日の受入費用」を見込んでいる。																																
	18 カウンター	製造所		6 再生资源	表面加工 クッション材 *砂 ・空練りモルタル ※適用する (・再生加熱アスファルト混合物 ・再生クラッシャーラン ・再生粒度調整砕石 ・再生コンクリート砂) 品質 ・規格については、監督職員監督員と協議すること ・適用しない		6	本工事における再資源化に要する費用(運搬費を含む処分費)は、正当な理由がある場合を除き変更しない。(但し、数量の増減については対象とする。)																																
	19 鋼製書架及び物品棚	鋼製書架 *JIS S 1039規格品 鋼製物品棚 *JIS S 1040規格品		1 植栽地の試験 (23.1.3)	土壌の酸度及び塩分量の試験 ・行う ・行わない		その他 ① 木材(広島県産材) ② 仕上げユニット工事 ③ その他雑工事	「県産材」とは、合法な手続を経て伐採された広島県内産の丸太を加工した木材をいい、次に掲げる方法で証明された木材をいう。 ア 広島県産材産地証明協議会発行の産地証明書により証明された木材 イ 『緑の循環』認証会議(SGEC)又は森林管理協議会(FSC)により、認定された認定事業者の認証林産物 ウ 森林・林業・木材産業関係団体が認定する合法木材供給事業者が、県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等で明記した木材 エ 森林法に基づく伐採に関する手続きが行われたことを証する書類(以下「伐採届出書等」という。)の写しにより、伐採の場所及び手法が明らか木材 なお、製品を購入する場合にあっては、伐採届出書等の写し及び県内で伐採された丸太を使用していることを納品書等で明記した木材 オ アからエにより証明される広島県内産の丸太を60%以上使用した集成材																																
	20 ステンレス流し台	・ B L部品(トラップ付) ・ 一般型(水封50mm以上のトラップ付) ① 図示による		2 植栽基盤の整備 (23.2.2)	樹木 ・行う(*A種 ・C種 ・D種) ・行わない 芝 ※行う(*B種 ・C種 ・D種) ・行わない				1 仕上げユニット工事																															
	21 吊り戸棚 コンロ台	・ B L部品 ・ 一般型 ・ 公共住宅型 ② 図示による		3 植込用土及び土壌改良材 (23.2.3)	植込用土の種別 *現場発生の良質土 土壌改良材の種別 ・ バーク堆肥 ・ 発酵下水汚泥コンポスト						1 その他雑工事																													
	22 水切り棚	・ 一般型(材質はステンレス鋼又はアルミニウム)		4 支柱材 (23.3.2)	※ 丸太(杉の焼丸太) ・ 竹								1 その他雑工事																											
	23 点検口	天井 材質 アルミニウム製、寸法(mm) ④ 450×450 ・600×600 製造所 昭和ロック鋼(天井ハッチ)、鋼ダイケン(Z型) ナカ工業株(ハイハッチSD)、鋼マンテン(テンゲンハッチ) 理研アルミ建材鋼(天井点検口) 床 材質 アルミニウム製、寸法(mm) *450×450 ⑥ 600×600 製造所 *評価名簿による		5 芝 (23.4.2~3)	種別 *高麗芝 ・野芝 芝張り ・平地 *目地張り ・切り土法面 *べた張り ・盛り土法面 *筋芝張り 客土 *行う ・行わない										1 その他雑工事																									
	24 プール壁点検口	材質 *ステンレス製 ・ 鋼製 大きさ ・ (550)×(800) ・ ()		1 木工事:代用樹種	代用樹脂												1 その他雑工事																							
	25 焼却炉	基礎寸法 ()×()×() 地業厚 60mm 製造所		2 木工事:造作材の等級	区分 樹種 代用樹種														1 その他雑工事																					
	26 砂利敷き (20.4.2~4)	種別 通路 ・A種 *B種 建物周囲その他 ・A種 *B種		3 木工事:造作材の等級	構造材 松 ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、から松、米松、米つが 杉 もみ、つが、米つが、米とうひ、米赤杉、米もみ、えぞ松、とど松 ひのき ひば、米ひ、米ひば、台ひ																1 その他雑工事																			
	27 間知ブロック積み	面の形状 *正方形 ・ 長方形 JISによる重量区分 ・ ブロックA *ブロックB 目塗り ・ 行う *行わない		4 木工事:造作材の等級	造作材 杉 もみ、米とうひ、米つが、米もみ、えぞ松、(米杉及び米赤杉) 松 ひのき、ひば、米ひ、米ひば、台ひ、米つが ひのき ひば、米ひ、米ひば、台ひ																		1 その他雑工事																	
	28 敷地・境界石標	広島県公有財産管理規則による標識とする。()箇所		5 木工事:造作材の等級	下地材、壁、天井下地 屋根野地板、軒廻り材 畳下、下張り用 床板等 杉 もみ、つが、えぞ松、とど松、米つが、 米もみ、米赤杉、ソ連えぞ松、米杉																				1 その他雑工事															
	29 トラフ	枠 ・ 硬質アルミ枠 詳細は建築工事標準詳細図による。		6 木工事:造作材の等級	(注) 造作材の米杉及び米赤杉は、不透明塗料塗りをする場合に限り代用できる。																						1 その他雑工事													
	30 階段手すり笠木	・ ビニール製 製造所		1 木工事:代用樹脂	使用箇所 部材名称 A種 B種																								1 その他雑工事											
	31 天井見切縁	材質 *アルミニウム既製品(押し出し型材) ③ ビニル既製品		2 木工事:代用樹脂	生地のまま又は透明 枠、額縁、数居、鴨居、 上小節 かまちの類 [ただし、見掛かり面] 小節																										1 その他雑工事									
32 視覚障害者用誘導ブロック	材質 ・塩化ビニル製(厚さ2mm) ・コンクリート製(厚さ30mm) 詳細は建築工事標準詳細図による。	3 木工事:代用樹脂	塗料塗りの場合 押入、戸棚等の内面 小節 小節 造作の類 小節 小節	1 その他雑工事																																				
33 シャワーブース	・ 製造所仕様を基本とし、施工図提出のうえ監督職員監督員の承諾を得ること。 ・ 広島県高等学校家具仕様(別図)による。	4 木工事:代用樹脂	不透明塗料塗りの場合 小節 小節			1 その他雑工事																																		
34 家具工事	原則として家具職人の施工とし、施工に先立ち施工図を監督職員監督員に提出し、形状・寸法・材料・工法金物等の承諾を受けること。	5 木工事:代用樹脂																																1 その他雑工事						
35 体育館器具 換気扇枠等	製造所 小川長春館・セノー・都村製作所 延焼のおそれがある部分で、耐火構造又は防火構造が要求される場合は、鋼製P L厚1.5mm以上の特定防火設備又は防火設備を使用すること。	6 木工事:代用樹脂																																		1 その他雑工事				
排水工事	1 排水管 (21.2.1)	・ 遠心力鉄筋コンクリート管 (管径150mm未満は市販品とする) 種類 *外圧管1種 継手 *ソケット管のゴム接合 ・カラー又はソケット管のモルタル接合 ・ 硬質塩化ビニル管 ・VP ・VU	1 木工事:代用樹脂																																				1 その他雑工事	
	2 埋戻しに用いる材料 (21.2.3)	種別(表3.2.1による) ・ A種 *B種 ・ C種 ・ D種	2 木工事:代用樹脂																																					
	3 グレーディング (21.2.2)	材質 *鋼製 ・ ステンレス製 耐荷重等は図示による 製造所 *評価名簿による	3 木工事:代用樹脂					1 その他雑工事																																
	4 鋳鉄製マンホール (21.2.2)	庄原市名入りとし、雨水、雑排水、汚水等の表示入りとする。 形式 ・水封形 ・簡易密閉形 ・密閉形 安全荷重(KN) 屋内用 *T-2用(5) 屋外用 ・T-2用(5) *T-6用(15) ・T-20用(50) 製造所 *評価名簿による	4 木工事:代用樹脂						1 その他雑工事																															

記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	構造設計	工事名称	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第225544号	1級建築士登録第225544号	・土佐20条の1 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	永末小学校図工室増築工事	2025・08	A07
		倉田まゆみ	倉田まゆみ	・設備設計	図面名称	縮尺	
				・1級建築士登録第 号	建築工事特記仕様書-6	-	

一般共通事項（2）

- 本工事着手に先立ち、敷地実測（高さ等含む）を行い、測量図を提出すること。なお、官民境界、標準地点等の確認をし、写真撮影の上提出すること。本工事のため、隣地、隣家に及ぼす被害のある場合、工事に支障をきたす障害物が地上、地下にある場合、補償、対処は工事期間内に解決し、これに要する費用は一切請負業者の負担とする。
- 公道上の排水溝及び蓋等を工事施工中破壊した場合は、関係官庁の指示により支障なき様、補修施工をなすこと。又、公道上の地上、地下の施設に於て、本工事に支障を及ぼす場合も前項目同様とする。
- 設計書中に記載もれ事項ありともいども技術上（納まり上）当然必要と認められる事項、建築基準法、消防法等、法的に当然必要と認められる事項、関係官庁の検査時に指摘追加された事項は監督員と協議の上、適当なる措置をすること。又は、これらに關係する追加費用を要する場合は、請負業者の負担とする。
- 電波障害が発生した場合は、工事期間中に決定し、これに要する費用は請負業者の負担とする。

工事関係提出書類

- 工事着手前に提出し取り交わすもの
 - 施工図承認及び確認に伴う覚書（2通、様式：別途指示による）
- 工事着手前に提出し承認を得るもの。
 - 工事着手届
 - 現場代理人及び主任（監理）技術者氏名（変更）届
 - 同上経歴書
 - 工程表及び工事工程表
 - 工事内訳明細書
 - A3判貼合せ製本
 - 現場施工管理体制
 - 安全衛生管理体制組織表
 - 災害時及び緊急連絡体制組織表
 - 仮設計図書及び仮設計図面
 - 各官公庁の手続、届出書類の写し・その他
- 各工事着工前に提出し承認を得るもの。
 - 下請負人名簿通知書
 - 主要資材購入先名簿通知書
 - 工事に関する（承諾、協議）書（使用材料、ミルシート、コンクリート配合計画書を含む）
 - 施工計画書
 - 施工図
 - 施工に必要な資格書、電気主任技術者名簿、工事記録写真撮影計画書・その他
- 工事期間中提出し承認を得るもの。
 - 月間工程表（工事別工程表含む）
 - ・週間工程表
 - 期間別工事工程報告書（月1回、月末）
 - 工事打合せ簿（定例打合せ、各工事別打合せ、質疑、協議など）
 - 試験結果表（コンクリート強度試験、圧接試験など）及び報告書
 - 建築確認工程指定に伴う書類及び工程写真
- 工事完了時に提出する書類。（提出書類目録を含む）
 - 工事完成届および社内検査結果報告書（手直しを含む）
 - 工事中写真（2部）
 - 実施工程表
 - 工事日報
 - 試験結果一覧表
 - 各種試験成績表、報告書、調査表、配合計画書、試験結果報告書、骨材試験成績表、杭打結果、鉄筋引張試験、圧接引張試験報告書
 - 主要資材検取簿、規格品質証明書（納品伝票、出荷証明書、規格証明書などを含む）
 - 鋼材、異形鉄筋、コンクリート、砕石
 - 屋根材、外壁材、床材、石膏板、クロス
 - （鉄筋については出荷ラベルのコピーを含む）
- 資格、検査、技量等証明書
 - ・溶接技術者 ○施工管理技術者
 - ・超音波探傷試験（第3者）
 - ・圧接工 ・溶接工 ・その他
- 工事打合せ簿
- 施工図
- 施工計画書
- 完成写真（アルバム製本：各工事合同部、A4判1部）
- キャビネ版（写真パネル(350×500程度)：各工事合同3部）
- 処分証明書 残土、可燃物、不燃物、廃棄物処理票、産廃処分業者証明書
- 官公庁の許可及び届出書類
- 自主管理表（出来形管理および施工精度管理など）

○検査完了後提出する種類

- 鍵引渡し書及び鍵一覧表
- 備品引渡し書
- 竣工図面（ ・ A2判貼合せ製本：各工事合同部）
- （ ・ A3判貼合せ製本：各工事合同4部） } 原因の修正を行ったもの ※別途指示による
- CADデータ（DXF、JWB、dpp）
- 保証書 屋根、防水等
- 各使用説明書、建物の保全に関する説明書
- 施工業者名簿及び連絡先、一覧表（担当者名記入）
- 火災保険証の写し（工期+20日）
- 引渡し書

工程別施工計画書、施工要領書等提出する書類

○各種使用材料の規格証明書、搬入報告書（コピーでもよい）等は、下記による。編集方法は、施工図は、A4判折り製本とし、各規格証明書・搬入報告書・納品出荷表等は、各工程ごとにとまとめ、ファイルにて提出する。（A4判とする）

- ① 仮設工事
 - 仮設計図書（仮設物の配置、大きさ、作業場所、材料機器の保管場所、及びその他指示による事項等）
- ② 地業工事
 - 砕石、割栗石、砂など 規格証明書、出荷表
 - ・杭 施工計画書、規格証明書、試験表、出荷表、施工結果報告書（継杭の場合 溶接工の資格の写し）（騒音防止条例の手続き）
- ③ 鉄筋工事
 - 加工図（必要に応じて）、材料試験結果、又はミルシート及び出荷ラベルの写し
 - ・圧接の場合 計画書、資格証明書、抜取試験結果表
- ④ コンクリート工事
 - 施工図、配合計画書、試験結果表、出荷集計表、打設計画表
 - 施工計画書、結果報告書
- 5. 鉄骨工事
 - ・施工図、施工要領書、工場認定表、溶接技術者資格証明書、材料試験又はミルシート及び出荷証明書
 - ・錆止め塗料の規格証明書及び出荷表
 - ・ボルト、プレースなど規格証明書及び出荷表
- 6. ALCパネル、ブロック、押出成形セメント板、カーテンウォール工事
 - ・施工図、規格証明書及び出荷表
- ⑦ 防水工事
 - 施工計画書、規格証明書、試験結果表及び出荷表
 - 保証書（請負業者・施工業者・材料メーカーの3社連名）で2部提出
- 8. 石・タイル工事
 - ・施工図、材料出荷表
 - ・監督員が指示したばあいは、施工保証書又は試験結果表
- ⑨ 木工事
 - 施工図、規格（JAS）証明書、出荷表、防腐・防蟻処理保証証明書
- ⑩ 屋根、とい工事
 - 施工図、規格証明書、出荷表
 - 保証書の必要な場合は防水工事と同じ
- 1.1. 金属工事
 - ・施工図、規格証明書、出荷表
- 1.2. 左官工事
 - ・施工計画書、出荷表、（砂、セメント、混和剤等）
- ⑬ 建具工事
 - 施工図、金物など出荷表、製品検査証、鍵引渡し書及び鍵一覧表
- 1.4. ガラス工事
 - ・施工計画書、規格証明書、出荷表
- 1.5. 塗装工事
 - ・施工計画書、塗装工業协会会员証の写し、規格証明書、出荷表
- ⑭ 内装工事
 - 施工図、規格証明書、出荷表
 - ・使用材料一覧表（使用箇所の記入も含む）
- 1.7. 雑工事
 - ・施工図、規格証明書、出荷表
- 1.8. 舗装工事、外構工事、排水工事
 - ・施工計画書、出荷表、必要に応じて試験結果表及び舗装コア
 - ・植栽（ ・ 出荷表 ・ 枯保証書）
- ⑰ 給排水・衛生工事
 - 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面（器具図面）、機器取扱い説明書
- ⑱ 空調工事
 - 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面（器具図面）、機器取扱い説明書
- ⑳ 電気工事
 - 施工図、規格証明書、出荷表、完成図面（器具図面）、機器取扱い説明書
- ㉑ 建物取扱い（使用）説明書

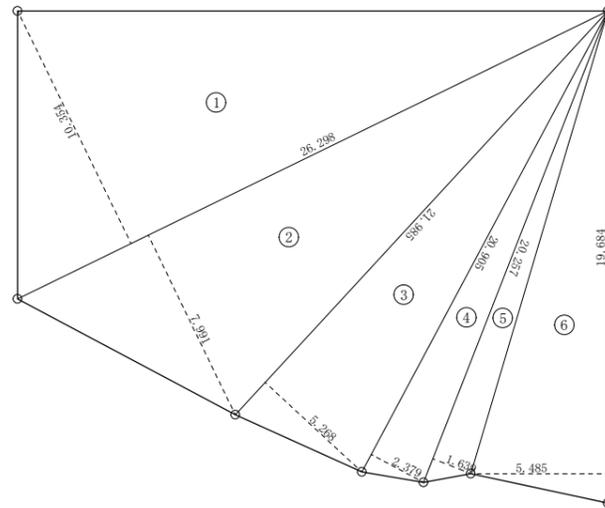
工事区分表（一般関係）

工事区分	工事内容	建築	電気	給排水	空調	備考	工事区分	工事内容	建築	電気	給排水	空調	備考
1 スリーブ、仮付補強	(1)基礎梁 梁壁床等の貫通スリーブ（待来用共）		○	○	○		6 衛生器具、流し台、調理台	(1)湯沸器					
	(2)上記以外の基礎梁 梁壁床等の貫通スリーブ（待来用共）		○	○	○			(2)便所内手摺（洋風大便器、小便器、洗面器）				○	
	(3)1,2.の項目の貫通部分の鉄筋補強	○						(3)既製品流し台、ステンレス製流し台	○				
	(4)発電機専用ボイラー煙専用スリーブ	○						(4)同上排水トラップ				○	
	(5)盤及びボックス類の板枠		○					(5)洗面化粧台					
	(6)4,5.の項目の開口部の補強	○						(6)洗濯機パン（排水トラップ、周囲コーキング、止め金具）				○	
	(7)天井埋込照明器具類取付用切込及び補強	○						(7)洗面器大形鏡				○	
	(8)吹出口、吸込口等取込用切込及び補強	○				○		(8)調理台、実験室					
(9)7,8.のスマ出し		○		○		(9)同じ給水栓、コンセント			○				
2 ビットシャフトトレンチ点検口	(1)配管配線用のトレンチ蓋						7 換気設備	(1)天井扇					○
	(2)P.S. E.P.S. D.S	○						(2)換気扇（受枠）	受枠	本体			○
	(3)床、壁、天井シャフトビットの点検口	○						(3)全熱交換器付換気扇	受枠	本体			○
	(4)油管用トレンチ							(4)ダクト接続ファン		給電	本体		○
3 コンクリート基礎（・モルタル仕上げ）	(1)受水槽 貯水槽	○					8 ガラリ	(4)放逐室用ダクトファン		給電	本体		
	(2)給水ポンプ、消火ポンプ							(5)湯沸室等のタレ壁フードダクト（給食場用）		給電	本体		
	(3)空調機 パッケージ屋外ユニット							(6)同じ吊下げ用補強材	○				
	(4)テレビアンテナ、避雷針							(7)昇降機械室用換気扇		給電			○
	(5)自立盤	○						(1)外壁ガラリ（合フランジ共）	○				
	(6)発電設備（基礎）							(2)換気扇用外壁ガラリ					○
	(7)受電設備（フェンス工事）	○				（基礎のみ）		(3)排気塔ガラリ（合フランジ共）	○				
	(8)機器類のアンカー打込		○	○	○			(4)換気、空調用吸込吸出ガラリ（合フランジ共）	○				
	(9)プロパンガス集合装置							(5)ドア取付又はこれに準ずるもの	○				
	(10)冷温水、冷却水ポンプ							(6)換気扇用バンドキャップ					○
4 給水、電気、電話、〔ガス引込〕〔下水本管接続〕	(1)給水引込工事	工事用					9 その他	(1)消火器（建物にかかるもの）					
	(2)水道施設整備納付金							(2)消火器（設備にかかるもの）				○	
	(3)電話引込工事及び負担金（工事用は除く）		○					(3)防火戸、防煙シャッター	○				
	(4)電力引込及び負担金	工事用						(4)同上感知器及び配管配線工事			○		
	(5)〔6〕下水本管接続工事	取水						(5)吊戸欄下に湯沸器、コンロ台を設置する場合の不燃材取付	○				
	(6)ガス管引込工事							(6)ガス漏れ警報器			（給電）	（本体）	
5 排水設備	(1)屋内屋外雨水排水工事（ルーフドレン、壱桶共）	○					9 その他	(7)設備配管用天井及び床仕上げ材の穴明	○	○	○	○	
	(2)屋内屋外排水設備工事（雑排水、汚水、雨水）				○			(8)関係官庁諸届出	○	○	○	○	
	(3)グリーストラップ							(9)浴槽と外釜（バランス釜）					
	(4)マット排水及び排水金物				○			(10)実験台、調理台の設備配管配線用の穴明及び加工	○	○	○		
							(11)避難器具						
							(12)昇降機、機械用搬入口設置審ぎ工事						
							(13)吊フック（3t用）						
							(14)昇降機出入口3方枠						
							(15)自動扉への給電						

記事：	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者（管理建築士） 1級建築士登録第225544号	担当（総合） 1級建築士登録第225544号	・構造設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事	設計年月日 2025・08	図面番号 A08
		倉田 まゆみ	倉田 まゆみ	・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称 建築工事特記仕様書-7	縮尺 -	

設計概要

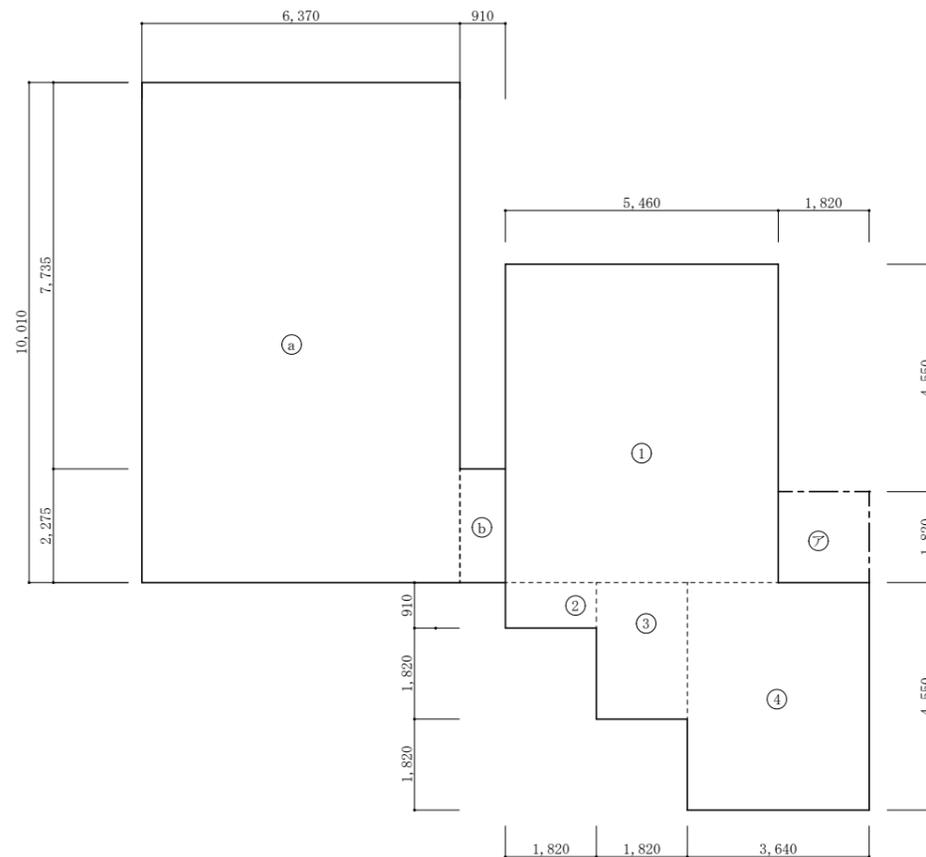
工事名称	永末小学校図工室増築工事			
建築主	住所	庄原市中本町一丁目10番1号 TEL 0824-73-1111		
	氏名	庄原市長 八谷 恭介		
その他	工事場所	庄原市永末町37番地1		
	用途地域	都市計画区域外		
	防火地域	指定無し		
	備考	耐震安全性：①構造体Ⅲ類 (I=1.0), ②建築非構造部材 B類, ③建築設備 乙類		
主要用途	小学校 平成31年国土交通省告示第98号別添二 第7号 第1類			
工事種別	増築			
面積	敷地面積	394.57 m ²		
	建築面積	増築建物 65.83	その他建物 61.28 合計 127.11 m ²	
	延床面積	65.83	57.97 123.80 m ²	
工事期間	着工予定	令和7年10月 日		
	竣工予定	令和8年3月 日		
棟別概要	用途	小学校 (図工室)		
	工事種別	新築		
	構造	基礎	鉄筋コンクリート造	
		躯体	木造	
		屋根	ｶﾞｰｰ鋼板厚0.5嵌合式立平葺き	
		外壁	窯業系ｲﾝｸﾞ張り 厚16	
	建築面積	増築建物 65.83 m ²	既設建物 61.28 m ²	合計 127.11 m ²
	床面積	1階	65.83 m ²	57.97 m ² 123.80 m ²
		合計	65.83 m ²	57.97 m ² 123.80 m ²
	付帯工事	建築工事	一式 バックネットフェンス撤去 (基礎共)、泥落とし設置	
電気設備		一式 (既設照明器具撤去、LED照明新設)		
衛生設備		一式 流し台撤去 (配管：キャップ止め)		
給湯・ガス設備		一式 給湯器・配管撤去、ガス配管撤去		
設備工事	空調・換気設備	一式 空調機：一部室内機・室外機撤去、撤去後の穴補修工事		
	電気設備	一式 幹線、コンセント、電灯、その他弱電等		
	給水・排水設備	一式		
	衛生設備	一式		
別途工事	家具工事	一式 生徒用作業机、先生用作業机、工作台等		



敷地面積求積図 1:200

敷地面積求積表

番号	底辺	高さ	倍面積	面積
①	26.298	10.354	272.289492	136.144760
②	26.298	7.991	210.147318	105.0736590
③	21.985	5.268	115.816980	57.9084900
④	20.905	2.379	49.732995	24.8664975
⑤	20.257	1.639	33.201223	16.6006115
⑥	19.684	5.485	107.966740	53.9833700
合計				394.5773740
敷地面積				394.57 m ²



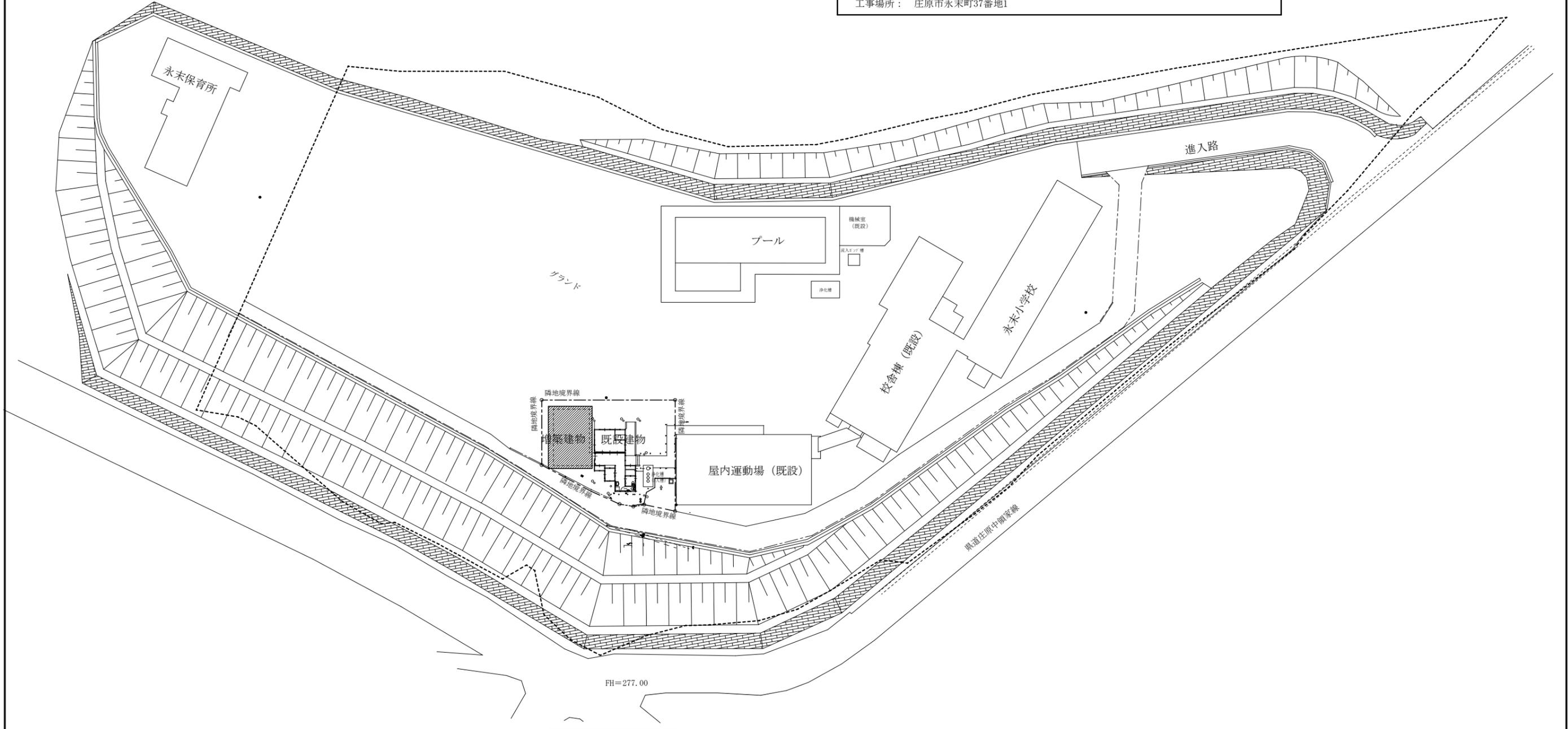
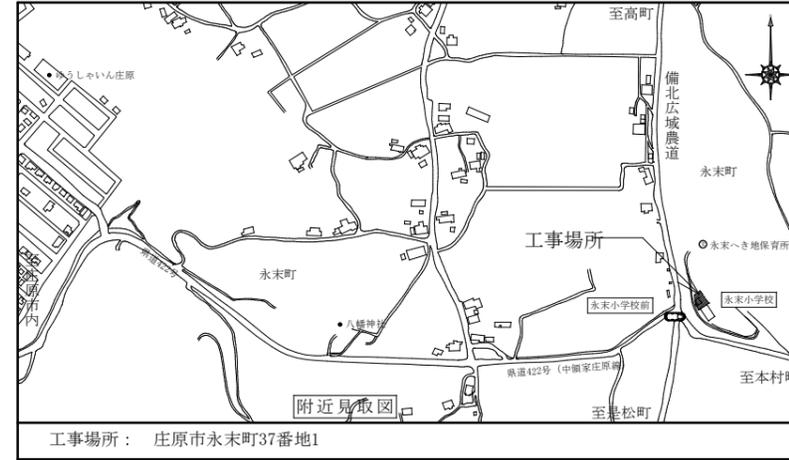
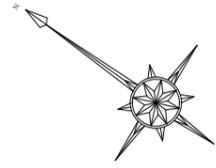
床面積求積図 1:100

・床面積求積

既設建物	記号	面積計算	計
	①	5.460 × 6.370	34.780200
②	1.820 × 0.910	1.656200	
③	1.820 × 2.730	4.968600	
④	3.640 × 4.550	16.562000	
小計			57.967000
(既設床面積)			57.97 m ²
増築建物	a	6.370 × 10.010	63.763700
	b	0.910 × 2.275	2.070250
	小計		65.833950
(増築床面積)			65.83 m ²
合計 (既設建物+増築建物)			123.800000
延床面積			123.80 m ²

・建築面積求積表

既設建物	記号	面積計算	計
	①	5.460 × 6.370	34.780200
②	1.820 × 0.910	1.656200	
③	1.820 × 2.730	4.968600	
④	3.640 × 4.550	16.562000	
⑦	1.820 × 1.820	3.312400	
小計			61.279400
(既設建築面積)			61.28 m ²
増築建物	a	6.370 × 10.010	63.763700
	b	0.910 × 2.275	2.070250
小計			65.833950
(増築建築面積)			65.83 m ²
合計 (既設建物+増築建物)			127.110000
建築面積			127.11 m ²



敷地配置図 1:500

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・士法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事	設計年月日 2025・08	図面番号 A10
		倉田 まゆみ	倉田 まゆみ	図面名称 敷地配置図、附近見取り図	縮尺 H=500			

A 外部仕上 (既設)			A 外部仕上 (増築)						略記号			
根廻り	コンクリート下地	モルタル塗り刷毛引き	根廻り	コンクリート打放し	モルタル補修 目地切	高耐候性塗料	軒 種	サーフェイスクエアFS-II型 (スチール芯) (パナソニック同等品), 吊り金物: SUS@450以内				
外 壁	窯業系サイディング 厚14	透湿防水シート 構造合板 厚9	外 壁	窯業系サイディング張り 厚16 (モリタセメント ロックアイV ニチハ同等品) 横張り				堅 種	PC3007, SUS指金物 (指定色焼付塗装) @1200以内, 角排水管カバー: 堅種同質、這い種: PC3007	C	鉄筋コンクリート (コンクリート)	
軒 裏	ケイカル板 厚6	底目地張り EP		(出隅: 役物使用) 通気工法 (金具工法) 透湿防水シート 構造用合板 厚9下地				開口部	カラーアルミサッシ (アルミ樹脂複合)	S	鉄造 (鉄)	
屋 根	カラー鋼板厚0.4横葺き	アスファルト防水940 雪止め 構造用合板 厚12		既設外壁補修: 窯業系サイディング張り 厚14 透湿防水シート 構造用合板 厚9下地				犬走り	コンクリート金鍍押え 目地切	W	木造 (木)	
軒 種	塩ビ 105Φ/2	幅持ち @450	軒 裏	鋼板水切り防鼠材付				7ΦEXP. J	外部: 壁コーナ (クリアランス 50)、内部: 床-床、壁-壁、壁コーナ、天井-天井 (クリアランス50)	CB	補強コンクリートブロック造 (コンクリートブロック)	
堅 種	塩ビ 60Φ	抱き金 @900以内	屋 根	ケイカル板 厚6 底目地貼り EPG 通気見切り (壁際、軒先)				断熱材	屋根部: GL水切りでクリアランスを確保する	ALC	軽量気泡コンクリート	
開口部	住宅用半外付けサッシ (YKK) プラチナステン色			7-GL鋼板貼合式立平葺き厚0.5雪止め2段 粘着層付7-GL鋼板厚1.0					床下: ビーズ法ポリスチレンフォーム断熱材1号 厚75 熱伝導率 0.034 W/(m・K)	LGS	軽量気泡コンクリート	
ボーチ・玄関	コンクリート打ち	モルタル鍍押え		構造用合板厚12					外気に面する壁: 高性能グラスウール厚90 16kg/m ³ 相当 (不燃)	M	モルタル	
スロープ	コンクリート打ち	防滑仕上げ		破風板, ケラバ包み: 7-GL鋼板厚0.5 (曲げ加工), 壁際水切り: 7-GL鋼板 厚0.5					小屋裏 (全面): 高性能グラスウール厚155 16kg/m ³ 相当 (不燃)	RM	ラスモルタル	

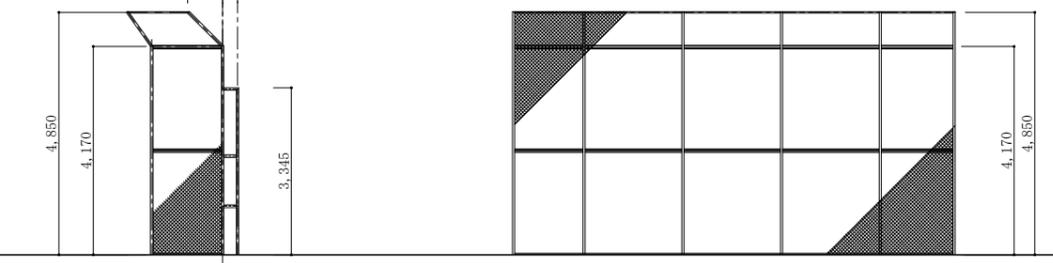
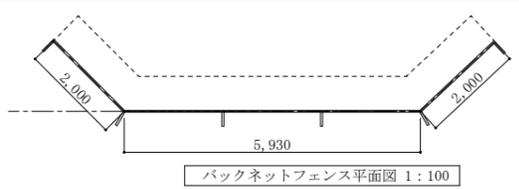
B 内部仕上													
階	室名	床		巾 木	壁		天 井		天井高	廻 縁	室名札	備考	

玄関	既設	防滑性床シート<2.5> コンクリート打ち モルタル鍍押え	M	木製既製品	60	ビニールクロス貼り 石膏ボード<12.5>下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.400	塩ビ	泥落としマット (撤去)	BTB	シーリング (防水) 石膏ボード		
	整 備 後	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	ビニールクロス貼り 石膏ボード<12.5>下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.400	木製既製品	泥落としマット (新設) 【アラマイトA シェア同等】	FBTB	シーリング (防水) 石膏ボード (不燃)	
ホール	既設	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	ビニールクロス貼り 石膏ボード<12.5>下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.400	塩ビ		GB-F	強化石膏ボード	
	整 備 後	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り, PB12.5下地 [撤去], アルミサッシ [撤去]	W	一部化粧石膏ボード 厚9.5 [撤去]	W	2.400	塩ビ		KB	けい酸カルシウム板 (無石綿)	
多目的室 (生活実習室)	既設	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り, PB12.5下地 【新設】	W	一部化粧石膏ボード 厚9.5 【新設】	W	2.400	塩ビ	ピクト 150×150	アルミ天井点検口 (新設)	CR	カーテンレール
	整 備 後	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り, PB12.5下地 【撤去】	W	一部化粧石膏ボード 厚9.5 [撤去]	W	2.400	塩ビ		VB	ベネシャンブラインド	
廊 下 (生活実習室)	既設	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り, PB12.5下地 【撤去】	W	一部化粧石膏ボード 厚9.5 [撤去]	W	2.400	塩ビ		RS	ロールスクリーン	
	整 備 後	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り, PB12.5下地 【新設】	W	一部化粧石膏ボード 厚9.5 【新設】	W	2.400	塩ビ				
倉 庫 (湯沸室)	既設	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	化粧ケイカル板<6> ラワン合板<12>下地 コロ面ケイカル板<6×2重>	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.400	塩ビ	流し台撤去後、給排水管はキャップ止めとする	SOP	合成樹脂調合ペイント	
	整 備 後	複合フローリング シーリング (大建工業) ア	15	W	木製既製品	60	一部ビニールクロス貼り (下地調整: パテ処理) (流し台, 吊り戸棚撤去跡) 一部ビニールクロス貼り (KB厚6貼り、下地調整: パテ処理)	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.400	塩ビ		OS	オイルステイン	
女子便所	既設	塩ビ床シート<2.3> 構造用合板 <12>	W	木製既製品	60	化粧ケイカル板<6> ラワン合板<12>下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.100	塩ビ		CL	クリヤラッカー		
男子便所	既設	塩ビ床シート<2.3> 構造用合板 <12>	W	木製既製品	60	化粧ケイカル板<6> ラワン合板<12>下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5	W	2.100	塩ビ		UC	ウレタン樹脂ワニス		
物 入	既設	ラワン合板 <9.0>	W	雑巾摺21*15	60	ラワン合板<4>	W	ラワン合板<4>	W	2.300	木製		AE	アクリル樹脂エナメル		
図工室	増 築	複層床シート張り 厚2.0 不陸調整 ラワン合板 厚9下地 手洗い流し台前: 長尺塩ビ床シート張り 厚2.0	W	木製既製品	60	ビニールクロス貼り (不燃) PB厚12.5下地 (不燃) F4 《不燃》 (手洗い流し台前) 化粧ケイカル板厚6 BTB厚12.5下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5 《不燃》	W	2.700 2.200	塩ビ	ピクト 150×150	ホリボード (3,600×1,200), 手洗い流し台 7ΦEXP. J水切り, 床見切り, 7Φ天井点検口, 7Φ床下点検口, 見切り目地 カーテンレール	DP	耐熱性塗料塗り	
	整 備 後	複層床シート張り 厚2.0 不陸調整 ラワン合板 厚9下地 手洗い流し台前: 長尺塩ビ床シート張り 厚2.0	W	木製既製品	60	ビニールクロス貼り (不燃) PB厚12.5下地 (不燃) F4 《不燃》 (手洗い流し台前) 化粧ケイカル板厚6 BTB厚12.5下地	W	化粧石膏ボード 厚9.5 《不燃》	W	2.700 2.200	塩ビ	ピクト 150×150	ホリボード (3,600×1,200), 手洗い流し台 7ΦEXP. J水切り, 床見切り, 7Φ天井点検口, 7Φ床下点検口, 見切り目地 カーテンレール			

() 内は旧室名を示す												 本工事図面番号  建築工事標準図 番号			
記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382			設計者 (管理建築士)	1級建築士登録第225544号	担当 (総合)	1級建築士登録第225544号	・構造設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	永末小学校図工室増築工事	設計年月日	2025・08	図面番号	A 1 1
				倉 田 まゆみ		倉 田 まゆみ	・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称	仕上表	縮 尺	—			

改修前

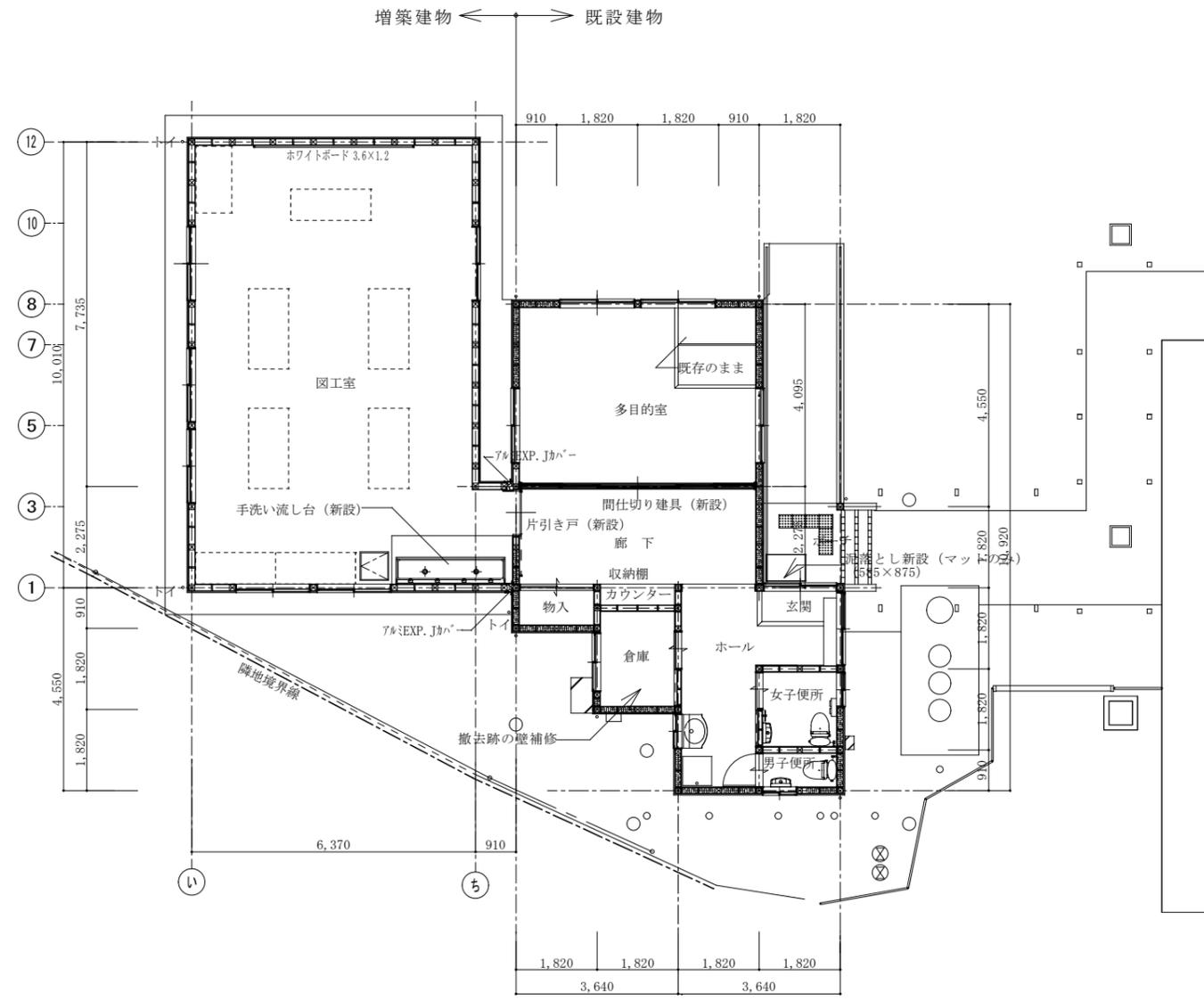
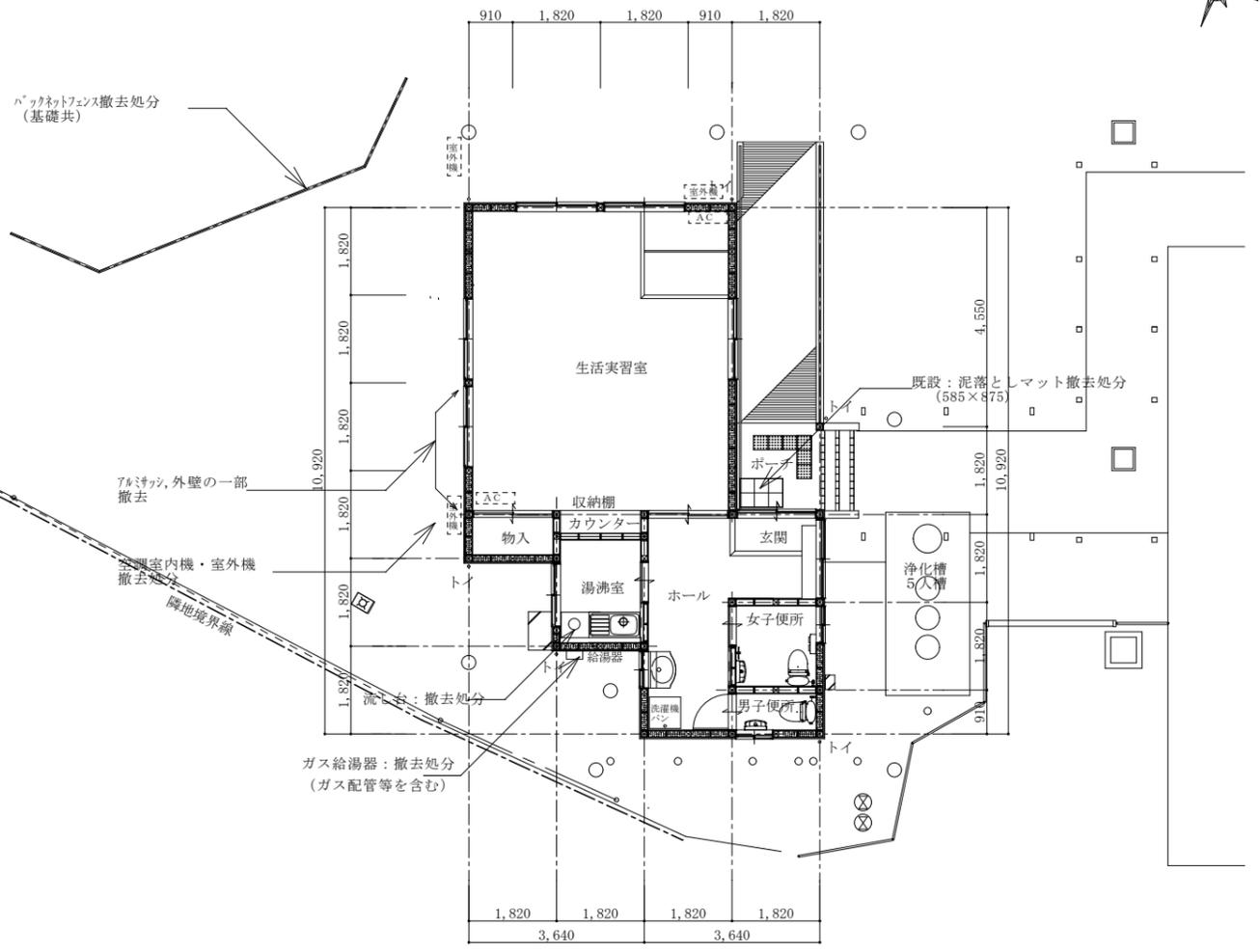
改修後



基礎：1000×500×H=800

バックネットフェンス立面図 1:100

バックネットフェンス立面図 1:100



[既設建物] 床面積 57.97㎡
 [増築建物] 床面積 65.83㎡
 延べ床面積 123.8㎡

※ 設計GLは、既設床高さより-500とする。

記事：

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

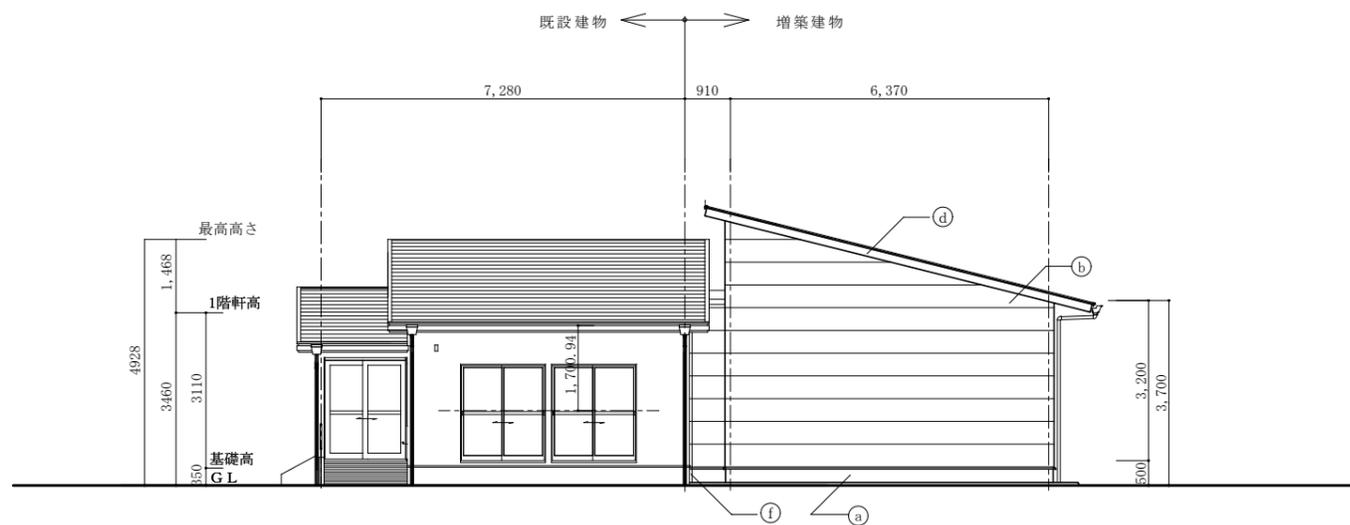
設計者(管理建築士)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

担当(総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

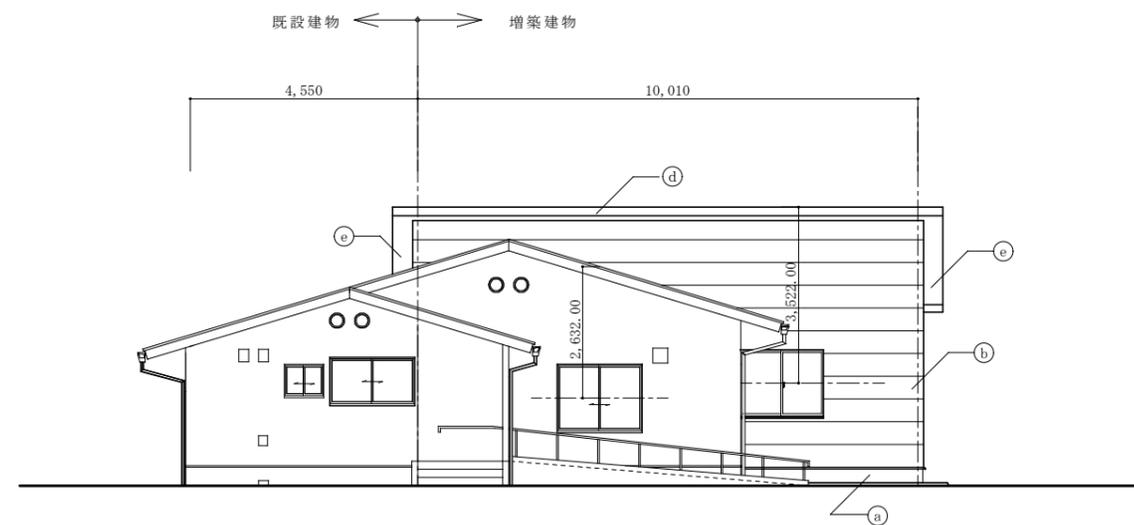
・構造設計
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称 永末小学校図工室増築工事
 図面名称 改修前後 平面図

設計年月日 2025・08
 縮尺 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%
 図面番号 A12

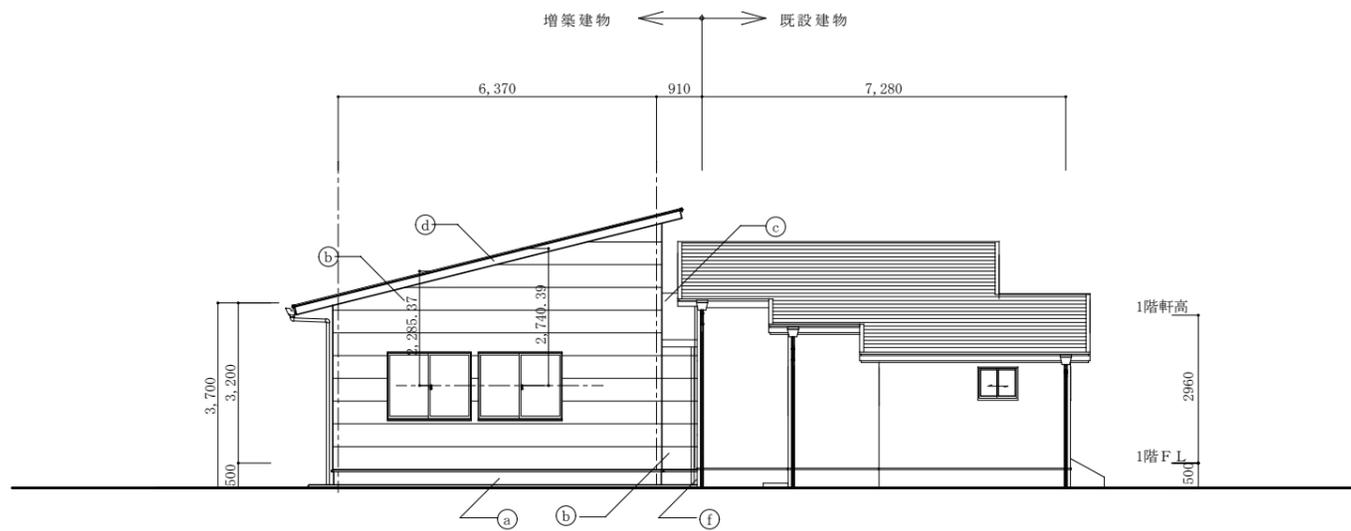


東側立面図 1:100

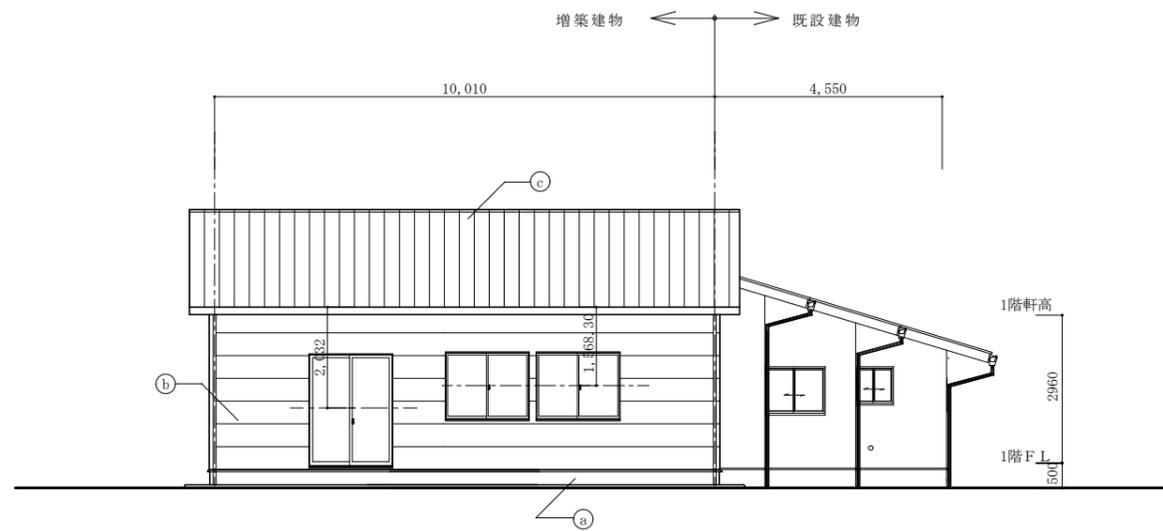


南側立面図 1:100

符号	仕上げ
(a)	コンクリート打放し モルタル補修 目地切り 高耐候性塗料
(b)	窯業系サイディング張り 厚16 横張り 通気工法(金具工法)
(c)	ｶﾞｰGL鋼板嵌合式立平葺 厚0.5 雪止め, 粘着層付ｺﾞﾙﾌｽﾙｰﾌﾞｲﾝｸﾞ 厚1.0
(d)	破風板、ケラバ包み: ｶﾞｰGL鋼板 厚0.5
(e)	ケラバ板 厚6 底目地貼り EPG
(f)	アルミEX.P. Jカバー

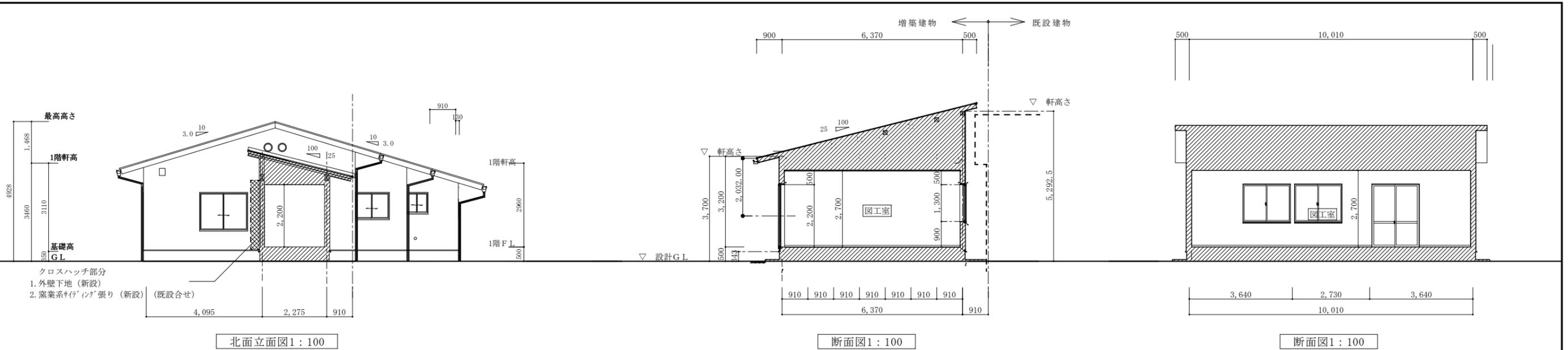


西側立面図 1:100



北側立面図 1:100

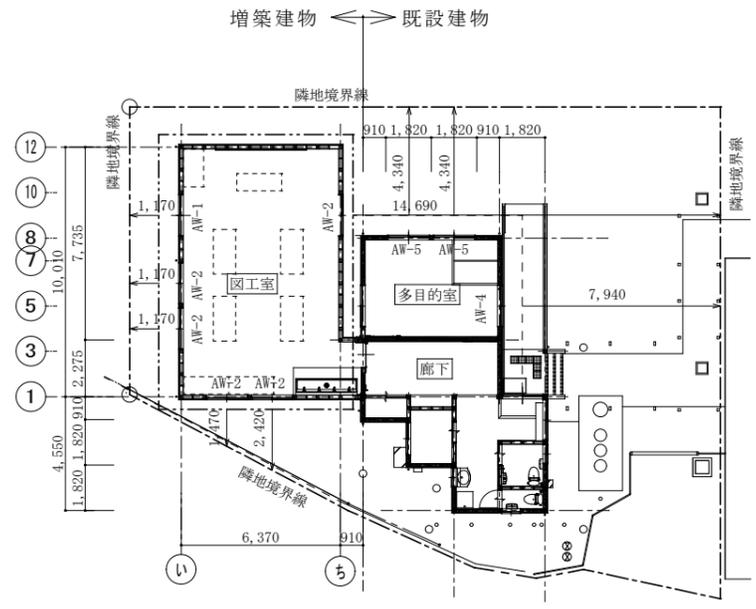
記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田まゆみ	担当(総合) 1級建築士登録第225544号 倉田まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・士法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 立面図(改修後)	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → 1:100 A3版 → 70.7%	図面番号 A13



クロスハッチ部分
 1. 外壁下地 (新設)
 2. 竪系系'インク'張り (新設) (既設合せ)

・床面積求積表

記号	室名	面積計算	小計
1	玄関	1.82 × 1.820 = 3.31240	3.31240
2	ホール	1.82 × 4.550 = 8.28100	8.28100
3	廊下	5.46 × 2.275 = 12.42150	12.42150
4	多目的室	5.46 × 4.095 = 22.35870	22.35870
5	女子便所	1.82 × 1.820 = 3.31240	3.31240
6	男子便所	1.82 × 0.910 = 1.65620	1.65620
7	物入	1.82 × 0.910 = 1.65620	1.65620
8	収納棚	1.82 × 0.455 = 0.82810	0.82810
9	倉庫	1.82 × 2.275 = 4.14050	4.14050
既設建物A 床面積 計			57.96700
9	図工室	6.37 × 10.010 = 63.76370	65.83395
		0.91 × 2.275 = 2.07025	
増築建物B 床面積 計			65.83395
延べ床面積			既設建物A+増築建物B 123.80095 m ²



採光ファン配置図・平面図 1:200

◎ 消防法 建物用途設置基準

建物用途：(7)項 小学校・中学校・高等学校・大学等

◎ 延べ面積 1F: 123.80m²

◎ 地階・無窓階床面積
 ・無窓階のチェック

階	床面積 (m ²)	必要面積 (床面積×1/30)	建具	ガラス種類	有効 (m ²)					合計	判定
					W(m)	H(m)	箇所	計(m ²)			
1	123.80	4.13	AW-1	TL4+TL4	1.60	2.20	1	3.52	17.12	有窓階	
			AW-2	FL3+FL3	1.60	1.30	5	10.40			
			AW-5	TL4	1.60	2.00	1	3.20			

◇ 全部：誘導標識 ……該当
 ◇ 150m²：消火器具 ……該当しない
 ◇ 300m²：漏電火災警報設備 ……該当しない

◎ 収容人員
 ・収容人員の算定 従業員：_____人
 収容人員 = 23人
 ◇ 10人以上：避難器具 (3階以上の直通階段1のみの階) ……該当しない
 ◇ 20人以上：非常警報設備 (地階・無窓階) ……該当しない
 ◇ 50人以上：非常警報設備 (一般階) ……該当しない

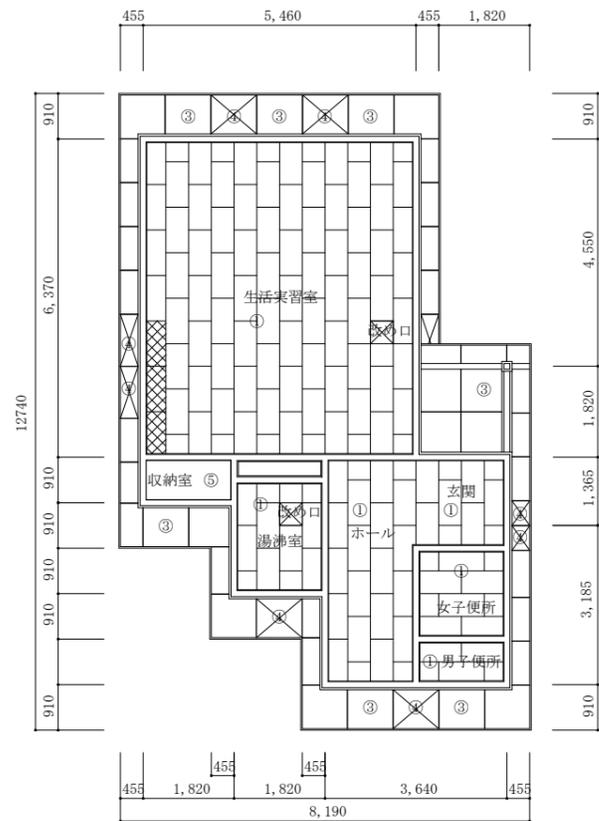
・法規チェック

用途地域 3		指定無し 10d/h-1		採光										換気										排煙											
階	部屋名	面積 (m ²)	必要割合 × 1/X	必要面積 (m ²)	建具記号	d (m)	h (m)	増減率	採光補正係数	W (m)	D (m)	箇所	個別面積	合計	判定	必要割合 × 1/X	必要面積 (m ²)	建具記号	W (m)	D (m)	有効	箇所	個別面積	合計	判定	必要割合 × 1/X	必要面積 (m ²)	建具記号	W (m)	D (m)	有効	箇所	個別面積	合計	判定
1	図工室	65.84	5	13.17	AW-1	1.17	2.03	1	3	1.6	2.2	1	10.56	35.52	OK	20	3.29	AW-1	1.6	2.2	0.5	1	1.76	6.96	OK	50	1.32	AW-1	1.6	0.3	0.5	1	0.24	1.44	OK
	AW-2	1.17	1.56	1	3	1.6	1.3	4	24.96	AW-2	1.6	1.3	0.5					5	5.2	AW-2	1.6	0.3	0.5					5	1.2						
	多目的室	22.36	10	2.24	AW-5	4.34	1.7	1	3	1.6	2	2	19.2	25.44	OK	20	1.12	AW-5	1.6	2	0.5	2	3.2	5.28	OK	50	0.45	AW-5	1.6	0.4	0.5	2	0.64	1.28	OK
	AW-4	7.94	2.63	1	3	1.6	1.3	1	6.24	AW-4	1.6	1.3	0.5					2	2.08	AW-4	1.6	0.4	0.5					2	0.64						

改修後

番号	仕上	仕様
①	化粧石膏ボード<9.5>	
②	化粧ケイ酸カルシウム板<6.0>	
③	けい酸カルシウム板<6.0>	底目地貼り EP塗装
④	けい酸カルシウム板<6.0>有孔ボード	底目地貼り EP塗装
⑤	フッ合板<4>	

 ハッチ部分：天井材撤去処分

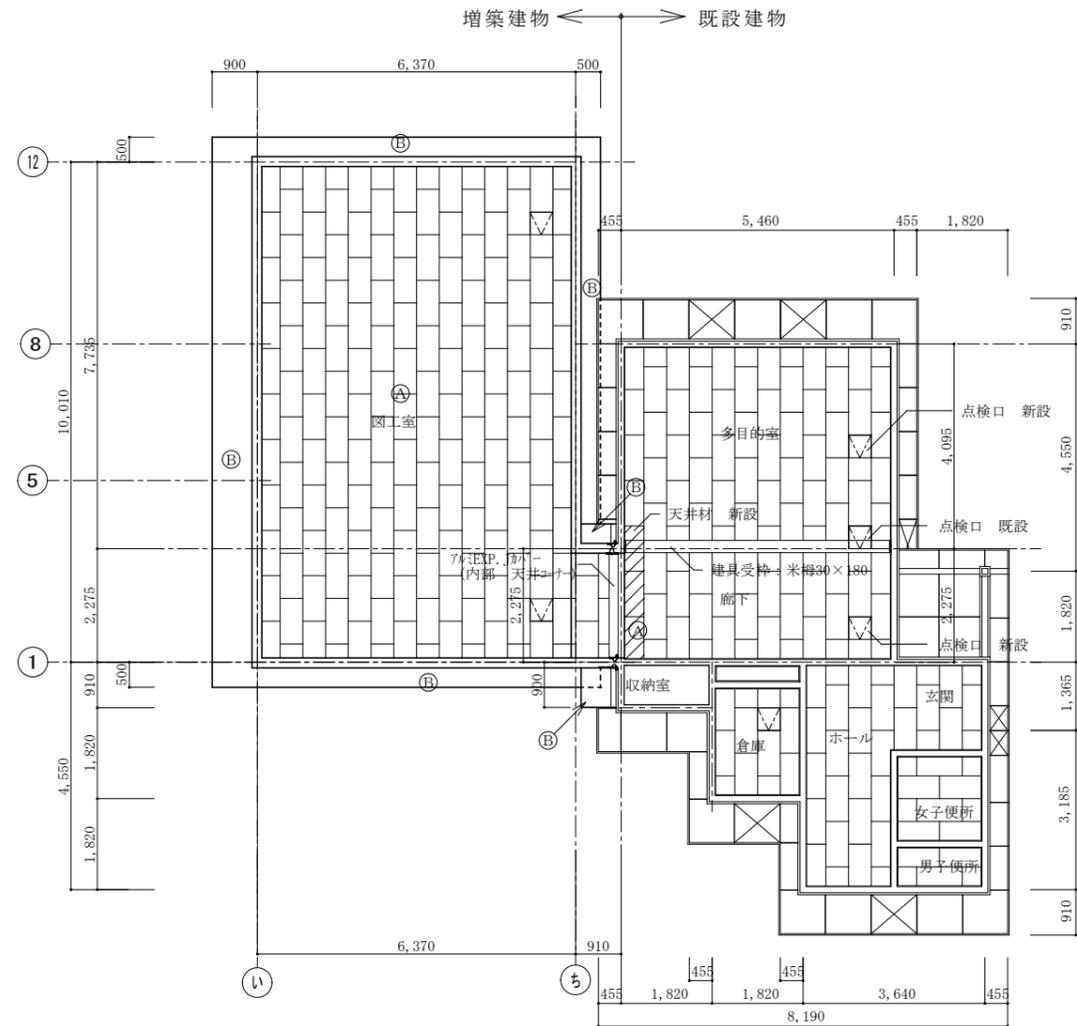


天井伏図 (改修前) 1:100

改修後

番号	仕上	仕様
Ⓐ	化粧石膏ボード 厚9.5	
Ⓑ	けい酸カルシウム板 厚6.0	底目地貼り EPG 塗装
▽	天井点検口 アルミ 450角	

 ハッチ部分：天井改修部分



天井伏図 (改修後) 1:100

記事:

㊦ 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

担当 (総合)

1級建築士登録第225544号

倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

・設備設計
 ・法適合確認

・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称

永末小学校図書室増築工事

図面名称

天井伏図 (改修前・後)

設計年月日
 2025・08

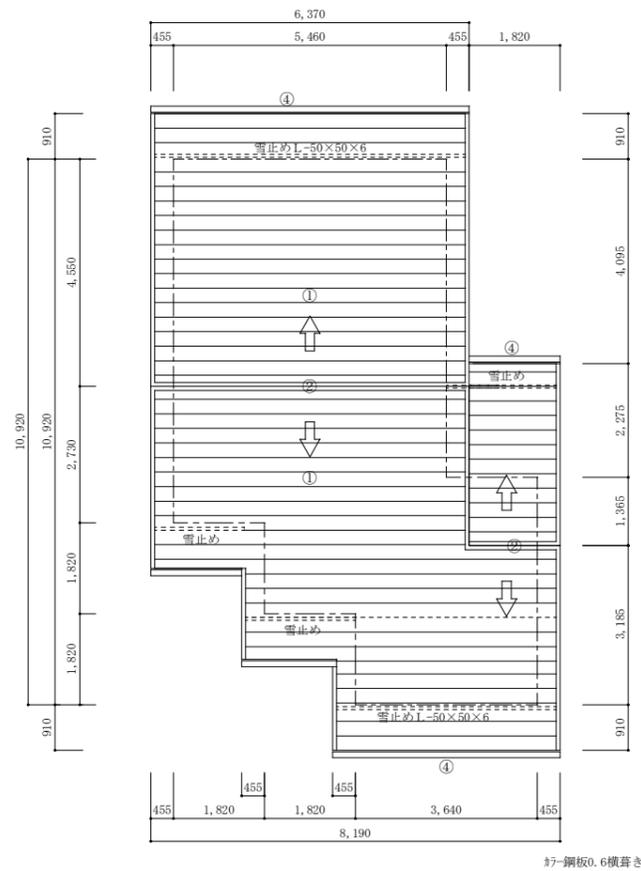
縮尺
 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%

図面番号

A15

改修前

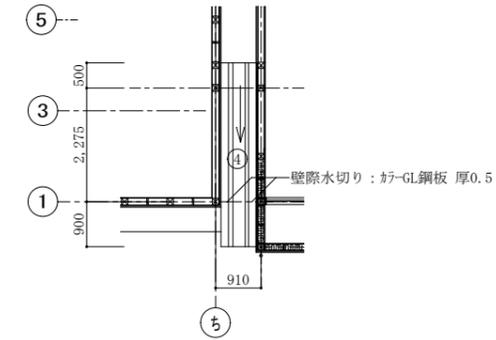
番号	仕上	下地
①	㌘-鋼板横葺き<0.4>	ｱｽﾌﾙﾄﾞ(ﾌｲﾝｸﾞ)940 構造用合板 <12>
②	役物㌘-鋼板<0.4>	
③	雪止め: L-50×50×6	垂鉛ﾌｯｷ
④	軒樋: 塩ビ半円105/2	
⑤	堅樋: 塩ビ60Φ	



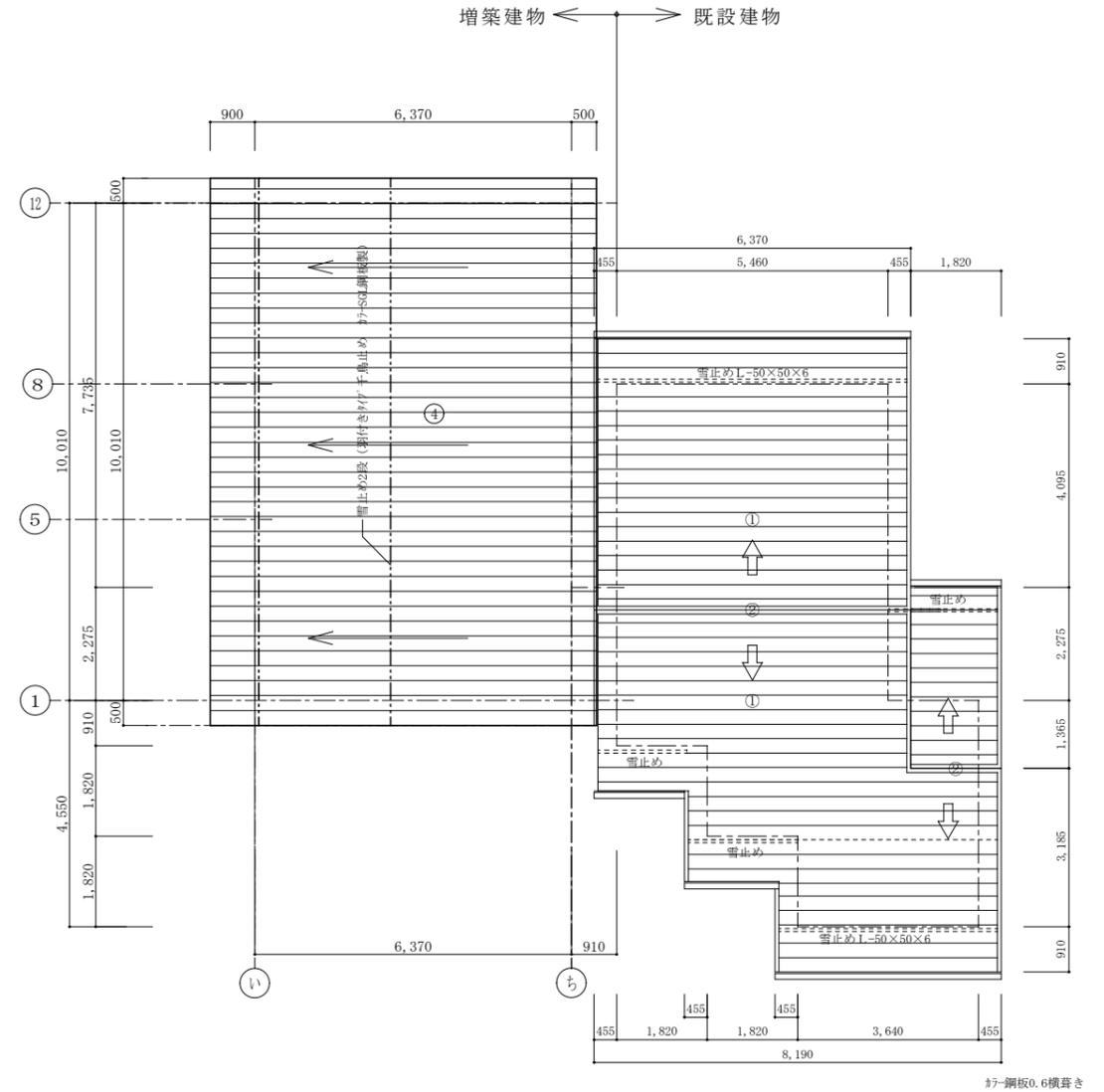
屋根伏図 1:100

改修後

番号	仕上	下地
①	㌘-鋼板横葺き<0.4> (既設)	ｱｽﾌﾙﾄﾞ(ﾌｲﾝｸﾞ)940 構造用合板 <12>
②	役物㌘-鋼板<0.4> (既設)	
③	雪止め: L-50×50×6 (既設)	垂鉛ﾌｯｷ
④	㌘-GL鋼板立平葺き厚0.5	ｺﾞﾙﾀﾞﾙ-ﾌｲﾝｸﾞ厚1.0下地 構造用合板厚12下地



接続部屋根伏図 1:100



屋根伏図 1:100

記事:

㊦ 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

担当 (総合)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認
・設備設計
・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号
・1級建築士登録第 号

・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号
・1級建築士登録第 号

工事名称
永末小学校図工室増築工事

図面名称
屋根伏図 (改修前・後)

設計年月日
2025・08

縮尺
A2版 → 1:100
A3版 → 70.7%

図面番号

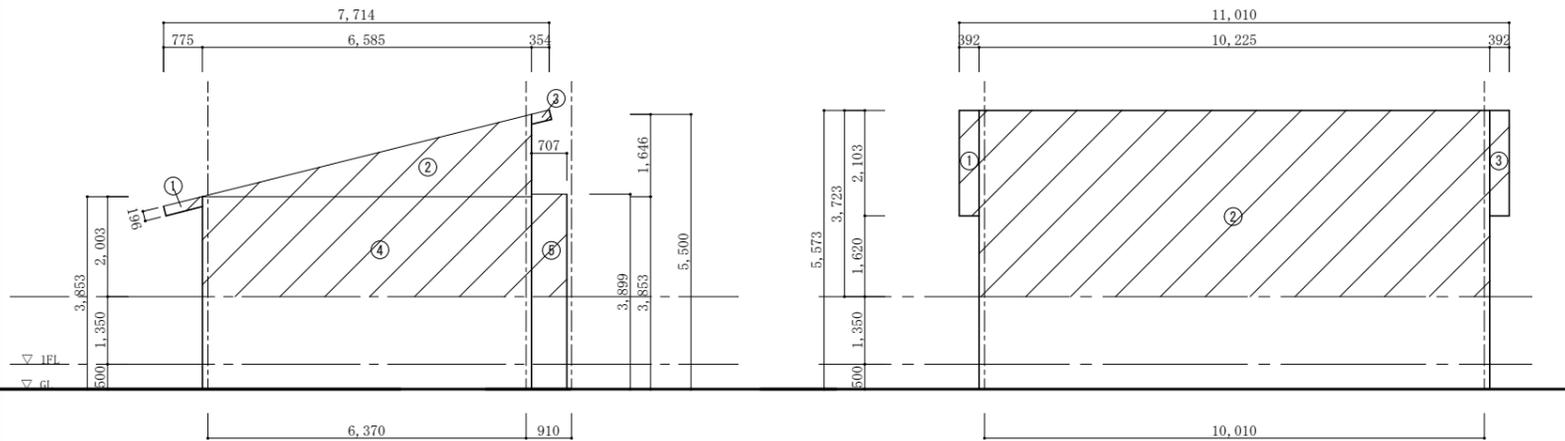
A16

X面見付面積求積表

・ 1階見付面積		
記号	面積計算	計
1	0.196 × 0.775	0.151900
2	1.646 × 6.585 × 1/2	5.419455
3	0.196 × 0.354	0.069384
4	2.003 × 6.585	13.189755
5	2.003 × 0.707	1.416121
合計		20.246615
面積		20.25 m ²

Y面見付面積求積表

・ 1階見付面積		
記号	面積計算	計
1	2.103 × 0.392	0.824376
2	3.723 × 10.225	38.067675
3	2.103 × 0.392	0.824376
合計		39.716427
面積		39.72 m ²



X面見付面積 1:100

Y面見付面積 1:100

壁量等の基準(令和7年施行)に対応した表計算ツール(平屋建て用)(在来軸組工法用)

ver1.1

作成日	2025年7月4日	物件名	永末小学校図工室増築工事				
設計者	一級建築士	登録番号	大臣	登録第	225544	氏名	倉田まゆみ
建築士事務所名	一級建築士事務所	登録番号	広島県	知事	登録第	22(1)0586	

※使い方: 緑の枠に必要事項を入力するとオレンジの枠に結果が出力されます。

1. 単位面積当たりの必要壁量 L_w (単位 cm/m^2) (令第46条第4項、昭56建告第1100号第三)

項目	入力欄	入力の注意点等	
		1階階高 h_1 (m)	3.232
標準せん断力係数 C_0	0.2	軟弱地盤の指定がある場合は0.3 (不明な場合は特定行政庁に確認)	
1階床面積(m^2)	65.83	(ここでは小屋裏面積は含めなくともよい。)	
屋根の仕様	金属板ぶき	プルダウン選択	
外壁の仕様	サイディング	プルダウン選択	
太陽光発電設備等(N/m^2)	なし(0)	太陽光発電設備等の質量を任意入力したい場合は「あり(任意入力)」をプルダウン選択し、右欄(緑)にその質量を入力する。	下記への入力は不要です。
天井断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。	設備等の質量 (kg)
			密度(kg/m^3)
			厚さ(mm)
			16
			155
外壁断熱材(N/m^2)	任意入力	断熱材の密度と厚さを任意入力したい場合は、「任意入力」をプルダウン選択し、右欄(緑)に値を入力する。異なる断熱材を重ねて使用する場合には2段に分けて記載する。	密度(kg/m^3)
			厚さ(mm)
			16
			90

*1: 固定荷重・積載荷重の根拠は [こちら](#)。

*2: 屋根面積に対しての均し荷重として算定される。

出力結果	単位床面積当たりの必要壁量 (方法①)	1階
		13

2 柱の小径(令第43条第1項、第6項、平成12建告第1349号第一第二項)

2-1～2-3の3とおりの算定方法があります。

採用する算定方法のタイトル横のチェックボックスに☑をご記入ください。

2-1 算定式と有効細長比より柱の小径を求める場合

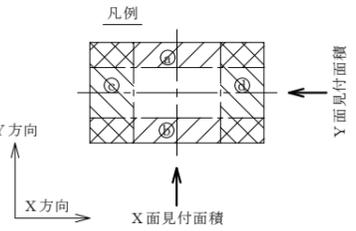
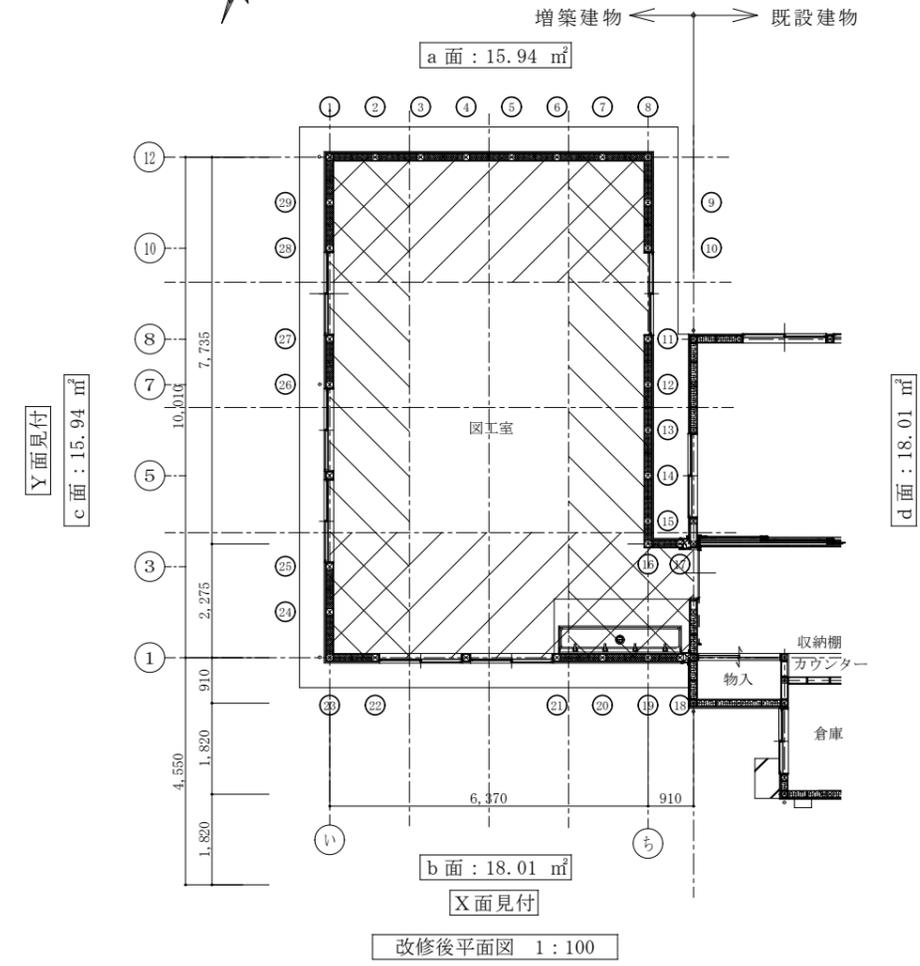
算定方法における前提条件と注意事項は [こちら](#)。

階	出力結果	
	d_e/l *3	柱の小径 d_c *4 (mm以上)
1階	1/39.3	79

*3: 柱の必要小径 d_e /横架材間距離 l

*4: すぎ、無等級材(平成12年建設省告示第1452号第5号)を前提として算定。解説・注意事項 [こちら](#)。

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者(管理建築士)	担当(総合)	・構造設計	・土佐20条の2 構造設計1級建築士第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第225544号	1級建築士登録第225544号	・法適合確認	・1級建築士登録第 号	永末小学校図工室増築工事	2025・08	
		倉田まゆみ	倉田まゆみ	・設備設計	・土佐20条の3 設備設計1級建築士第 号	図面名称	縮尺	A17
				・法適合確認	・1級建築士登録第 号	見付面積求積図、求積表	A2版 → 1:100 A3版 → 70.7%	



・凡例

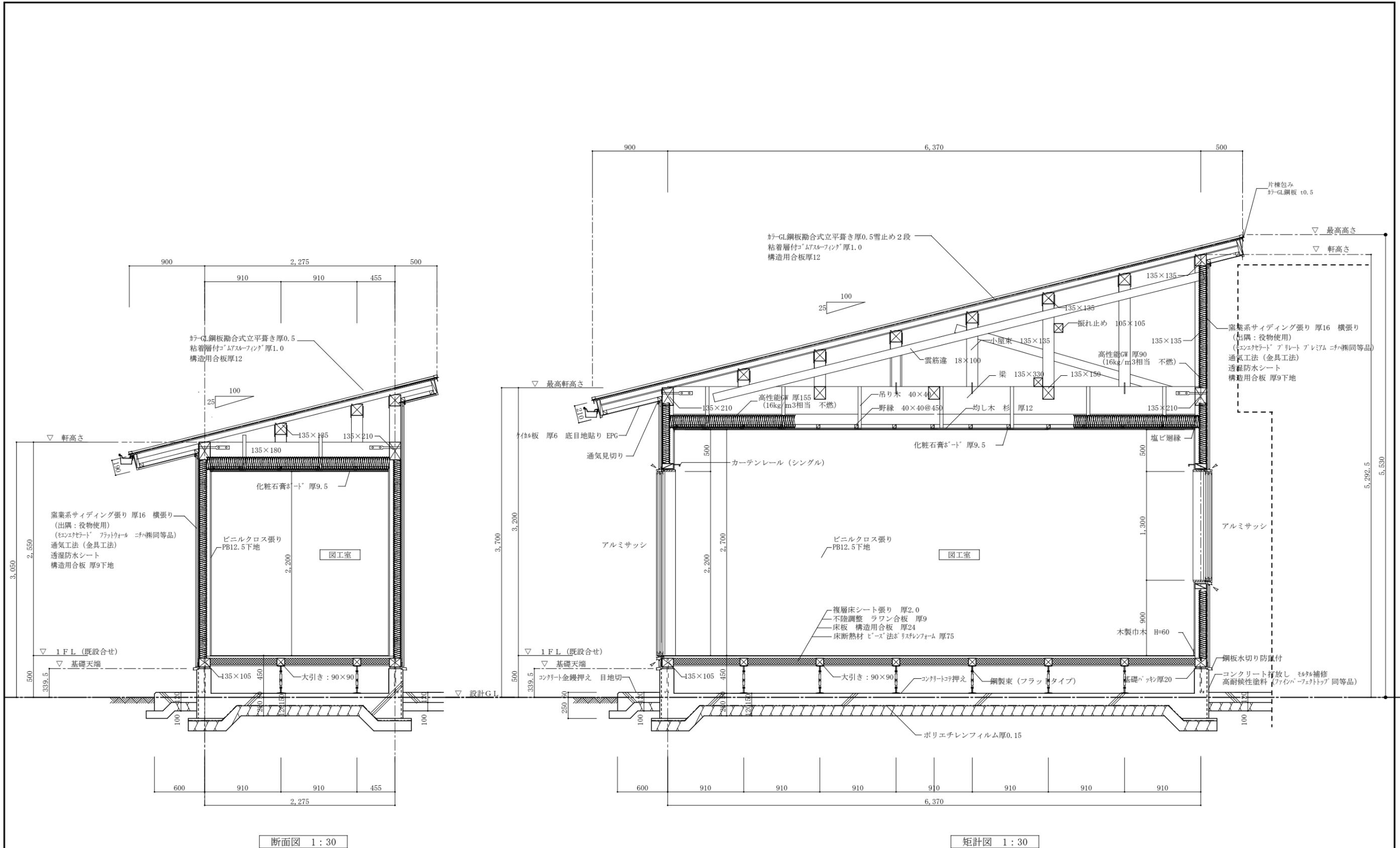
耐力壁	柱頭部	片筋違 (45×90)
	柱脚部	ダブル筋違 (45×90)
		※構造用合板 厚9 倍率2.5 (釘N50、外周@150中通@150)
金物	①	平屋部分

必要耐力 (kN)	金物等 (これらと同等以上の接合方法を含む)
0.0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打ち
3.4	- : - (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物釘ZN65×10本
5.1	- : - (は) : T字形かど金物、山形プレート
7.5	- : - (こ) : 羽子板ボルトφ12mm、短冊金物
8.5	- : - (ほ) : 羽子板ボルトφ12mm+スクリュー釘L-50mmφ4.5mm
10.0	- : - (へ) : 10kN用引き寄せ金物
15.0	- : - (と) : 15kN用 - : -
20.0	- : - (ち) : 20kN用 - : -
25.0	- : - (り) : 25kN用 - : -
30.0	- : - (ぬ) : 15kN用引き寄せ金物×2枚
	必要耐力を満足できる金物

・令第47条第1項に基づく軸組部柱仕口の検討

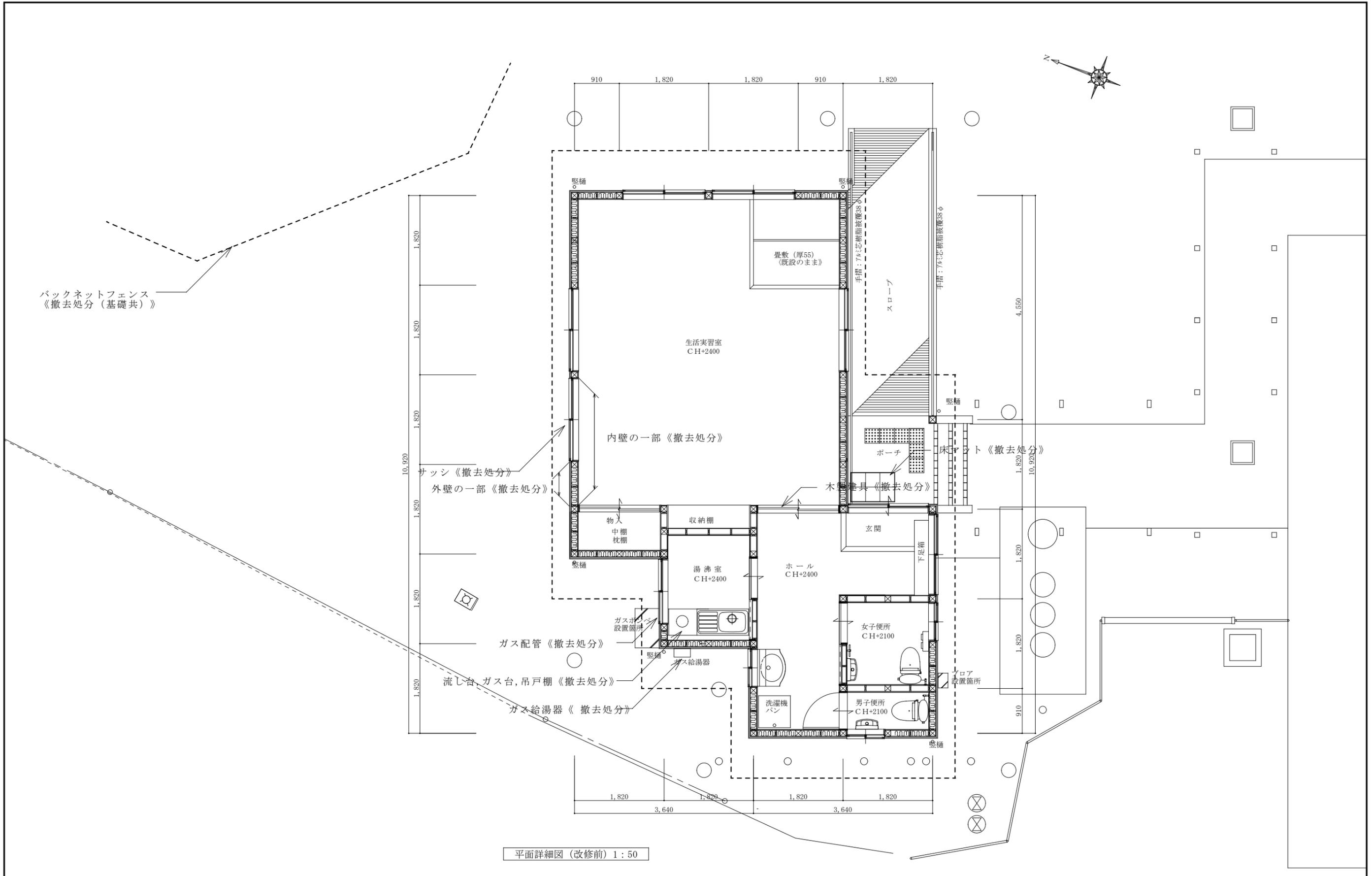
階	柱位置	筋違取付条件					A1	補正	B1	L	N	必要耐力 (kN)	金物等 (同等以上)
		方向	組合せ	位置	種類	柱位置							
平屋建て	1	片側取付	片構造用面材		9	出隅	2.5		0.8	0.4	1.6	8.5	告示表三 (ほ) : 羽子板ボルトφ12mm+スクリュー釘
	2	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	3	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	4	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	5	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	6	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	7	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	8	片側取付	片構造用面材		9	出隅	2.5		0.8	0.4	1.6	8.5	告示表三 (ほ) : 羽子板ボルトφ12mm+スクリュー釘
	9	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	10	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	11	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	12	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	13	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	14	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	15	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	16	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	17	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	18	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	19	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	20	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	21	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	22	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	23	片側取付	片構造用面材		9	出隅	2.5		0.8	0.4	1.6	8.5	告示表三 (ほ) : 羽子板ボルトφ12mm+スクリュー釘
	24	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打
	25	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	26	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	27	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	28	片側取付	片構造用面材		9	その他	2.5		0.5	0.6	0.65	3.4	告示表三 (ろ) : 長ほぞ差し込み栓打、L字形かど金物
	29	両側取付	両構造用面材		9	その他			0.5	0.6	-0.6	0	告示表三 (い) : 短ほぞ差し、かすがい打

階数	有効軸組長さ	床面積 (㎡)	必要単位長さ (cm/㎡)	必要軸組長さ (m)	Y面見付け面積 (㎡)	必要単位長さ (cm/㎡)	必要軸組長さ (m)	X面見付け面積 (㎡)	必要単位長さ (cm/㎡)	必要軸組長さ (m)
				65.83	13	8.6	39.72	50	19.9	20.25
一	有	壁種類	軸組種類	倍率	X方向軸組長さ	箇所	有効軸組長さ	Y方向軸組長さ	箇所	有効軸組長さ
		構造用合板3号		2.5	0.91	11	25	0.91	10	22.8
		構造用合板3号		2.5				0.64	2	3.2
			判定		OK		25	OK		26



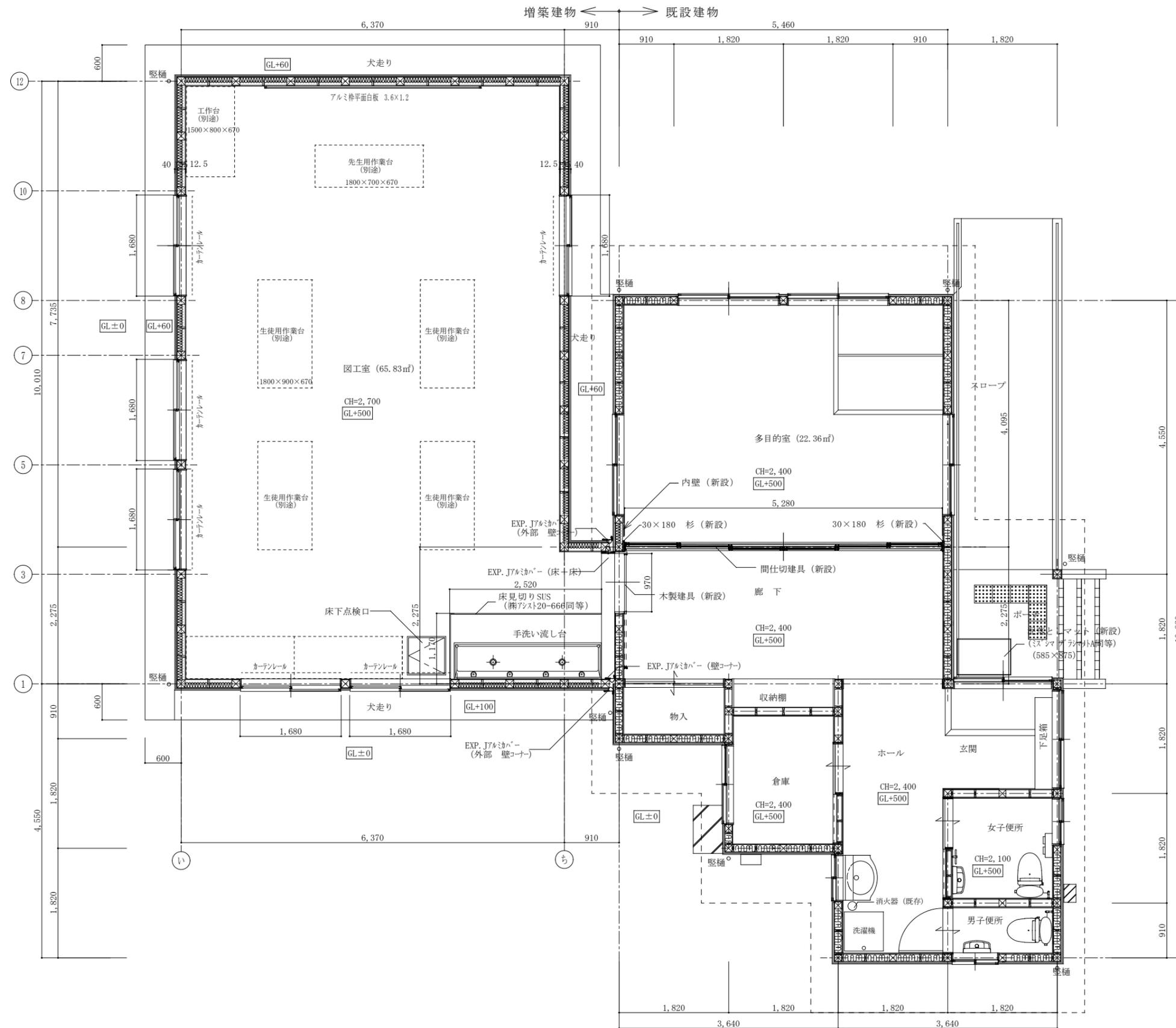
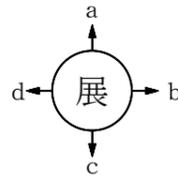
※G Lより1 m範囲内の外壁面は防腐防蟻対策を講じる事

記事: 床断熱: ビーズ法ポリスチレンフォーム t 6.5又は押出法ポリスチレンフォーム t 7.5以上	<p>有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382</p>	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士登録第 号 ・1級建築士登録第 号 ・士法20条の3 設備設計1級建築士登録第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 矩計図、断面図	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → 1:30 A3版 → 70.7%	図面番号 A19
--	---	--	--------------------------------------	------------------------------------	--	---	---	-------------



平面詳細図 (改修前) 1:50

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士20条の3 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・士20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 平面詳細図 (改修前)	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → 1:50 A3版 → 70.7%	図面番号 A20



凡例
 ☒ 柱 135×135 (増築部分)
 注記 設計GLは既設床高さより-500とする。
 床下点検口位置は監督員と協議する事。

[既設建物] 床面積	57.97 m ²
[増築建物] 床面積	65.83 m ²
延べ床面積	123.8 m ²

平面詳細図 (改修後) 1:50

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・土佐20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事	設計年月日 2025・08	図面番号 A 2 1
				・設備設計 ・法適合確認	・土佐20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号			

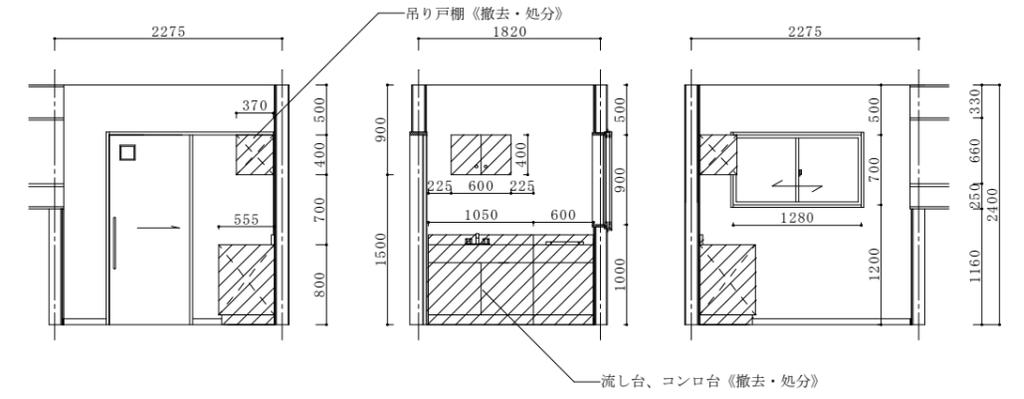
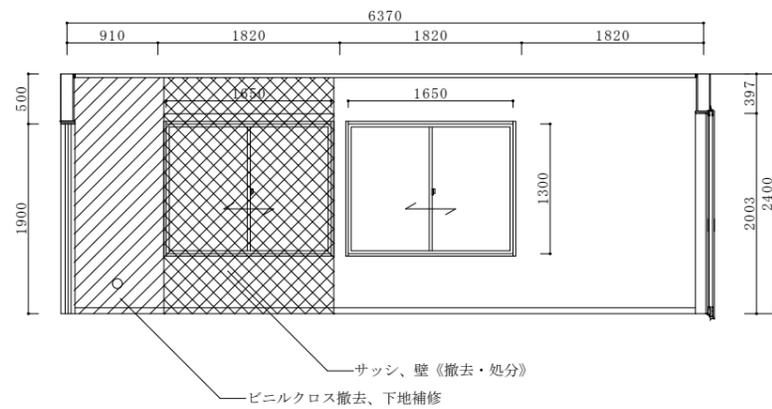
図工室		図工室 a面 展開図	図工室 b面 展開図
床	複層床シート張り 厚2.0 下地調整 ラワン合板 厚9下地 手洗い流し台前 長尺塩ビシート厚2.5張り (ノンスリップ) ラワン合板 厚9下地		
巾木	木製既製品 H=60		
腰	ビニールクロス張り (不燃) P B厚12.5下地 (不燃) F 4 《不燃》 手洗い流し台前: 化粧ケイ酸板厚6 BTB12.5下地 H=1800		
壁	ビニールクロス張り (不燃) P B厚12.5下地 (不燃) F 4 《不燃》		
廻縁	塩ビ		
天井	化粧石膏ボード 厚9.5 《不燃》		
備考	7尺枠平面白板 (3,600×1,200), 手洗い流し台, アルミ天井点検口 (450角)、アルミ床下点検口 (600角) アルミEXP.Jカバー、床見切り、カーテンレール		

		図工室 c面 展開図	図工室 d面 展開図
床			
巾木			
腰			
壁			
廻縁			
天井			
備考			

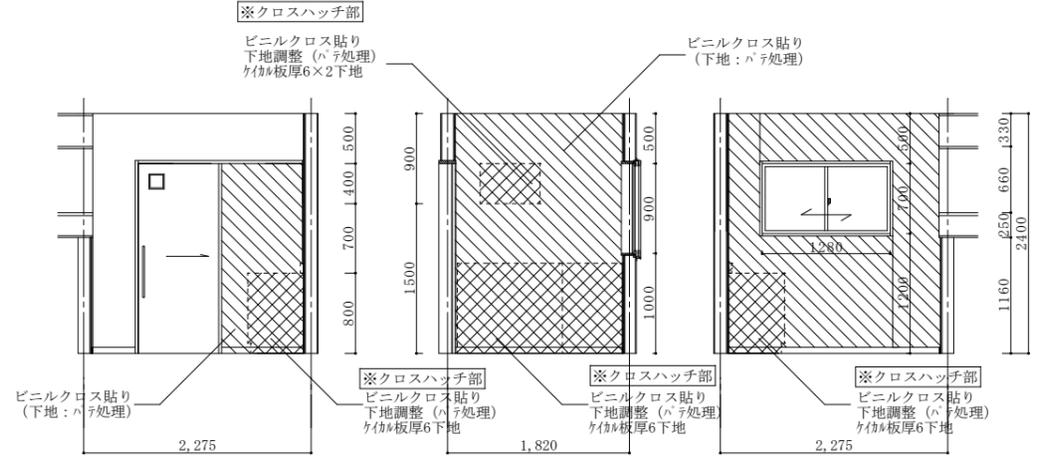
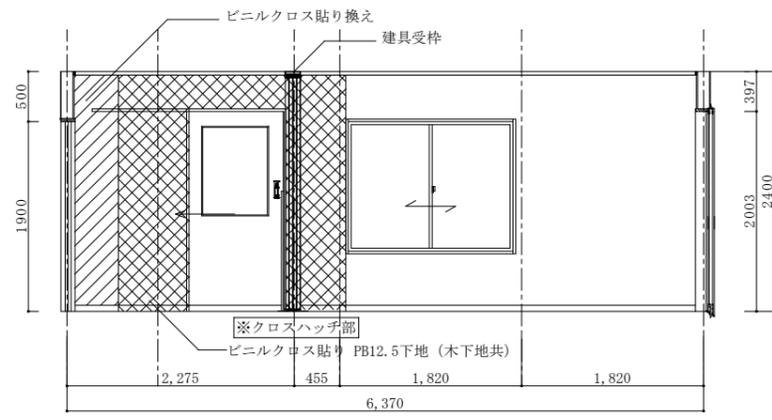
床							
巾木							
腰							
壁							
廻縁							
天井							
備考							

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号 ・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 展開図-1 (増築)	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → 1:50 A3版 → 70.7%	図面番号 A 2 2

廊下 (生活実習室) 《既設》	廊下 (生活実習室) 【整備後】	廊下 (生活実習室) d 面展開図 (改修前)	倉庫 (湯沸室) b 面展開図 (改修前)	倉庫 (湯沸室) c 面展開図 (改修前)	倉庫 (湯沸室) d 面展開図 (改修前)
床	複合フローリング (大建工業)厚15	既設のまま			
巾木	木製既製品	既設のまま			
腰	ビニルクロス石膏ボード<12.5>下地	一部ビニルクロス張り, PB12.5下地 【新設】			
壁					
廻縁	塩ビ	既設のまま			
天井	化粧石膏ボード 厚9.5	既設のまま			
備考					



倉庫 (湯沸室) 《既設》	倉庫 (湯沸室) 【整備後】	廊下 (生活実習室) d 面展開図 (改修後)	倉庫 (湯沸室) b 面展開図 (改修後)	倉庫 (湯沸室) c 面展開図 (改修後)	倉庫 (湯沸室) d 面展開図 (改修後)
床	複合フローリング (大建工業)厚15	既設のまま			
巾木	木製既製品	一部木製既製品			
腰	化粧石膏ボード<6> フ合板<12>下地	一部ビニルクロス張り (ハテ処理)			
壁	コンロ面化粧石膏ボード<6×2重>	一部ビニルクロス張り KB6.0下地			
廻縁	塩ビ	既設のまま			
天井	化粧石膏ボード 厚9.5	既設のまま			
備考					

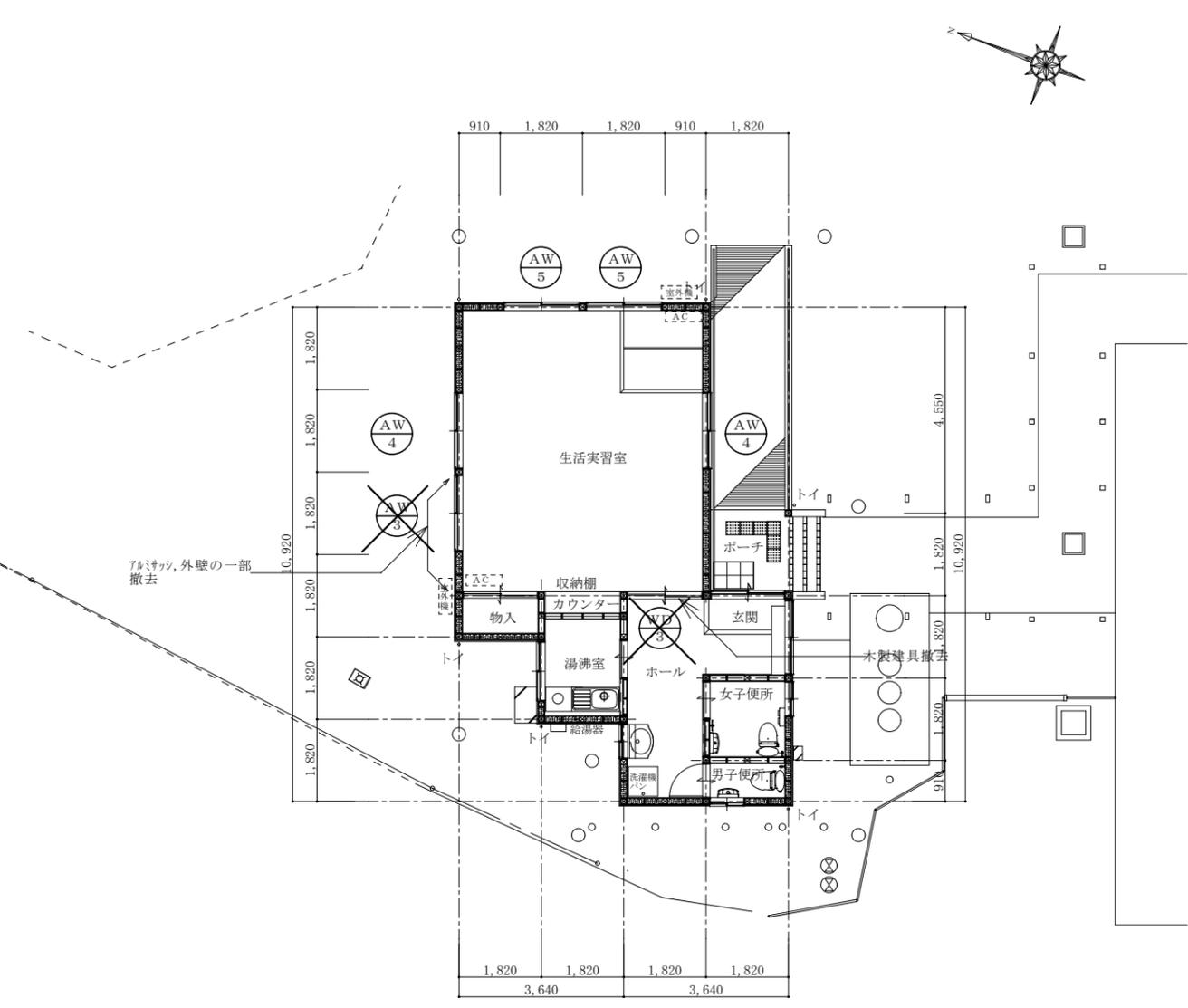


床					
巾木					
腰					
壁					
廻縁					
天井					
備考					

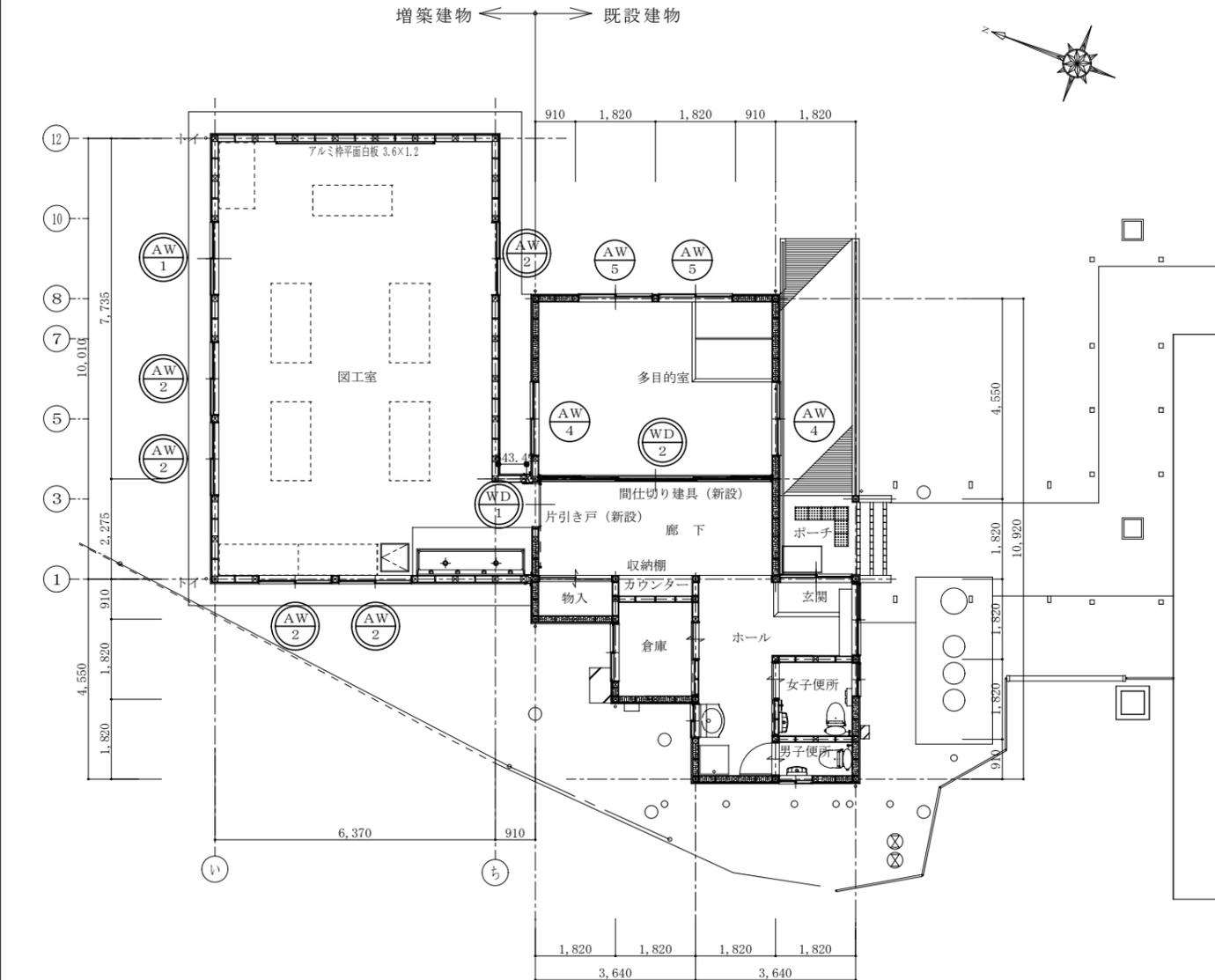
記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士2206の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・士2206の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 展開図-2 (既設改修)	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → 1:50 A3版 → 70.7%	図面番号 A23
-----	---	--	--------------------------------------	------------------------------------	--	--	---	-------------

改修前

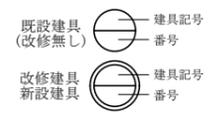
改修後



改修前 建具配置図 1:100



改修後 建具配置図 1:100



記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

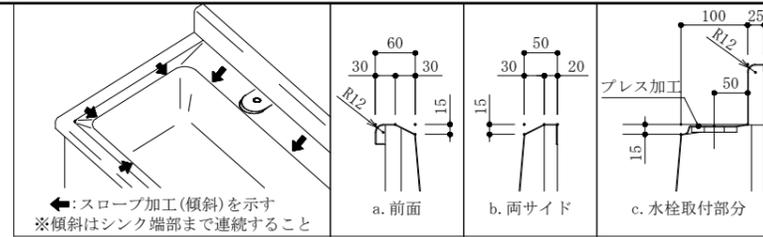
担当 (総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
 永末小学校図工室増築工事
 図面名称
 改修前・後 建具配置図

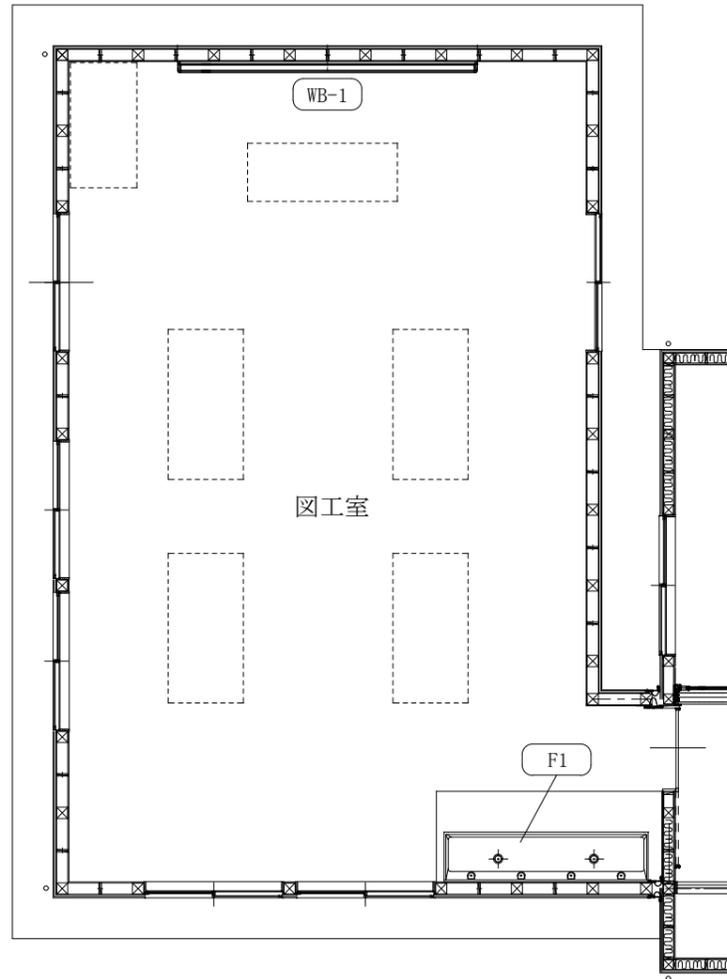
設計年月日
 2025・08
 縮尺
 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%
 図面番号
 A24

符号	名称 場所	数量	AW1		AW2		AW3		AW4		AW5		凡例	
			引違い戸 図工室	1	引違い窓 図工室	5	引違い窓 (既設建具) 多目的室 (生活実習室)	1	引違い窓 (既設建具) 多目的室 (生活実習室)	2	引違い窓 (既設建具) 多目的室 (生活実習室)	2	W 木製	LS 軽量鋼製
形状・寸法													A アルミニウム製	
材料・仕上			アルミサッシ (外付け)		アルミサッシ (外付け)		アルミサッシ		アルミサッシ		アルミサッシ		金物	
硝子			TFL4+A14+TFL4		FL3+A14+FL3		学校用強化ガラス 4MM		学校用強化ガラス 4MM		学校用強化ガラス 4MM		H 丁番	
金物			標準金物一式、アルミアングル、木製額縁		標準金物一式、アルミアングル、木製額縁		ルセント 付属金物一式		ルセント 付属金物一式		ルセント 付属金物一式		A 額縁取付用アングル	
備考			網戸		網戸		網戸		網戸		網戸		CP シリンダー箱錠	
符号	名称 場所	数量	WD1		WD2		WD3		○		○		硝子の符号	
			片引き戸 図工室	1	引戸 (上吊り) 多目的室 (生活実習室)	1	引き違い戸 (既設建具) 廊下 (生活実習室)	1					FL フロート板ガラス	
形状・寸法													HFL 熱線吸収板ガラス	
材料・仕上			ポリ合板フラッシュ戸		枠: アルミ製		化粧強化合板フラッシュ						TFL 強化ガラス	
硝子			TFL 4.0		採光窓: 半透明アクリルパネル		学校用強化ガラス4MM						P 磨き板ガラス	
金物			引手、上レール、振れ止め、ガイド、戸車、戸先 (ロックストローク) 標準金物一式 戸先クッション仕様		フラットガイドレール、ソフトクローズ機能 腰: パネル		引き手 Vレール 戸車						PW 網入磨き板ガラス	
備考													HP 熱線吸収磨き板ガラス	
符号			○		○		○		○		○		HPW 熱線吸収網入磨きガラス	
形状・寸法													F 型板ガラス	
材料・仕上													FW 網入型板ガラス	
硝子													SC 熱線反射板ガラス	
金物													HTFL 熱線吸収強化板ガラス	
備考													既設建具 (改修無し) 建具記号 番号	
記事: () 内寸法は内法寸法を表す			有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382		設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ		担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ		工事名称 永末小学校図工室増築工事		設計年月日 2025・08		図面番号 A 2 5	
									構造設計 ・土佐20条の1 構造設計1級建築士 番号 ・1級建築士登録第 号		図面名称 建具表		縮尺 A2版 → 1:50 A3版 → 70.7%	
									設備設計 ・土佐20条の1 設備設計1級建築士 番号 ・1級建築士登録第 号					
													改修建具 新設建具 建具記号 番号	

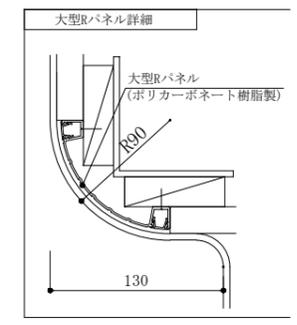
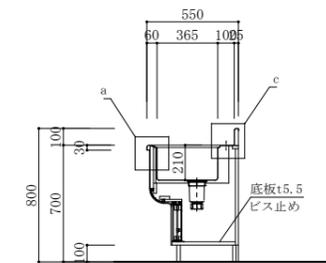
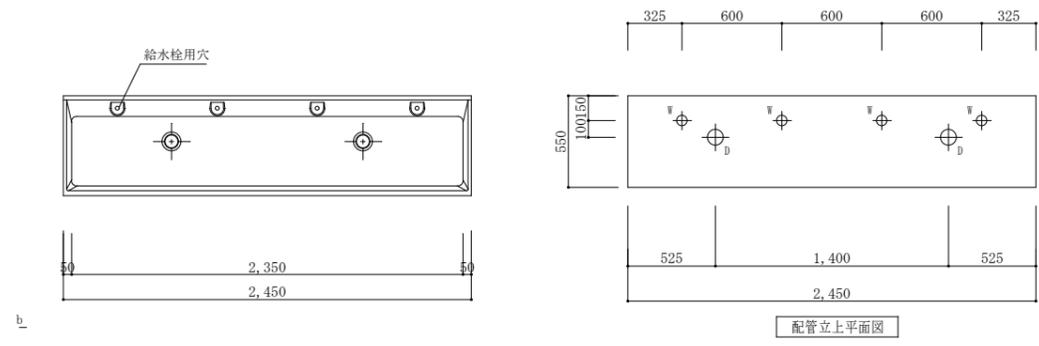


名称	材質・仕様
流し	SUS304 t1.0 (正面R加工・全周スロープ加工)
排水トラップ	2"MT-50A
外装	ポリエステル樹脂板
内装	ポリエステル樹脂板
側板見付	ソフトコーナー(TPE樹脂)
引違戸	t20 ポリエステル樹脂板
	木口: 樹脂エッジ (ABS樹脂)
	成形引手 (ABS樹脂)
	一体成形ガイドレール (PP樹脂)
	成形ソフト縦棒II型 (ABS樹脂)
	一体成形Vレール (ABS樹脂)
大型Rパネル	ポリカーボネート
台輪	ポリエステル樹脂板
角部	セーフティカバー27L (ABS樹脂)
給水栓	(別途)

※本体は水掛かりによる膨張を防止できるよう
パーティクルボード芯材の仕様は不可とする
※全家具空気触媒仕様とする



家具配置図 1:60

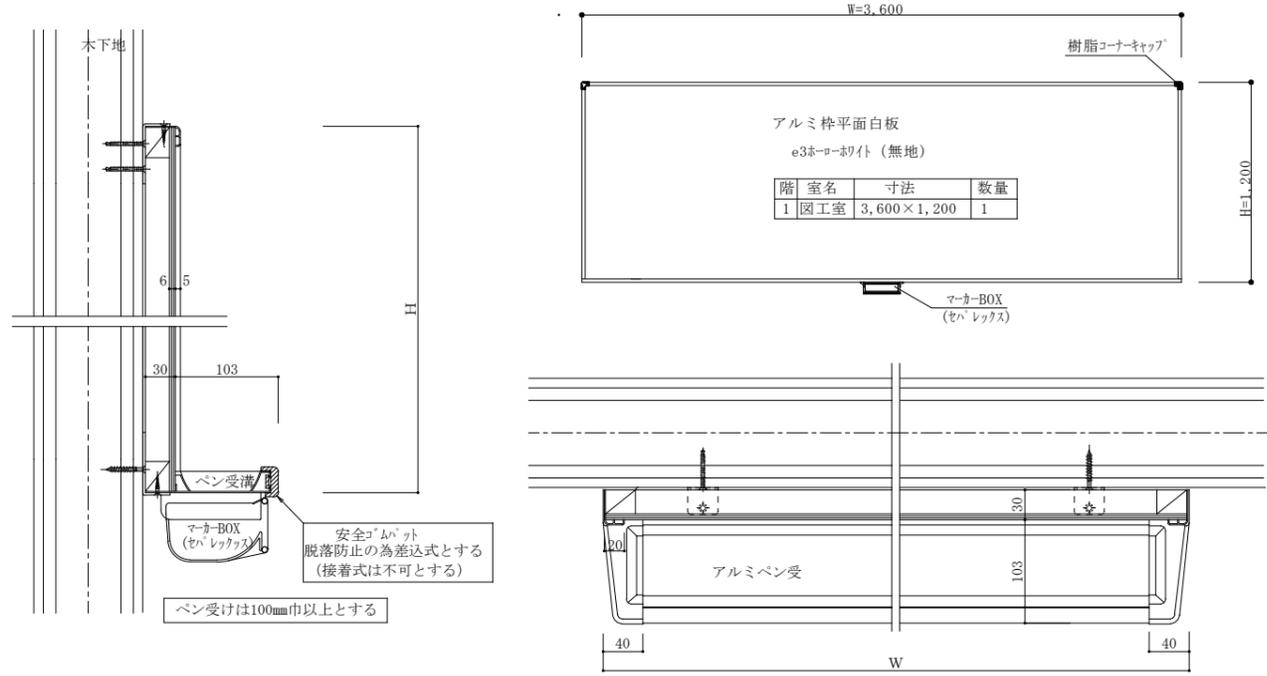


ホワイトボードは抗菌・抗ウイルス対応ホーローホワイトとする(データシート提出のこと)
木下地壁の補強は別途建築工事とする。

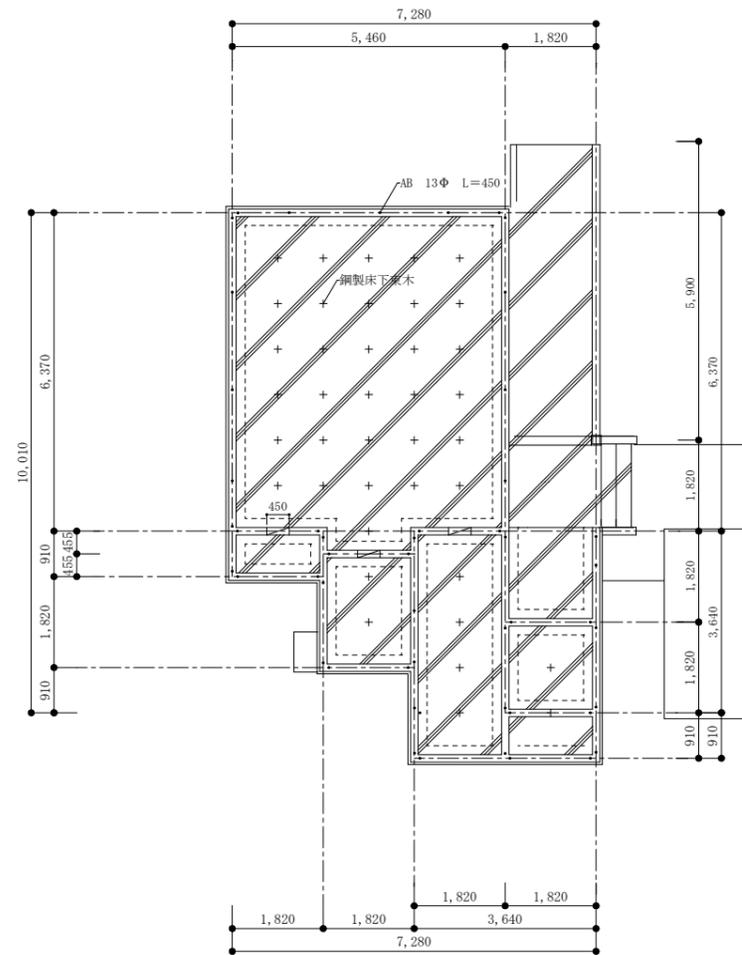
- ①白板は、ISO14001かつISO9001取得企業の生産製品及び監理製品とする。
- ②白板の製作は、日本工業規格番号 JIS S 6007 黒板の表示認証を受けた工場にて製作・出荷し、出荷証明書を提出する事

※行事の内容については、小学校及び監督員と協議の上決定とする。

白板
ホーローホワイト
無地

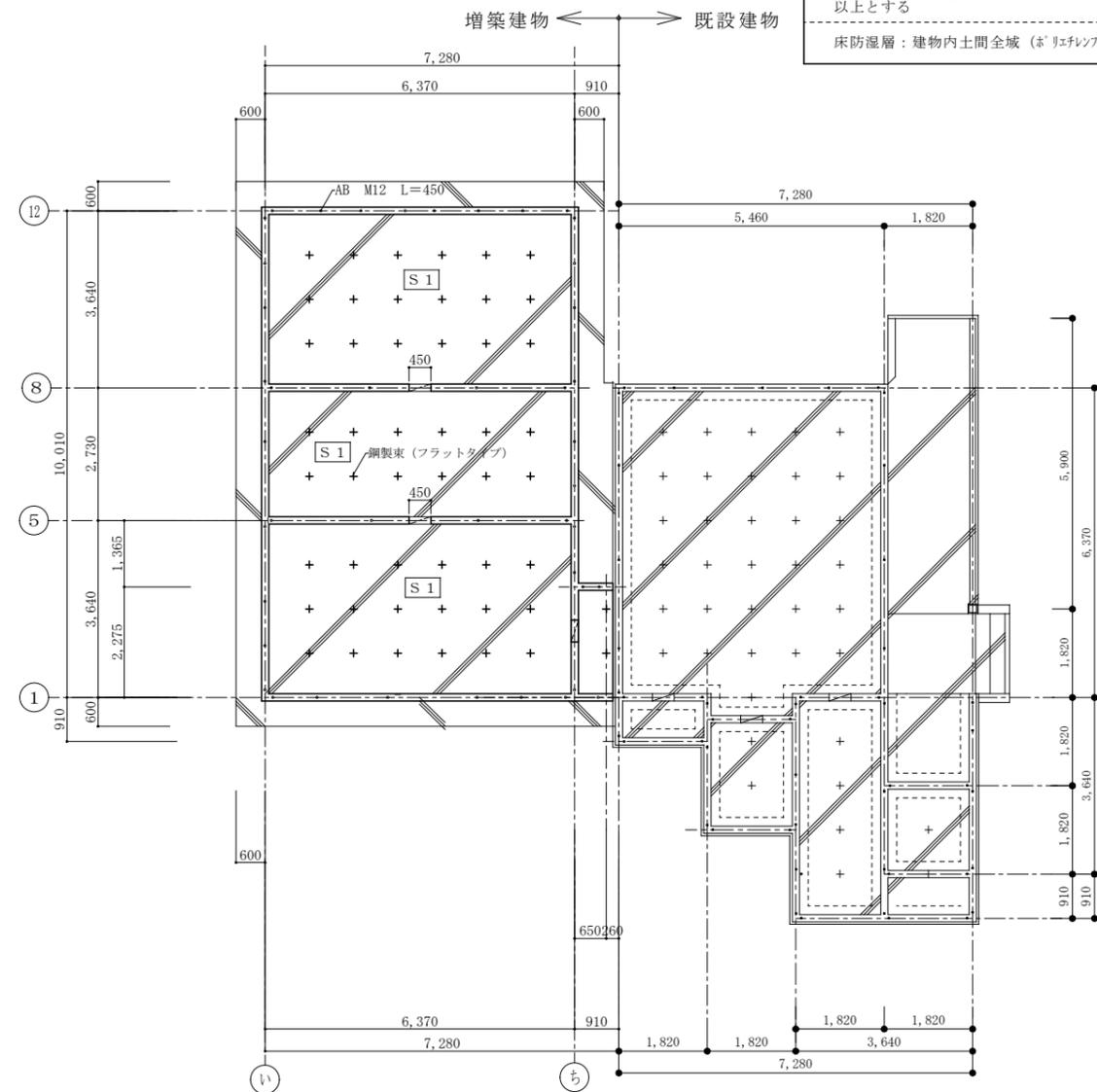


改修前



基礎伏図 1:100

改修後

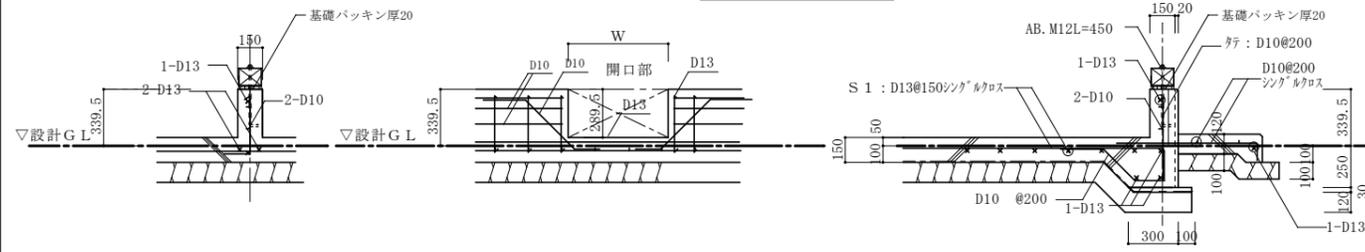


基礎伏図 1:100

使用鉄筋	SD295
使用コンクリート	
基礎コンクリート	FC21-15-20…設計基準強度
土間コンクリート	FC21-15-20
捨コンクリート	FC18-12-20

※ コンクリート調合強度（呼び強度）は設計基準強度に、構造体強度補正値を考慮（加えた）した強度以上とする

床防湿層：建物内土間全域（ポリエチレンフィルム厚0.15mm）



立上り部分詳細図 1:30

開口部分詳細図 1:30

外部周り詳細図 1:30

べた基礎詳細図 1:30

記事：
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者（管理建築士）
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

担当（総合）
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
 永末小学校図工室増築工事
 図面名称
 基礎伏図

設計年月日
 2025・08
 縮尺
 A2版 → 1:30, 1:100
 A3版 → 70.7%
 図面番号
 A28

床伏図

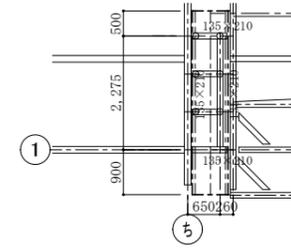
増築建物床リスト

材種	等級	寸法
管柱	桧	KD特 135×135
土台	桧OP	KD特 135×105
大引	米松	KD特 90×90
間柱	米松	KD特 45×135
座板	構造用合板	実付 厚24

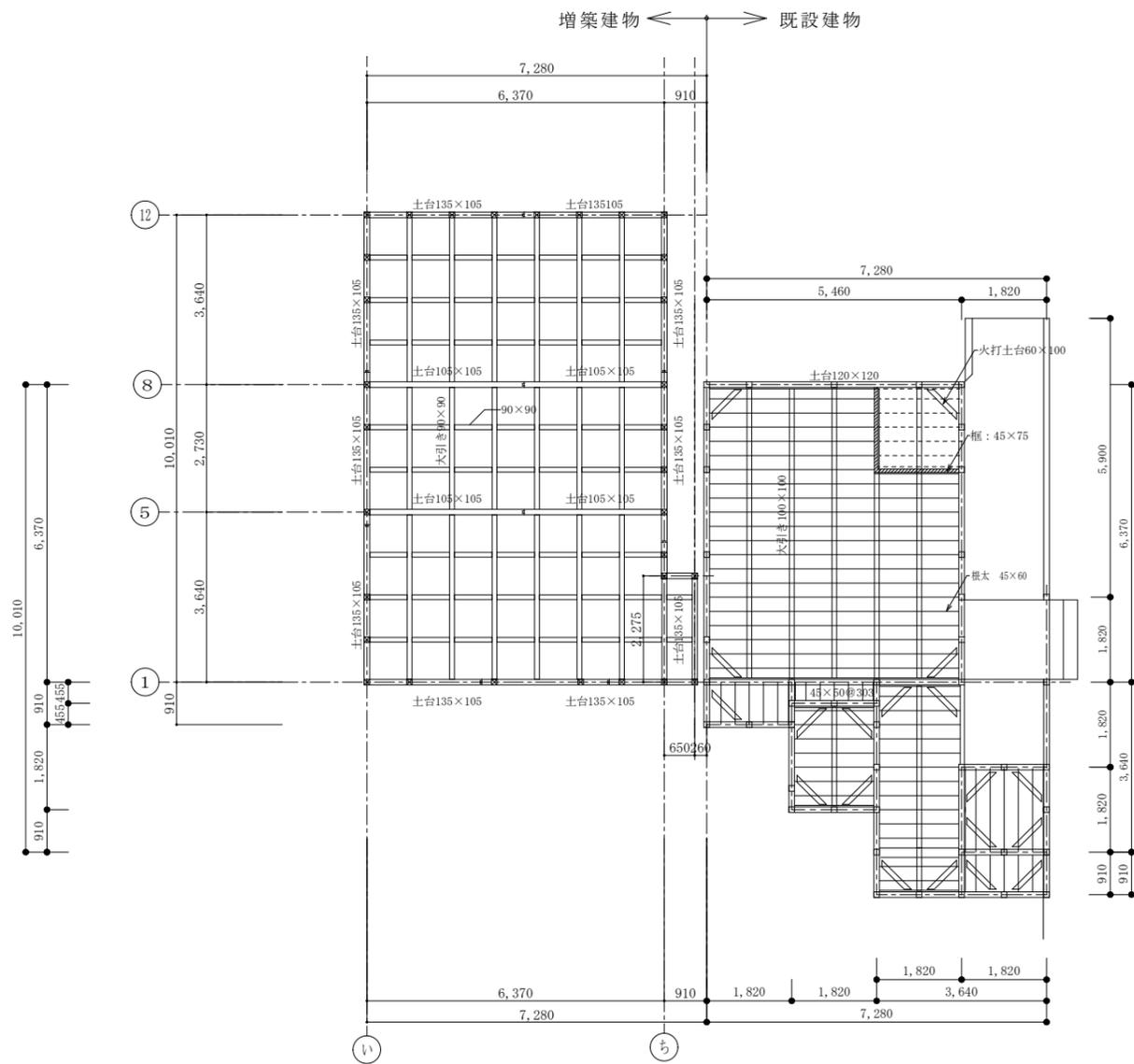
小屋伏図

増築建物小屋リスト

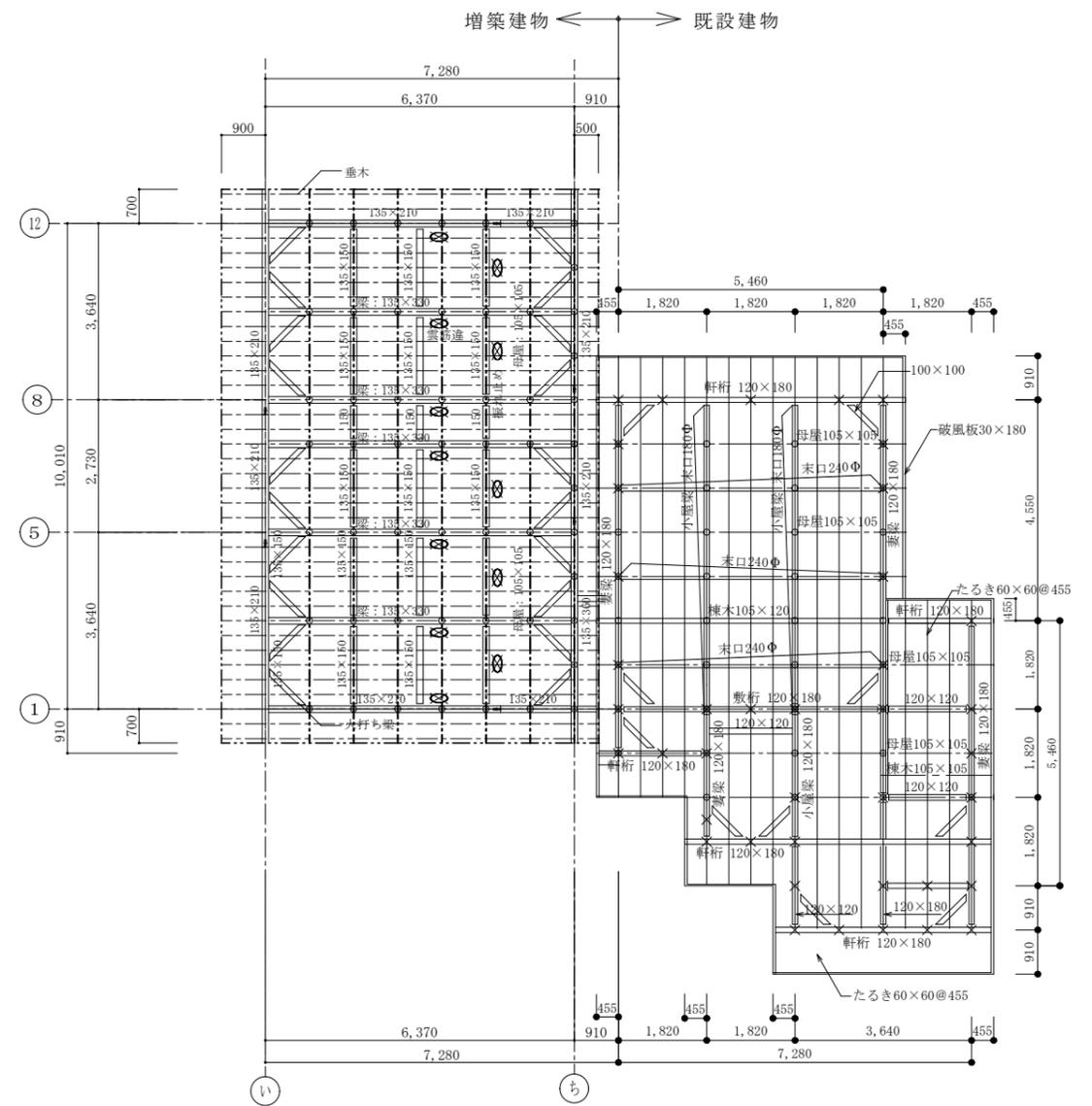
材種	等級	寸法
梁		KD特
母屋	米松	KD特 135×135
火打梁	松	KD特 105×105
垂木	桧	KD特 60×60(φ303.33)
束木	米松	KD特 135×135
振れ止め	松	KD特 105×105
雲筋違	松	18×100
屋根板	構造用合板	厚12



小屋伏図 1:100



床伏図 1:100



小屋伏図 1:100

記事: ① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士) 倉田 まゆみ
 1級建築士登録第225544号

担当(総合) 倉田 まゆみ
 1級建築士登録第225544号

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

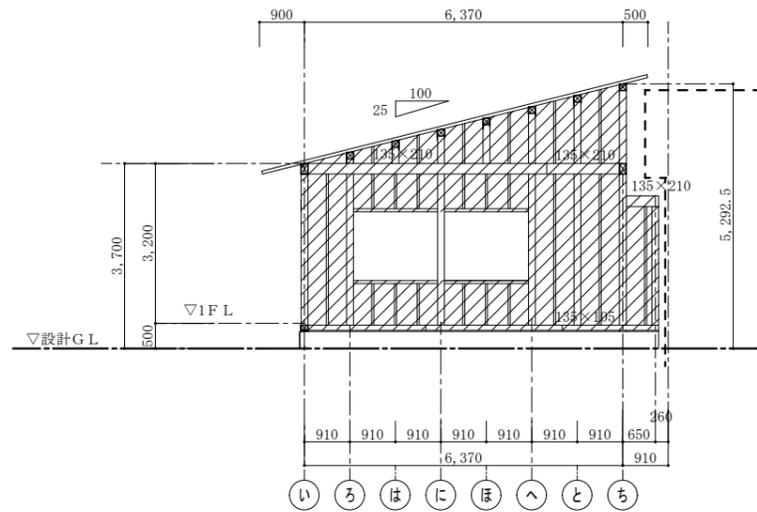
・士法20条の2 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

・士法20条の3 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

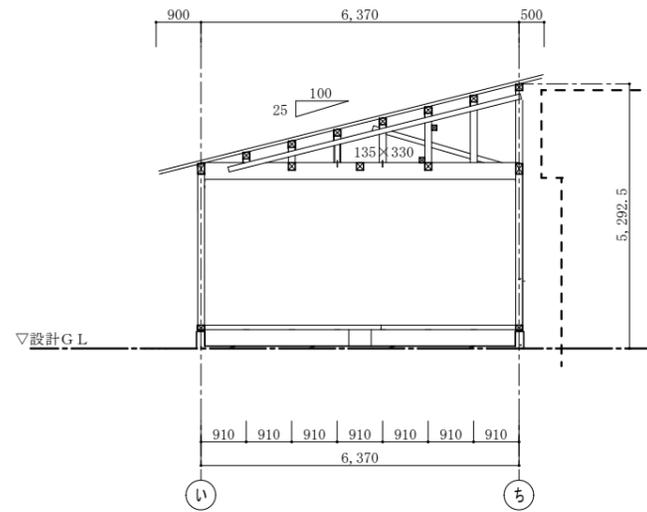
工事名称 永末小学校図工室増築工事
 図面名称 床伏図、小屋伏図

設計年月日 2025・08
 縮尺 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%

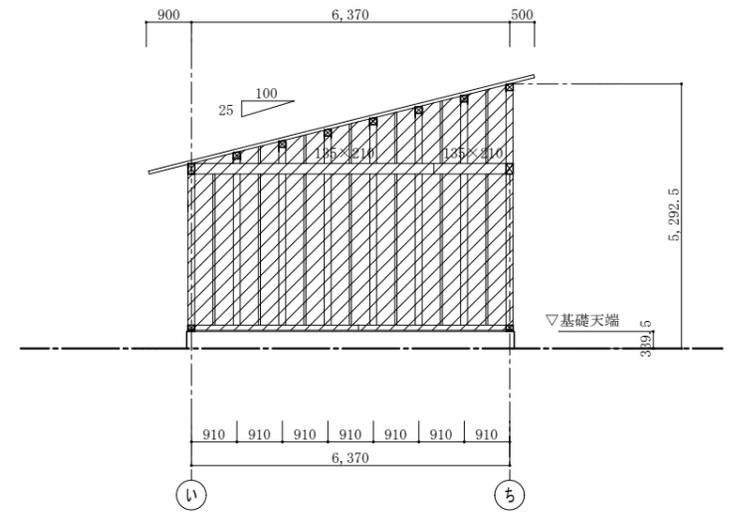
図面番号 A29



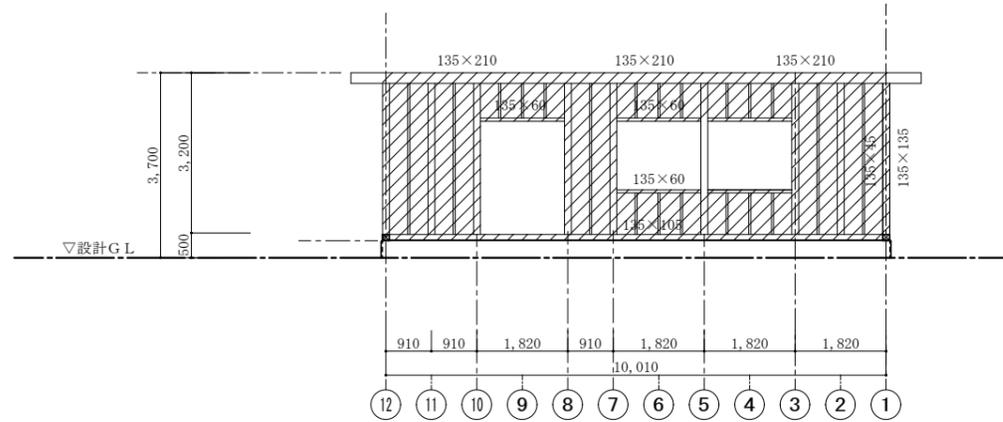
1通り軸組図 1:100



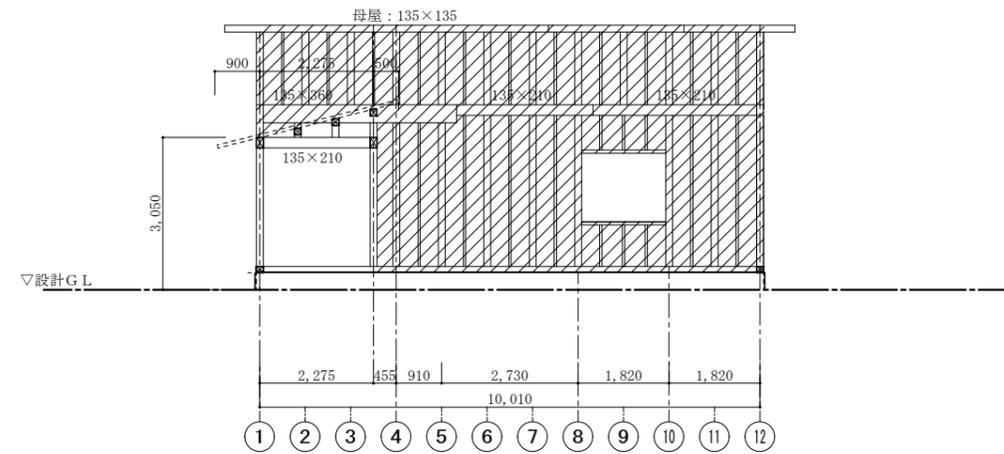
8通り軸組図 1:100



12通り軸組図 1:100



い通り軸組図 1:100



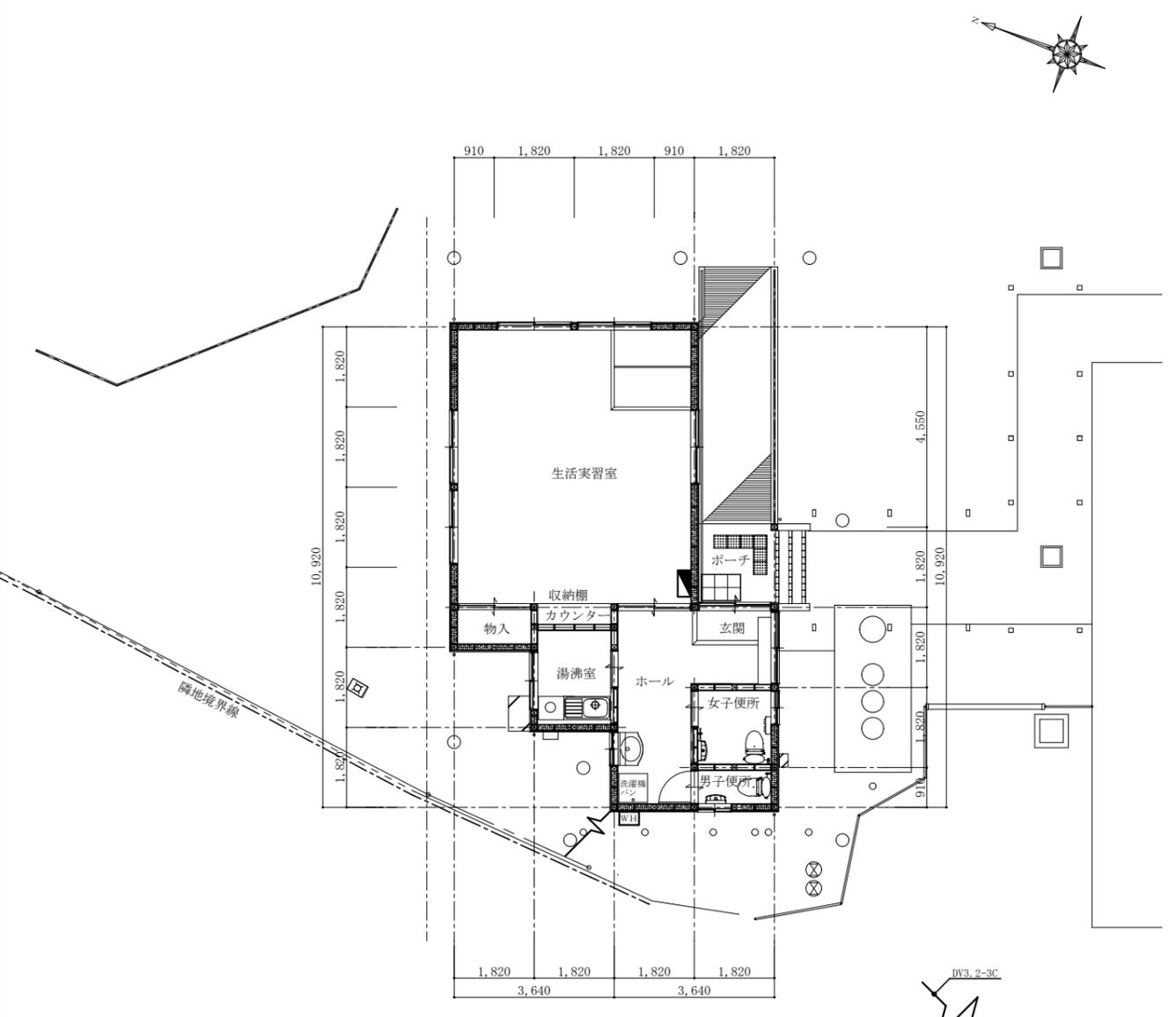
ち通り軸組図 1:100

凡例
 ハッチ部分は構造用合板厚9mm張り釘打ち (N50@150) とする (外周、中通り共)

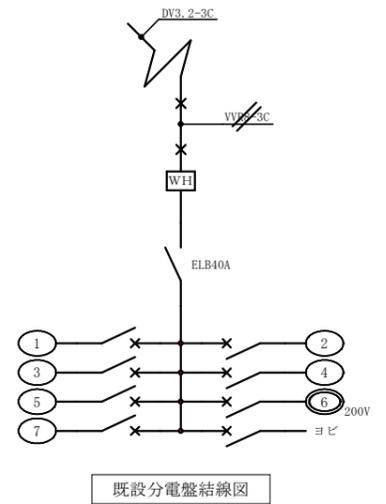
記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士)	担当 (総合)	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号 ・士法20条の3 設備設計1級建築士 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称	設計年月日	図面番号
		1級建築士登録第225544号	1級建築士登録第225544号			永末小学校図工室増築工事	2025・08	
		倉田 まゆみ	倉田 まゆみ			図面名称	縮尺	A30
				軸組図	A2版 → 1:100 A3版 → 70.7%			

改修前

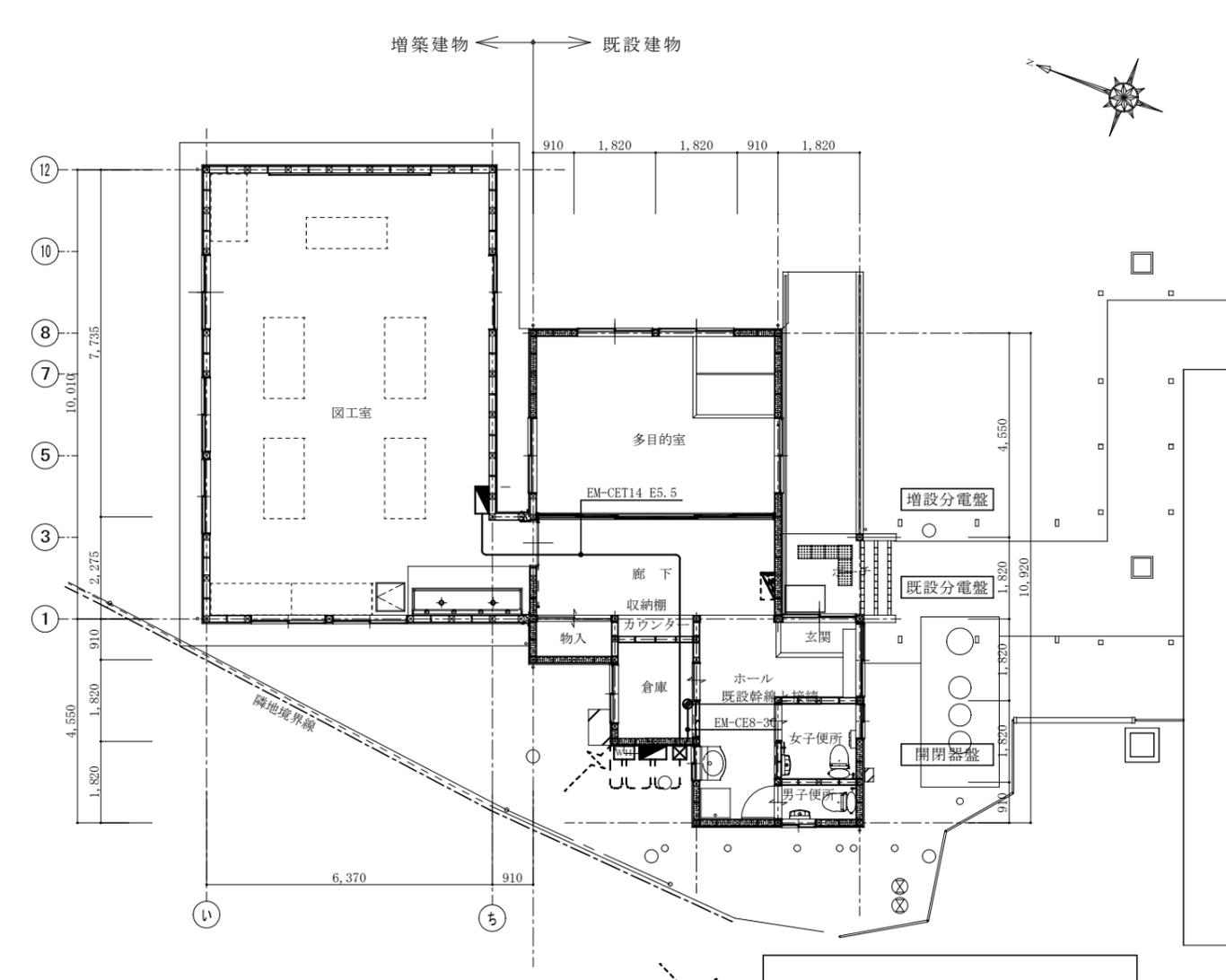
改修後



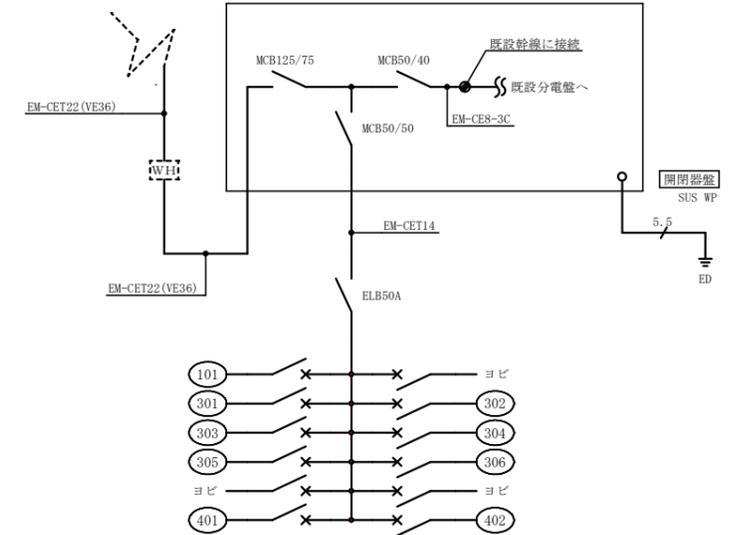
改修前平面図 1:100



既設分電盤結線図



改修後平面図 1:100



増設分電盤結線図

(参考型番: MAG3512F)

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

担当 (総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称 永末小学校図工室増築工事
 図面名称 幹線設備図
 設計年月日 2025・08
 縮尺 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%

図面番号 E01

(既設) 照明器具姿図

A	A 3 2 2	FHF 3 2 W×2 富士型	B	B 2 1	FL 2 0 W×1 富士型	C	C 1 0 0	IL 1 0 0 W×1 シーリングライト	D	D 2 1	FL 2 0 W×1 ブラケット	E	E 2 1	FL 2 0 W×1 ブラケット	a	a 9	JE 3 . 6 V 9 W×1 非常灯
				B 4 1	FL 4 0 W×1 富士型												

器具取付高さ	2.4m
単体配置 A1	3.1m
直線配置 A2	7.8m
四角配置 A4	6.4m

(改修) 照明器具姿図

A	A 4 2	LED 6 9 0 0 1 mタイプ	B	B 2 1	LED 1 6 0 0 1 mタイプ	C	C 1 0 0	LED 1 0 0形	D	D 2 1	LED 2 0形	E	E 2 1	LED 2 0形 防湿型	a	a 9	LED 9形 電池内蔵型
				B 4 1	LED 3 2 0 0 1 mタイプ												

保守率：0.92 K0143779

器具取付高さ	2.1m	2.4m	2.6m	3.0m
単体配置 A1	3.8	4.0	4.0	2.8
直線配置 A2	8.5	9.4	9.9	10.1
四角配置 A4	6.9	7.6	8.1	8.9

注1) 記号符号は、次による。

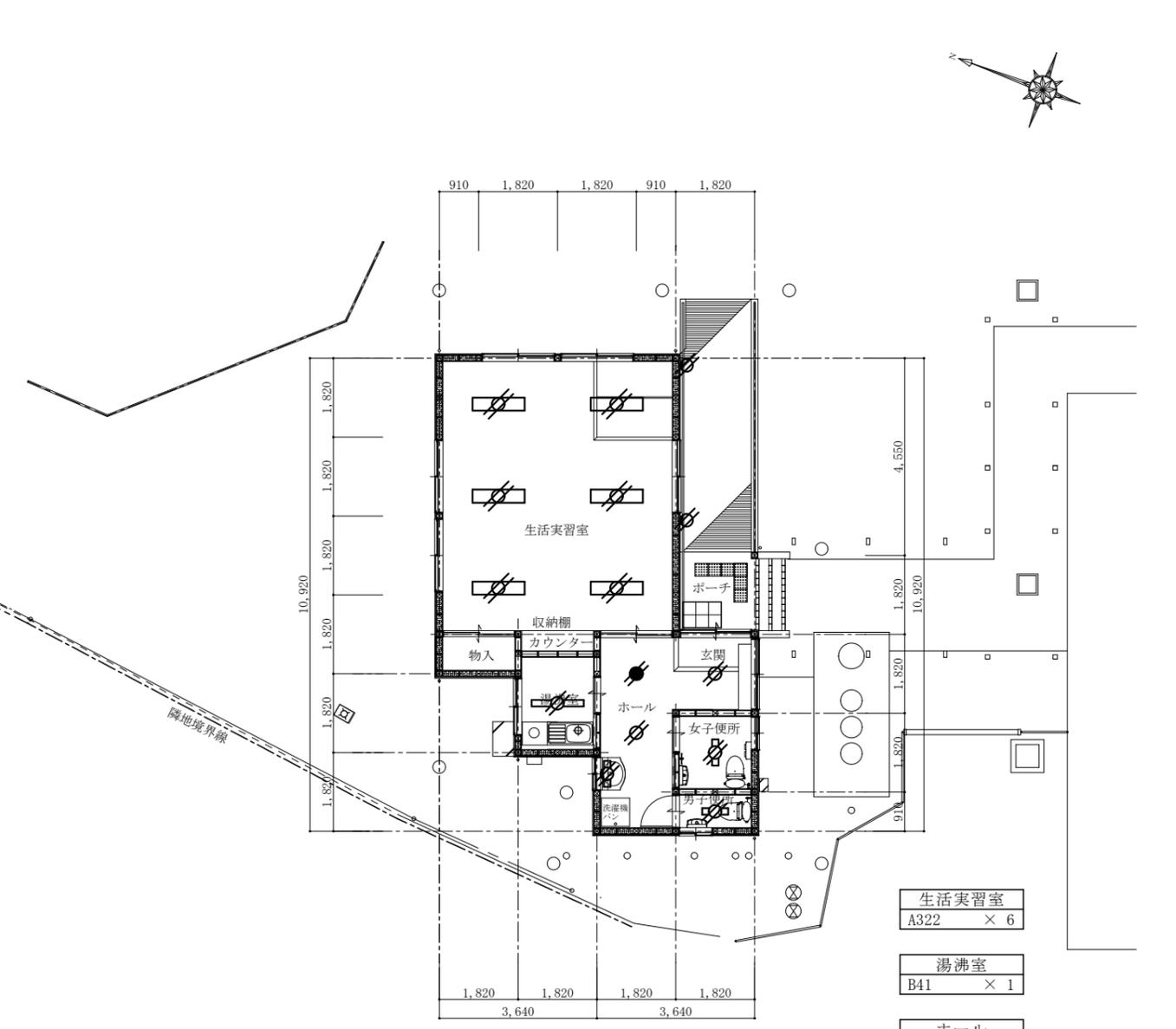
B: 電池内蔵型	LN: 一般形
C: チェーン吊	LX: 連続調光形 (調光下限値35%以下)
D: 非常照明用電球組込型 (電池別置型)	LZ: 連続調光形 (調光下限値5%以下)
P: バイブ吊	LJ: 初期照度補正形
S: 誘導灯 (片面)	LC: 個別通信制御 連続調光形
T: 誘導灯 (両面)	
W: 防水型	
:	
:	
:	
:	

注2) 誘導灯 : 誘導灯認定委員会合格品を使用の事。
非常照明 : 防災性能評定委員会認定品を使用の事。

注3) 特記なき仕上げは、下記による。(仕上げ法に●印)
(○ メーカー標準色仕上 ○ 指定色仕上)

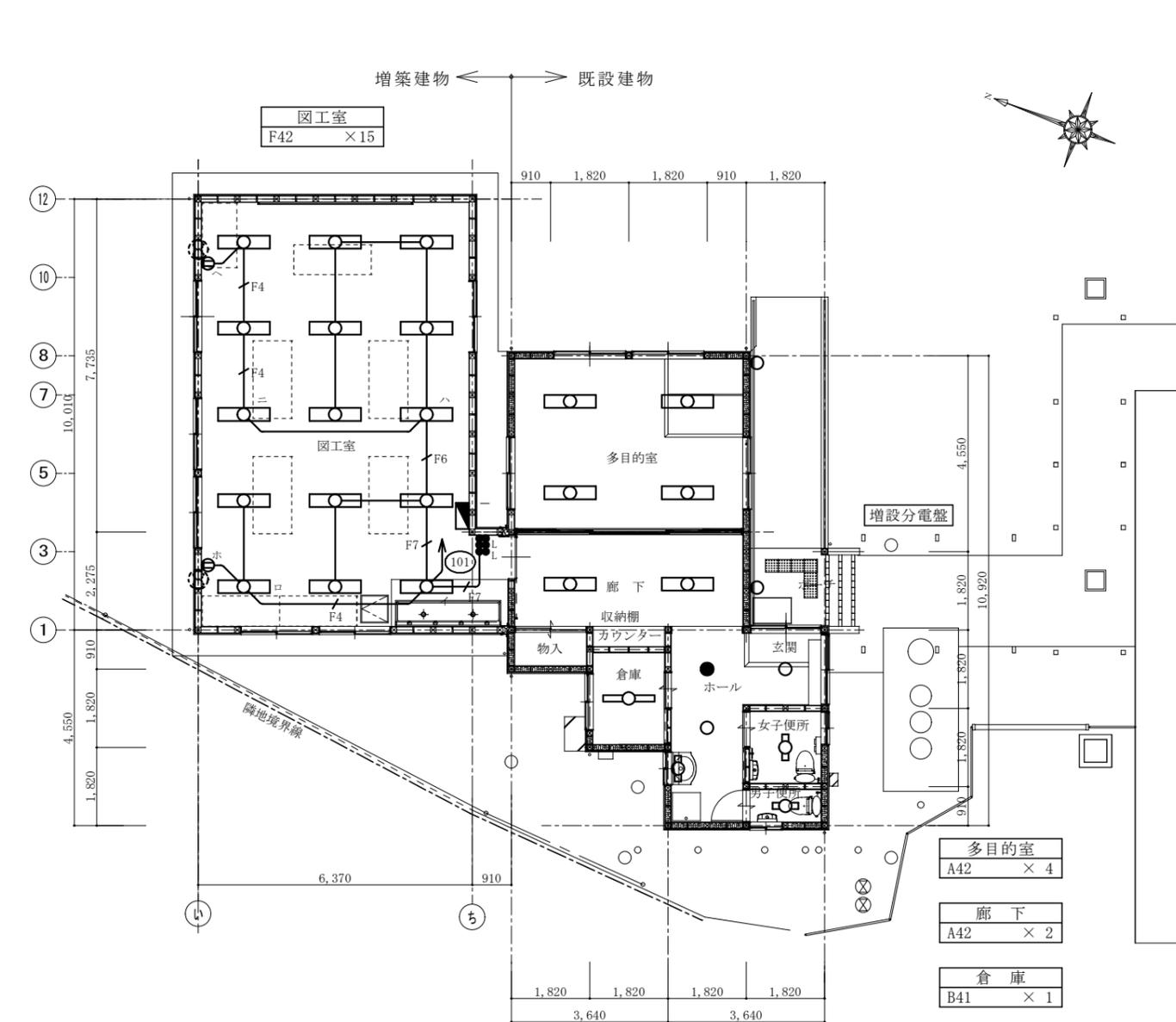
改修前

改修後



改修前平面図 1:100

- 生活実習室
A322 × 6
- 湯沸室
B41 × 1
- ホール
C100 × 1
D21 × 1
a9 × 1
- 玄関
C100 × 1
- 便所
B21 × 2
- ポーチ
E21 × 2



改修後平面図 1:100

- 多目的室
A42 × 4
- 廊下
A42 × 2
- 倉庫
B41 × 1
- ホール
C100 × 1
D21 × 1
a9 × 1
- 玄関
C100 × 1
- 便所
B21 × 2
- ポーチ
E21 × 2

注記

1. 特記なき配線・配管は下記による。

—	VVF1.6-3C	(PF16) (E19)
— ^{F4}	VVF1.6-2C×2	(PF22) (E25)
— ^{F5}	VVF1.6-3C+2C	(PF28) (E31)
— ^{F6}	VVF1.6-3C×2	(PF28) (E31)
— ^{F7}	VVF1.6-2C×2+3C	(E39)

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
広島県庄原市中本町一丁目13番3号
TEL 0824-72-1382

設計者(管理建築士)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

担当(総合)
1級建築士登録第225544号
倉田 まゆみ

・構造設計
・法適合確認
・設備設計
・法適合確認

工事名称
永末小学校図工室増築工事

図面名称
照明設備図

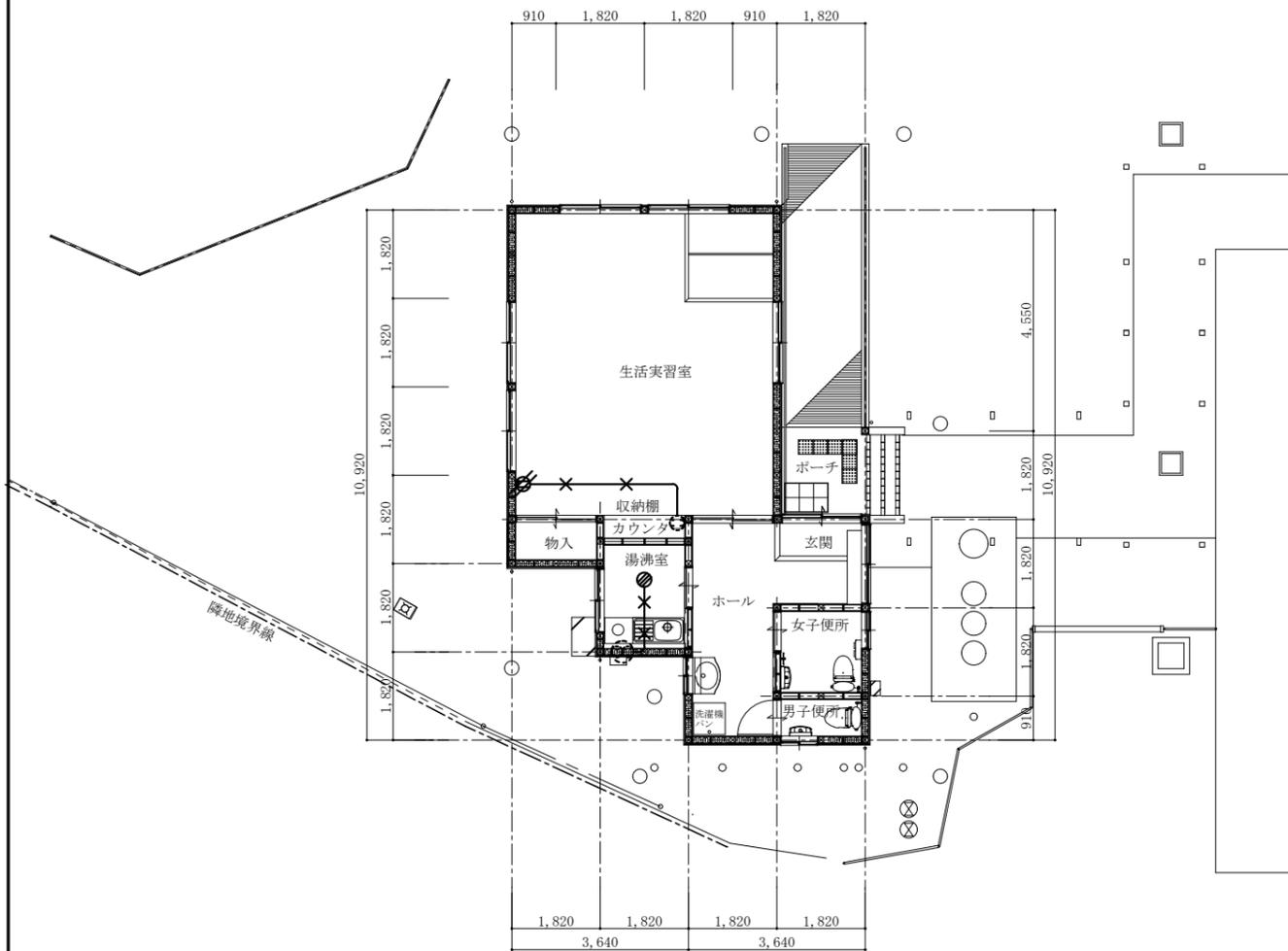
設計年月日
2025・08

縮尺
A2版 → 1:100
A3版 → 70.7%

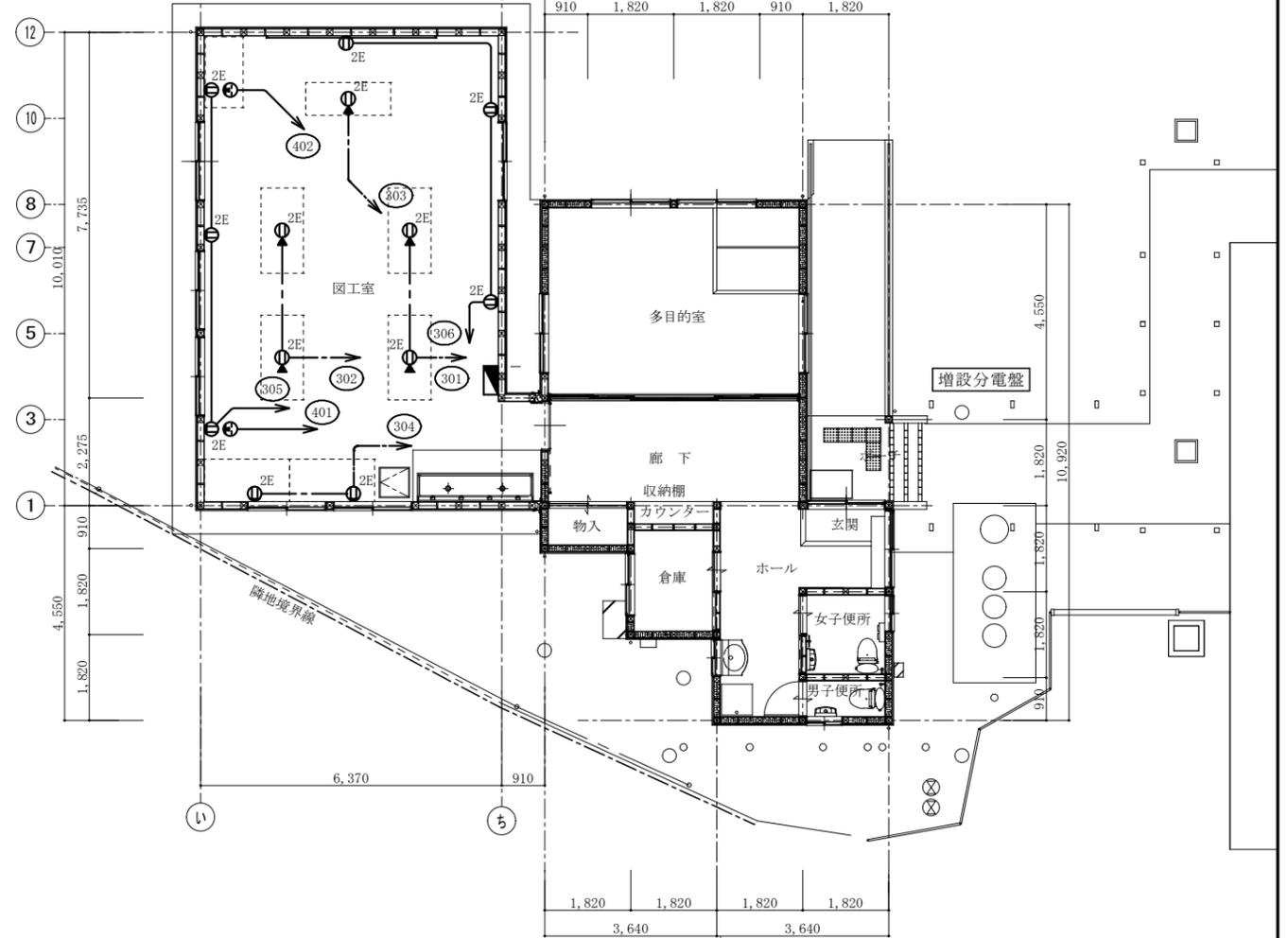
図面番号
E03

改修前

改修後



改修前平面図 1:100



改修後平面図 1:100

注記

1. 特記なき配線・配管は下記による。
 EM-EEF2.0-3C (PF22)

2. 二重天井内は転がし配線とし、
 壁内はPF管で保護すること。

記事:	有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認	・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事	設計年月日 2025・08	図面番号 E04
				・設備設計 ・法適合確認	・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	図面名称 コンセント設備図	縮尺 A2版 → 1:100 A3版 → 70.7%	

柵リスト

記号	名称	仕様	管底		最終地盤 基準GLより	柵蓋	備考
			基準GLより	最終地盤より			
1'	プラススタートラップ	PS3-15F (床置型 バスケット付 15L)	+245 +165			PVC製	参考型式：ホーコス
2'	小口径汚水柵	90L75-125	-328	-328	0	樹脂製ミカゲ蓋125φ	
3'	〃	90L75-125	-363	-363	0	〃	
2	既設汚水柵		-380	-380	0		
a	小口径雨水柵	90L100-150 (バスケット付)	-170	-270	100	樹脂製ミカゲ蓋150φ	
A	既設雨水柵	樹脂製 300φ	-244	-244	0		
c	小口径雨水柵	90L100-150 (バスケット付)	-150	-250	100	樹脂製ミカゲ蓋150	
d	〃	90L100-150 (バスケット付)	-225	-225	0	〃	
E	既設雨水柵	樹脂製 300φ	-245	-245	0		

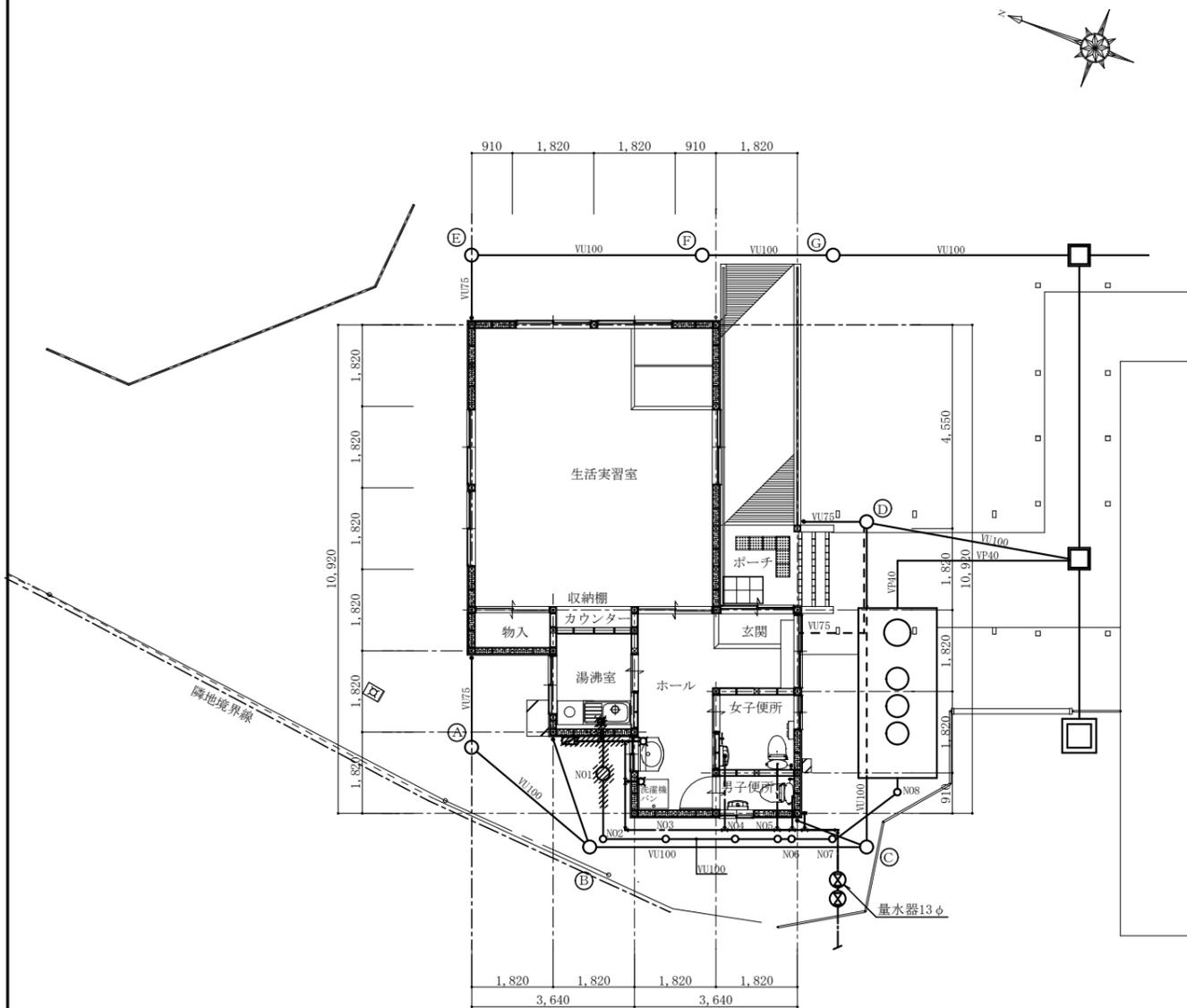
(注) 管底は柵中心部の深さを示す。但し2段に記入したもの(ドロップ柵・段差付柵等)は上段が上流側、下段が下流側を示す。
最終地盤は予想最終地盤を示す。(施工時の最終地盤を確認し柵蓋のレベルを調整すること。)

機器表

器具名	仕様	新設	既設	屋外	数量計	備考
		図工室	生活実習室			
台付立水栓	TK605FR#54RC	4			4	新設
シングルレバー混合栓	KTJ31UF3R		(1)		(1)	撤去
ガス給湯器	屋外壁掛型16号			(1)	(1)	撤去
流し台			(1)		(1)	撤去 (建築工事)
1槽シンク			(1)		(1)	新設 (建築工事)

記事:	 有限会社 山谷建築設計事務所 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号 広島県庄原市中本町一丁目13番3号 TEL 0824-72-1382	設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	担当 (総合) 1級建築士登録第225544号 倉田 まゆみ	・構造設計 ・法適合確認 ・設備設計 ・法適合確認	・土佐20条の2 構造設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号 ・土佐20条の3 設備設計1級建築士第 号 ・1級建築士登録第 号	工事名称 永末小学校図工室増築工事 図面名称 柵リスト・衛生設備機器表	設計年月日 2025・08 縮尺 A2版 → N.S A3版 → N.S	図面番号 M O 2
-----	---	--	--	--	--	--	--	-------------------

改修前



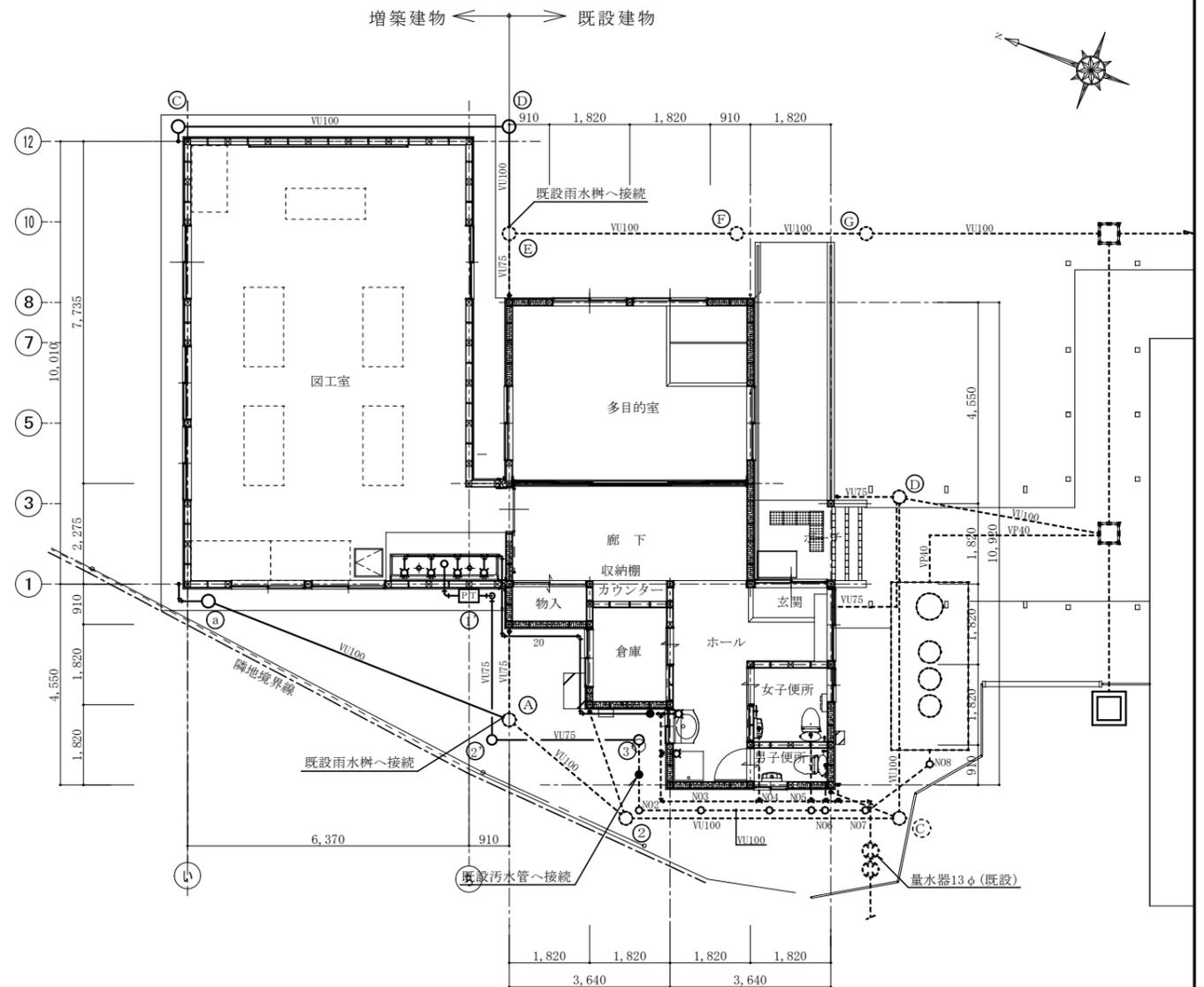
改修前平面図 1:100

- [凡例]
- 撤去配管を示す
 - 撤去機器を示す

汚水樹リスト

No.	種類	品番・規格	蓋種類	備考
1	粗集樹	GM-ASF 75×100-300	レジコン300	撤去
2	屈曲樹	M-90L 100-150	ミカケ 150	
3	トラップ樹	M-UT 75×100-150	ミカケ 150, 75	
4	トラップ樹	M-UT 75×100-150	ミカケ 150, 75	
5	段差付合流樹	M-45YS 100-150	ミカケ 150	
6	合流樹	M-90Y 100-150	ミカケ 150	
7	屈曲樹	M-45L 100-150	ミカケ 150	
8	屈曲樹	M-45L 100-150	ミカケ 150	

改修後



改修後平面図 1:100

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

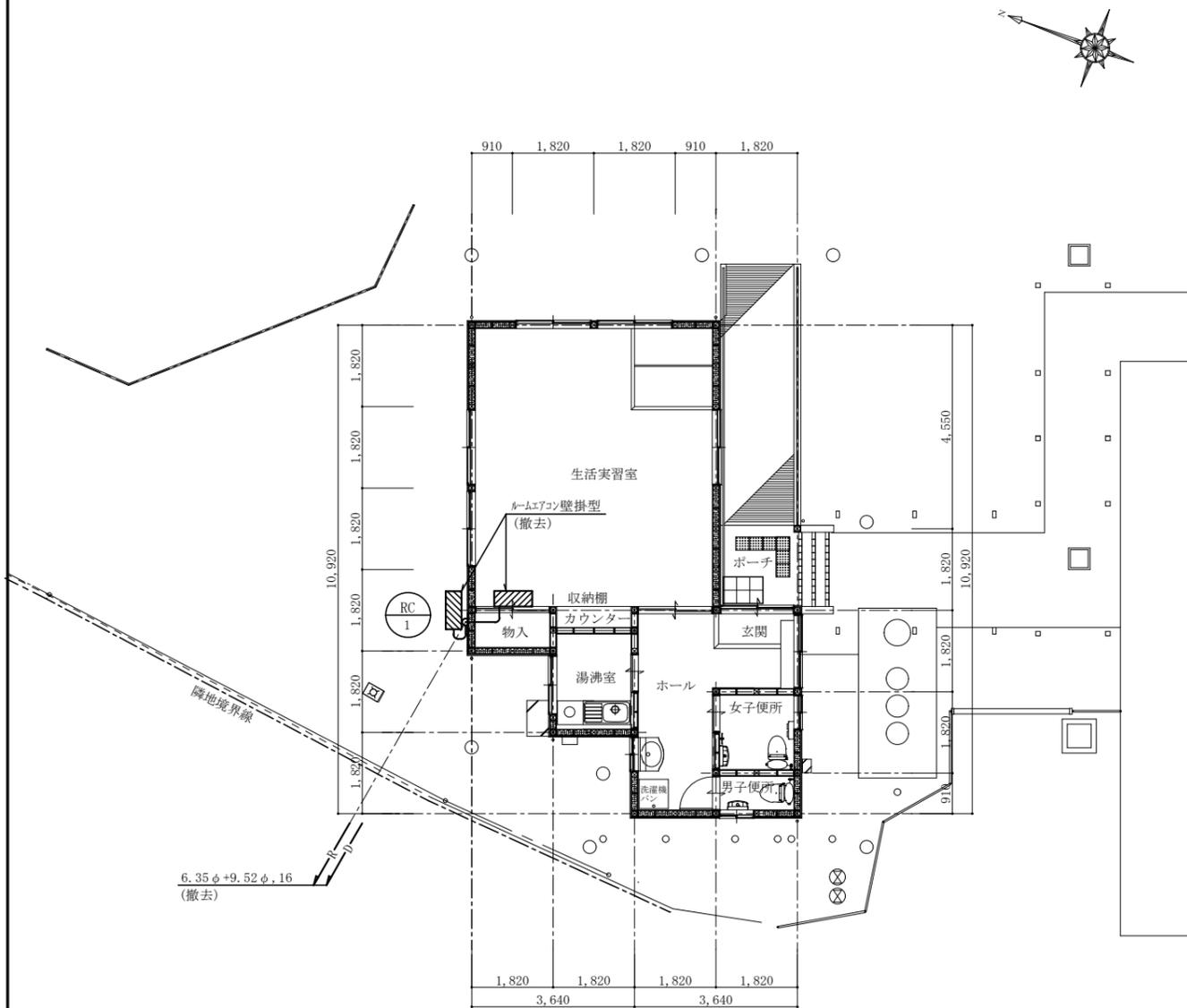
設計者(管理建築士) 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ
 担当(総合) 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計 土佐20条の2 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号
 ・設備設計 土佐20条の3 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称 永末小学校図工室増築工事
 図面名称 改修前後 給排水・衛生設備 平面図

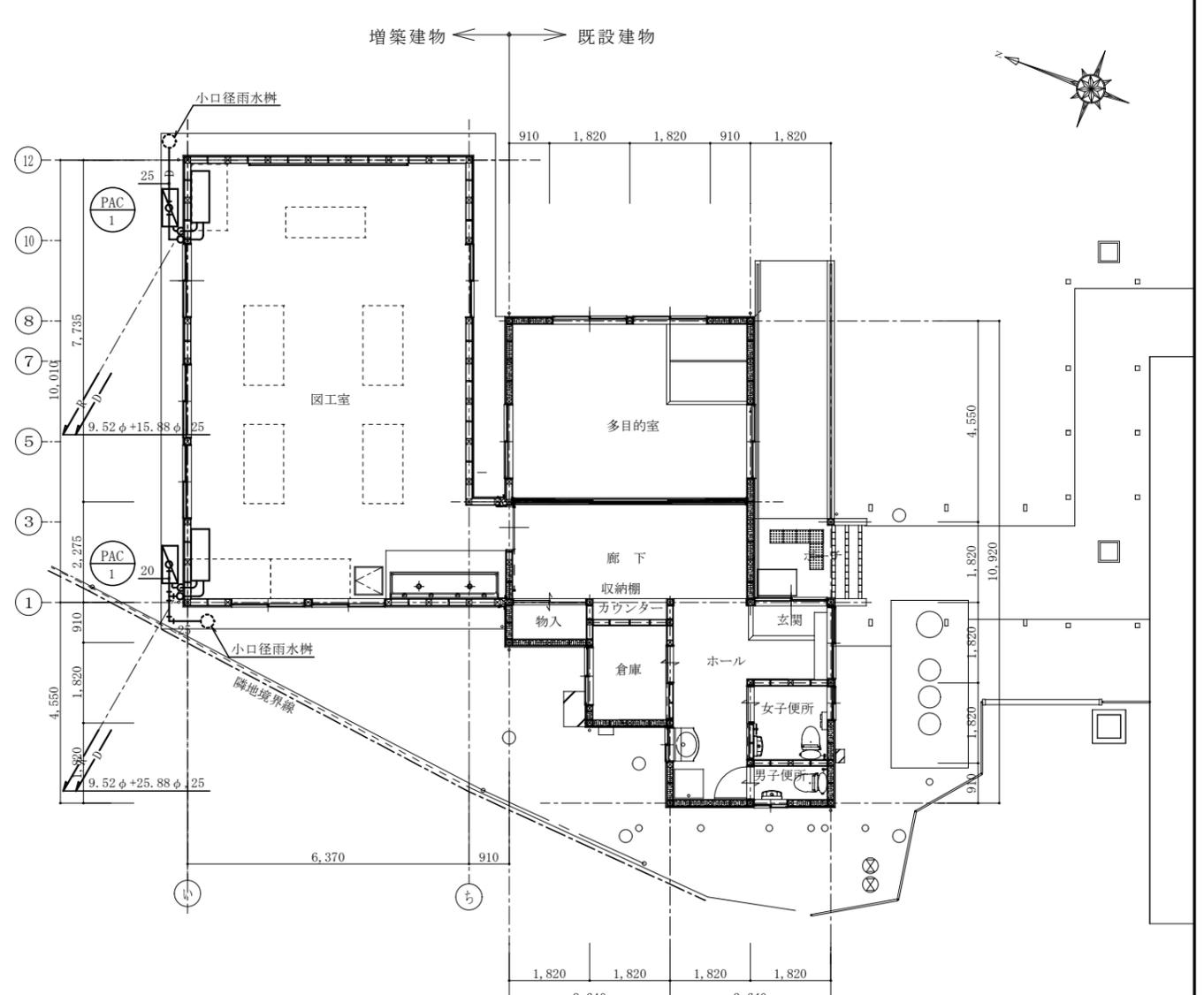
設計年月日 2025・08
 縮尺 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%
 図面番号 M03

改修前



改修前平面図 1:100

改修後



改修後平面図 1:100

空調機器表

記号	名称	機器仕様	電源	参考型式	台数	備考	
RAC-1	空冷式ヒートポンプエアコン	型式	天井カセット型 4方向吹出 シングルタイプ	単相200V	MSZ-GV5625S	2	図工室 (新設)
		能力	冷房: 7.1kw 暖房: 8.0kw				
		圧縮機	31.6kw				
		送風機	室内機: 0.05kw 室外機: 0.06kw				
	付属品	ワイヤードリモコン、転倒防止金具					
	室外機架台	型式 平地置き架台300H 80kg以下用		C-MZJ-L2	2	屋外 (新設)	
RC-1	ルームエアコン	型式 壁掛形	単相100V		(1)	撤去	

記事:

① 有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士) 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ
 担当 (総合) 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計 士2206の2 構造設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号
 ・設備設計 士2206の3 設備設計1級建築士 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称 永末小学校図工室増築工事
 図面名称 改修前後 空調設備 平面図

設計年月日 2025・08
 縮尺 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%
 図面番号 MO 4

換気設備計算表 (24時間換気)・機器選定表

設計基準							選定機器仕様										
階	室名	①面積 (㎡)	②天井高 (m)	③容積 ①×② (?)	④換気回数 (回/h)	⑤必要換気量 ③×④ (?/h)	⑥機器排気量 ⑤≤⑥ (?/h)	⑦給気量 ⑥=⑦ (?/h)	静圧損失 (Pa)	換気回数 (回/h)	電源	消費電力 (W)	設計記号	機種	⑨機器参考型式 (三菱電機)	判定	カタログ頁 2025年度
1	図工室	64.373	2.70	173.81	0.3	52.14	606 x 2	1212	-	6.97	単相100V	18.0	EF-1	壁付壁付換気扇	EX-20SC4-S	◎	149

換気設備計算表 (換気回数法)・機器選定表

設計基準							選定機器仕様										
階	室名	①面積 (㎡)	②天井高 (m)	③容積 ①×② (?)	④換気回数 (回/h)	⑤必要換気量 ③×④ (?/h)	⑥機器排気量 ⑤≤⑥ (?/h)	⑦給気量 ⑥=⑦ (?/h)	静圧損失 (Pa)	換気回数 (回/h)	電源	消費電力 (W)	設計記号	機種	⑨機器参考型式 (三菱電機)	台数	カタログ頁 2025年度
1	図工室	64.37	2.70	173.81	5.0	869.04	606 x 2	1212	-	6.97	単相100V	18.0	EF-1	壁付壁付換気扇	EX-20SC4-S	2	149

換気設備機器表

記号	名称	機器仕様	電気容量		参考型式	台数	備考
			電源	消費電力			
EF-1	壁付換気扇	形式	格子タイプ、電気シャッター付		EX-20EK9-C	2	図工室
		能力	200φ x 480m3/h x 50Pa				
		附属品	SUS製ウエザーカバー 200φ (防虫網付)				
OA-1	給気口	屋外側	SUS製 (防虫網付) 200φ		P-20CVS5	2	
		室内側	角形グリル 200φ		P-23VSQ4	3	
					P-23GH5	3	

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
 1級建築士登録第225544号

倉田まゆみ

担当 (総合)
 1級建築士登録第225544号

倉田まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認

・士法20条の2 構造設計1級建築士第 号
 ・1級建築士登録第 号

・設備設計
 ・法適合確認

・士法20条の3 設備設計1級建築士第 号
 ・1級建築士登録第 号

工事名称

永末小学校図工室増築工事

図面名称

換気設備計算表・機器選定表・機器表

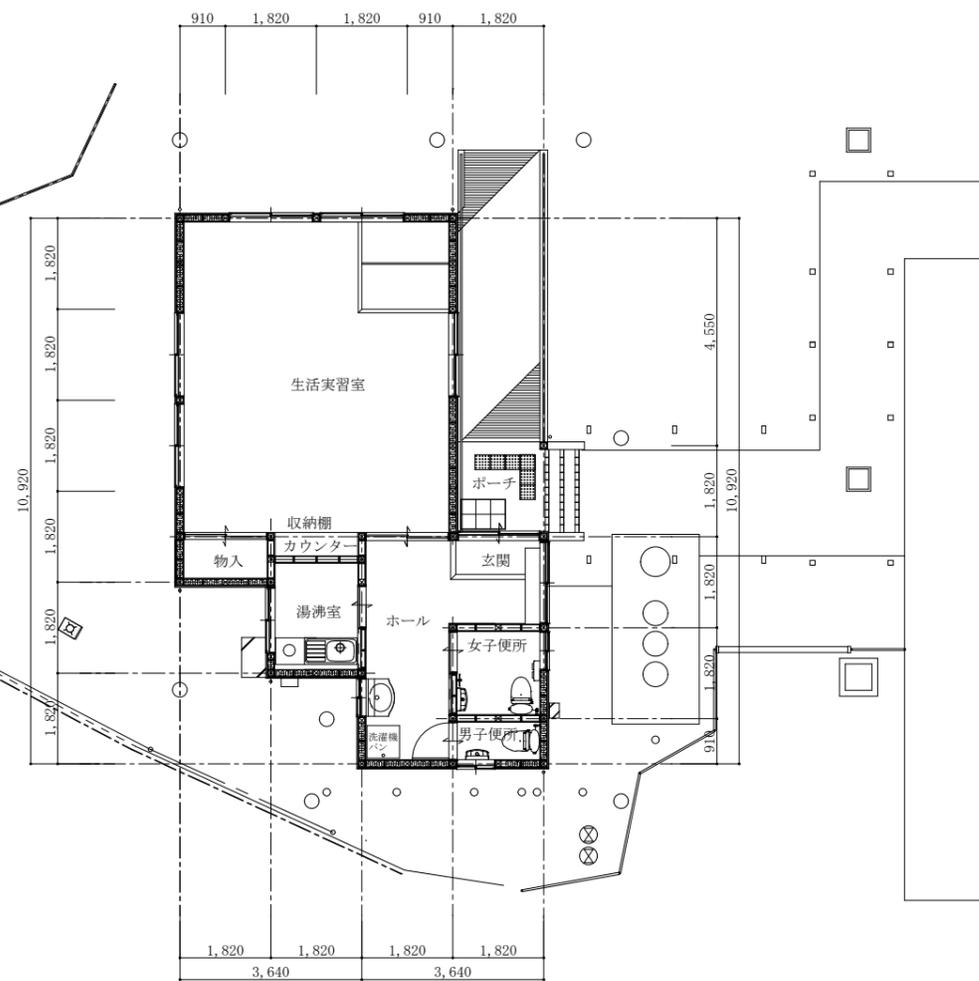
設計年月日
 2025・08

縮尺
 A2版 → N.S
 A3版 → N.S

図面番号

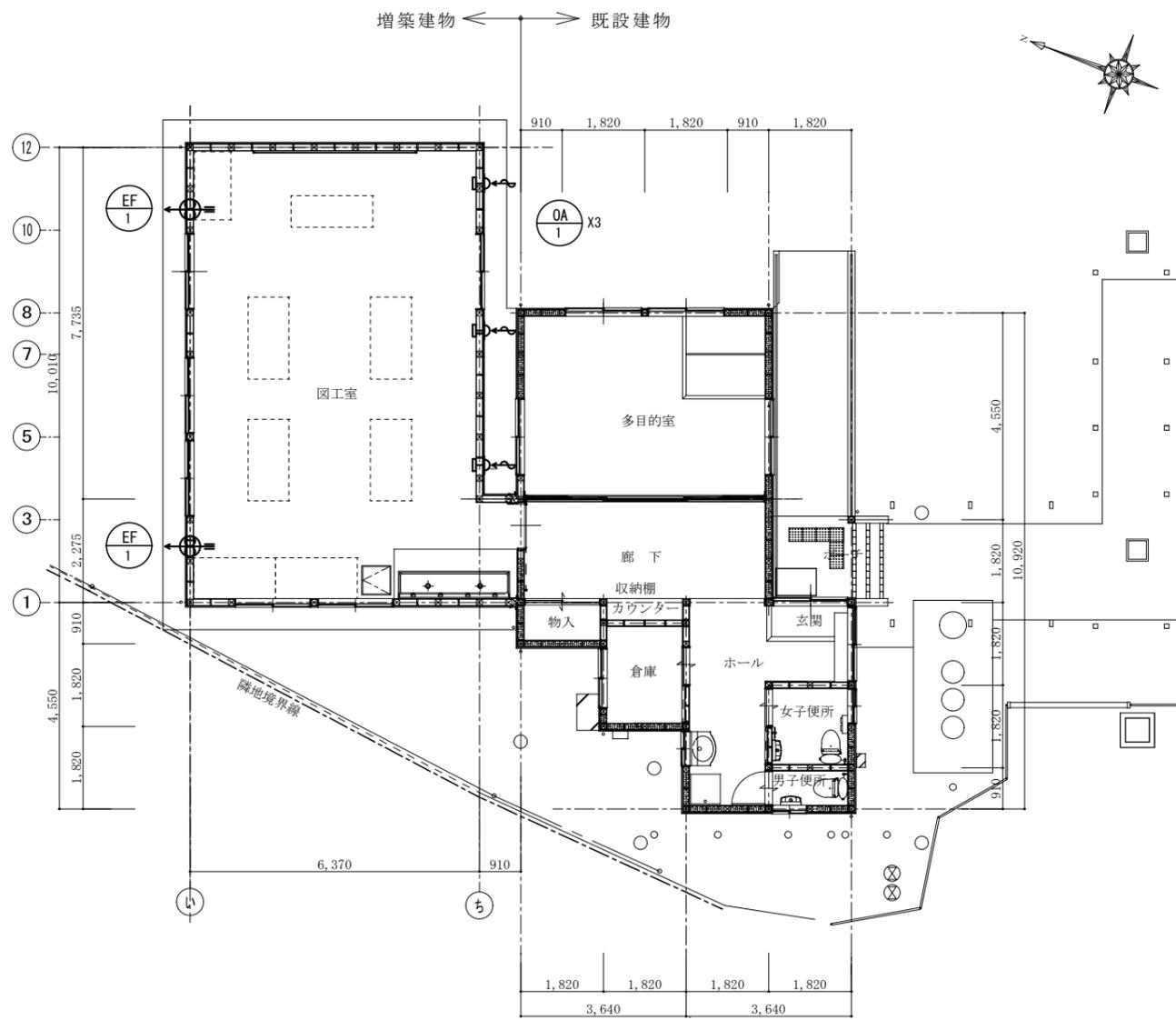
MO5

改修前



改修前平面図 1:100

改修後



改修後平面図 1:100

記事:


有限会社 山谷建築設計事務所
 1級建築士事務所 登録番号22(1)第0586号
 広島県庄原市中本町一丁目13番3号
 TEL 0824-72-1382

設計者 (管理建築士)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

担当 (総合)
 1級建築士登録第225544号
 倉田 まゆみ

・構造設計
 ・法適合確認
 ・設備設計
 ・法適合確認

工事名称
 永末小学校図工室増築工事
 図面名称
 改修前後 換気設備 平面図

設計年月日
 2025・08
 縮尺
 A2版 → 1:100
 A3版 → 70.7%

図面番号
M06